－目　次－

Ⅰ．調査概要 1
Ⅱ．総括 5
Ⅲ．概要 9
　１．四万十川の保全に対する取り組み 11
　２．四万十川との関わり 12
　３．環境を守る行動や意欲 14
　４．通信手段について 17
　５．居住意思と生活の満足度 18
Ⅳ．調査対象者の属性 21
Ⅴ．単純集計結果 25
　１．四万十川の保全に対する取り組み 27
　２．四万十川との関わり 28
　３．環境を守る行動や意欲 31
　４．通信手段について 35
　５．居住意思と生活の満足度 36
Ⅵ．クロス集計結果 39
　１．四万十川の保全に対する取り組み 41
　　１－１．「公益財団法人四万十川財団」の認知度 41
　　１－２．「四万十川条例」の認知度 44
　２．四万十川との関わり 47
　　２－１．川に出かけたこと 47
　　２－２．出かけた頻度 49
　　２－３．誰と出かけたか 52
　　２－４．誰と何をしたか 55
　　２－５．川に出かけなかった理由 68
　３．環境を守る行動や意欲 70
　　３－１．環境を守る行動 70
　　３－２．家庭での水切り袋などの設置 79
　　３－３．家庭での生ゴミ堆肥化への取り組み 82
　　３－４．環境に関する活動への参加の有無 85
　　３－５．環境に関する活動に参加しない理由 87
　　３－６．環境保全のための寄付へ協力したいと思うか 90
　　３－７．環境保全のための寄付協力可能な上限額 92
　４．通信手段について 95
　　４－１．携帯電話などの所有有無について 95
　　４－２．携帯電話などでのネット利用状況 97

４－３．自宅でのネット利用の可否 100
５．居住意思と生活の満足度 102
５－１．現在の居住地域に住み続けたいと思うか 102
５－２．現在の居住地域への満足度 104
５－３．生活の満足度..... 106

Ⅰ　調査概要

１．調査目的

「高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例」の目的の達成状況を把握し、進行管理を行うために必要な住民意識調査（条例第 37 条）を行うため、流域住民への調査を実施するものとする。

２．調査項目

(1) 四万十川の保全に対する取組み
(2) 四万十川との関わり
(3) 環境を守る行動や意欲
(4) 通信手段について
(5) 居住意思と満足度

３．調査対象

(1) 母集団　四万十川流域５市町村 18 歳以上の者
(2) 標本数　1,000 人
(3) 抽出法　層化抽出法（市町村合併後の新市町村単位でなく旧市町村単位での抽出を行う）
椎原町、津野町（旧東津野村）、四万十町（旧窪川町、旧大正町、旧十和村）、
四万十市（旧中村市、旧西土佐村）、中土佐町（旧大野見村）
※分析にあたり上記の８地区を、流域に対応した以下の３居住地域に分類する。
上流域：椎原町、旧東津野村、旧大野見村
中流域：旧十和村、旧大正町、旧窪川町
下流域：旧中村市、旧西土佐村

４．調査期間　平成 29 年 10 月５日～10 月 27 日

５．調査方法　郵送法

６．有効回収数（率）　474 人（47.4%）

７．調査結果の見方

７－１．本報告書内で使用している「N」は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。なお、クロス集計については無回答者を除いているため、一部N値が変動している。

７－２．結果数値（%）は「少数第二位を四捨五入」しているため、内訳の合計が一致しないことがある。

II　総括

第4回目となる今回の調査では、対象とする年齢層に新たに10歳代を加えたほか、過去調査では60歳代以上として一括されていた項目を、60歳代、70歳代、80歳代以上に細分化したことで、年代による状況の違いの分析をさらに詳細に行えるよう配慮した。また、自由記述の回答枠を設けたことで、流域住民からの生の声を多く収録することが出来た（巻末資料参照）。

公益財団法人四万十川財団および四万十川条例についての認知度（新設の設問）

公益財団法人四万十川財団及び四万十川条例とも流域住民の認知度は低く、6割以上の人が内容はもとより、その存在を知らないと答えた。なお、公益財団法人四万十川財団については、所在地である中流域では他の流域に比べて若干認知度が高かった。

四万十川との関わり

この一年間に四万十川に出かけた人の割合は前回調査からわずかながら減少したが、それでも半数近い人が年に1回以上川に出かけている。誰と川に出かけたかについては、一人で川に出かけた人が減少した一方、家族や親類と出かけた人の割合が増加した。高齢化に伴い一人で川に出かけた人が減っている一方で、子育て世代を中心に、家族や親類同士で川遊び等を楽しむ人が増加している様子がうかがえる。

環境を守る行動や意欲

環境を守る取り組みについては、ゴミの分別化や資源ゴミのリサイクル化が浸透し、家庭での水切り袋の使用率も向上したが、コンポスト等による生ゴミの堆肥化に関しては、前回調査に比べ実施率の低下が見られた。

全国調査に比べて実施率が特に低い項目として、「不要品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」があげられる。これは、地域においてバザーやフリーマーケットが開催される機会そのものが少なく、なじみが薄いことが影響している可能性がある。

また、環境を守るための寄付金に協力しても良いと思う人の割合は前回調査に比べ若干減少したものの、一人あたりの寄付しても良いと思う金額は前回調査よりも高額を回答した人が増加し、環境保全意識の高まりが実感される。

しかし、その一方で講演会や美化・清掃活動などの環境を守る活動に参加したことのある人は過半数を下回り、広報活動や流域住民の環境活動への参加促進のための取り組みについては課題も多く残されている。

生活の満足度

生活の満足度に関して言えば、7割近くの人が現在の居住環境に満足しており、8割を超える人がそこに住み続けたいと思っている。前回調査よりも満足度が増した項目に、保育園、幼稚園から小・中学校、高校までの子育て、教育に関する項目と、地震、水害、火災などへの対応があげられる。

一方、市町村の行政に自分の意見が充分に採り入れられること、仕事や収入等の面、バスや電車等の公共交通機関の充実度に関しては、前回調査以降、依然満足度が低い状態が続いている。また、居住地域による満足度の違いが相対的に大きくなり、総じて上流域（檮原町、旧津野町、旧大野見村）では他の地域に対して多くの項目で満足度が高い傾向にあった。

携帯電話、インターネットの普及は前回調査以降の5年間でさらに加速し、特にスマートフォンの

普及に伴い携帯電話でインターネットを利用する人の割合は顕著に増加した。

III　概要

１．四万十川の保全に対する取り組み

◇問１　あなたは、「公益財団法人四万十川財団」という組織をご存じですか。

●全体：「知らない」66.6%、「名前を知っている」30.2%、「名前とどのようなことをしているかを知っている」3.3%。

●性別での比較

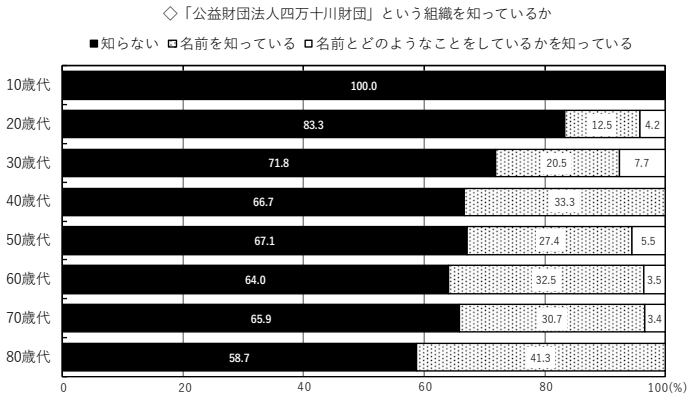
・男性は「知らない」64.1%、「名前を知っている」31.8%、「名前とどのようなことをしているかを知っている」4.1%。

・女性は「知らない」69.2%、「名前を知っている」28.3%、「名前とどのようなことをしているかを知っている」2.5%。

●年齢での比較

・「知らない」と答えた人の割合は 10 歳代が 100%と最も高く、概ね年齢が高くなるほど低下し、80 歳代では 58.7%と最も低かった。

・「名前を知っている」と答えた人の割合は 80 歳代が 41.3%と最も高く、次いで 40 歳代の 33.3%であった。



・「名前とどのようなことをしているかを知っている」と答えた人の割合は 30 歳代の 7.7%が最も高く、総じて全年齢層において低い割合であった。

●居住地域（上流、中流、下流）での比較

・「知らない」と答えた人の割合は下流域が最も高く 72.6%、次いで上流域の 70.9%であり、中流域では 52.3%と他の地域に比べて低い割合であった。

・「名前を知っている」と「名前とどのようなことをしているかを知っている」と答えた人の割合は中流域では 47.7%と、他の地域に比べて高い割合を占めた。

◇問２　あなたは、「四万十川条例」をご存じですか

●全体：「知らない」63.3%、「名前を知っている」31.2%、「名前と内容を知っている」5.5%。

●性別での比較

・男性は「知らない」56.8%、「名前を知っている」36.0%、「名前と内容を知っている」7.2%。

・女性は「知らない」69.7%、「名前を知っている」26.2%、「名前と内容を知っている」4.1%。

●年齢での比較

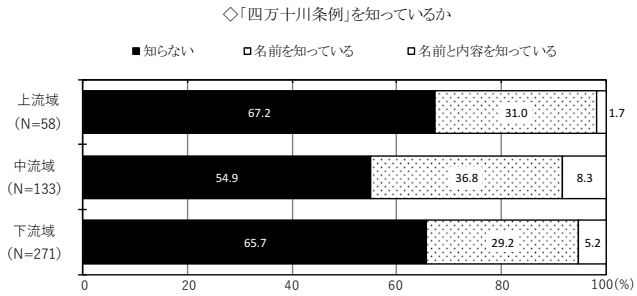
・「知らない」と答えた人の割合は 20 歳代、30 歳代、70 歳代ではいずれも 70%以上と高く、50 歳代、60 歳代では 60%以下とやや低かった。

・「名前と内容を知っている」と答えた人の割合は 10 歳代が 16.7%と最も高く、

次いで 50 歳代の 15.1%であった。

●居住地域（上流、中流、下流）での比較

・「知らない」と答えた人の割合は上流域が 67.2%で最も高く、次いで下流域の 65.7%であり、中流域では 54.9%と他の地域に比べてやや低い割合であった。



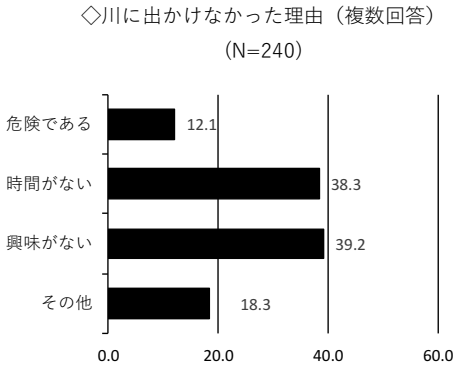
・「名前を知っている」と「名前と内容を知っている」と答えた人の割合は中流域が 45.1%と、他の地域に比べて高い割合であった。

２．四万十川との関わり

◇問３　あなたは、この１年間に仕事以外で川に出かけたことがありますか。

ある：47.9%　　ない：52.1%

◇問４「ない」と答えた理由



＜ある と答えた人について＞

◇問５　この１年間にどれくらい川に出かけましたか。

●頻度：「毎日、ほぼ毎日」5.4%、「週 1～2 回くらい」10.0%、「月 1～2 回くらい」19.5%であり、34.9%が「月に 1～2 回くらい」以上は川に出かけている。しかし、「月 1～2 回くらい」以上川に出かける人の割合は前回より 9.1 ポイント減少。

●性別での比較：「月に 1～2 回くらい」以上と答えた人の割合

・男性 43.7%・女性 24.5%

●年齢での比較

・「毎日、ほぼ毎日」と答えた人の割合は 20 歳代が 16.7%（前回 0%）と最も高い。

・「年に 1～2 回くらい」しか川に出かけないと答えた人の割合は 30 歳代が 70.8%と最も高い。

・「月に 1～2 回くらい」以上川に出かけた人の割合は、全ての世代において減少。

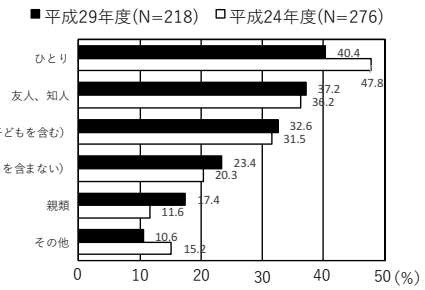
●居住地域（上流、中流、下流）での比較

・「月に 1～2 回くらい」以上と答えた人の割合はすべての地域で減少（前回に比べ 5.4～14.2 ポイント）。

◇問６　あなたは、この１年間に川で、誰と何をしましたか。

＜誰と出かけたか＞

◇「誰と出かけたか」



●全体

・「ひとり」40.4％（前回から 7.4 ポイント減）。

・「友人、知人」37.2％（前回から 1.0 ポイント増）。

・「家族（小学生以下の子どもを含む）」32.6％（前回から 1.1 ポイント増）。

●性別での比較

・男性は「ひとり」が 51.7%、女性は「家族（小学生以下の子どもを含む）」が 37.5％と最も多かった。

●年齢での比較

・「家族（小学生以下の子どもを含む）」は 30 歳代が 62.5％と最も高く、40 歳代の 44.1％がこれに次いだ。

・「友人・知人」は 20 歳代が 75.0％と卓越して高く、50 歳代が 43.3％とこれに次いだ。

・「ひとり」は 60 歳代以上が 52.8％と最も高く、20 歳代が 41.7％とこれに次いだ。

●居住地域での比較

・上流域では「友人・知人」が 43.5％と最も高く、「ひとり」が 39.1％とこれに次いだ。

・中流域では「ひとり」が 44.2%、「友人・知人」が 42.3％と、ともに高い割合を占めた。

・下流域では「ひとり」が 40.9％と最も高く、「家族（小学生以下の子どもを含む）」、「友人・知人」がともに 35.6％とこれに次いだ。

＜川で何をしたか＞

●全体

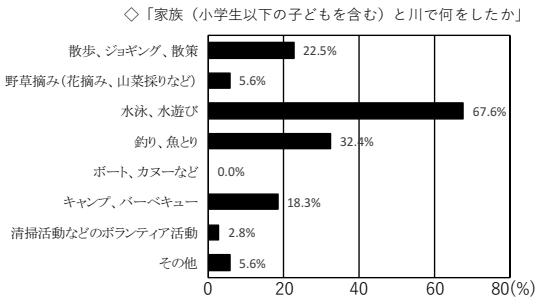
・「家族（小学生以下含む）」で最も多いのは「水泳、水遊び」で 67.6％。

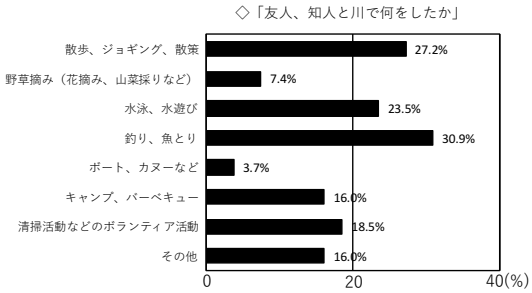
・「家族（小学生以下含まない）」は「散歩、ジョギング、散策」で 33.3％。

・「親類」は「水泳、水遊び」で 44.7％。

・「友人、知人」は「釣り、魚とり」で 30.9％。

・「ひとり」は「散歩、ジョギング、散策」で 50.0％。





●性別での比較　「誰と」について最も多い項目およびその人と「何をしたか」

男性：「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」「釣り、魚とり」46.7%

女性：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→「水泳、水遊び」72.2%

●年齢での比較　「誰と」について最も多い項目およびその人と「何をしたか」

10 歳代：「友人、知人」→「水泳、水遊び」100%

「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」100%

20 歳代：「友人、知人」→「水泳、水遊び」44.4%

30 歳代：「家族（小学生以下の子供を含む）」→「水泳、水遊び」86.7%

40 歳代：「家族（小学生以下の子供を含む）」→「水泳、水遊び」73.3%

50 歳代：「家族（小学生以下の子供を含む）」→「釣り、魚とり」50.0%

60 歳代：「ひとり」→「釣り、魚とり」が 51.5%

70 歳代：「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」61.1%

80 歳代：「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」「釣り、魚とり」50.0%

●居住地域での比較　「誰と」について最も多い項目および

その人と「何をしたか」

上流域：「友人、知人」→「釣り、魚とり」40.0%

中流域：「友人、知人」→「釣り、魚とり」31.8%

下流域：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→「水泳、水遊び」63.8%

3．環境を守る行動や意欲

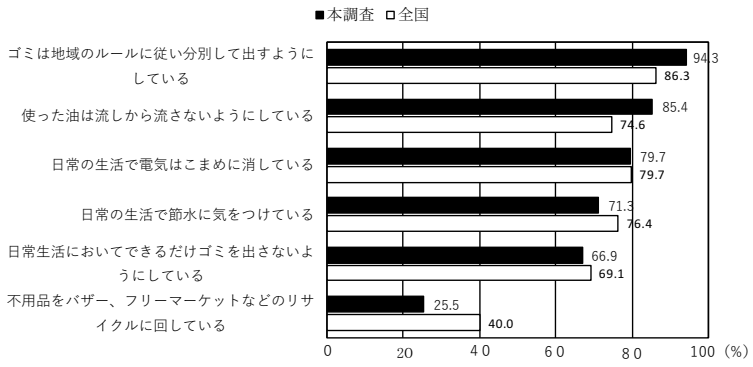
＜環境を守るために日頃どのような行動を行っているか＞

●全国調査との比較：

・比較した 6 項目中 3 項目において調査地域の『実施率』が全国調査の『実施率』を下回った。

・実施率が全国調査よりも上回っている項目：「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」94.3%（全国調査より 8.0 ポイント多い）、「使

◇「環境を守るために日頃どのようなことをおこなっているか」全国調査（平成28年度）との比較（「いつも行っている」＋「だいたい行っている」）



った油は流しから流さないようにしている」85.4%（全国調査より 10.8 ポイント多い）。

・実施率が全国よりも下回っている項目：「日常の生活で節水に気をつけている」71.3%（全国調査より 5.1 ポイント低い）、「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」66.9%（全国調査より 2.2 ポイント低い）、「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」25.2%（全国調査より 14.5 ポイント低い）。

●性別での比較

・13 項目中 12 項目において、男性より女性のほうが実施率が高い。

男性：

＜実施率が高い項目＞

・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」92.7%

・「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」86.4%

・「使った油は流しから流さないようにしている」79.5%

＜実施率が低い項目＞

・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」24.1%

・「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」28.3%

・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」34.5%

女性：

＜実施率が高い項目＞

・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」95.8%

・「使った油は流しから流さないようにしている」91.0%

・「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」90.9%

＜実施率が低い項目＞

・「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」25.6%

・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」27.1%

・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」38.2%

●年齢での比較

＜全年齢層において実施率が高い項目＞

・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」（平均 93.6%）

・「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」（平均 85.6%）

・「使った油は流しから流さないようにしている」（平均 79.1%）

＜全年齢層において実施率が低い項目＞

・「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」（平均 22.9%）

・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」（平均 23.8%）

・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」（平均 30.2%）

＜特定の年齢層において実施率が低い項目＞

・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」と「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」10 歳代で 0%

・「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」30 歳代で 0%

●居住地域での比較

・すべての居住地域において「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」が最も実施率の高い項目となっている。居住地域による大きな違いは認められなかった。

◇問８　あなたのご家庭では、日頃、流しの排水口や三角コーナーで水切り袋などを使っていますか。

・「いつも使っている」67.0%（前回調査より 2.5 ポイント増加）

・「全く使っていない」12.4%（前回から 1.9 ポイント減少）

◇問９　あなたのご家庭では、日頃、家庭から出る生ゴミのたい肥化に取り組んでいますか。

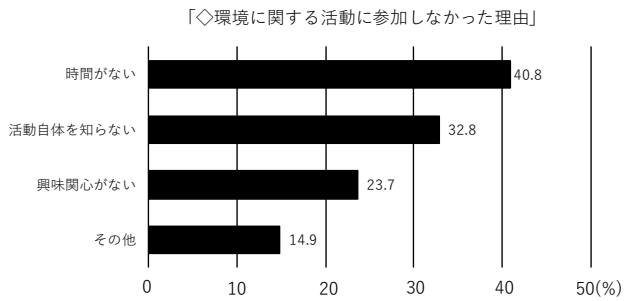
・「全くしていない」51.9%（前回から 3.2 ポイント増加）

・「いつもしている」20.9%（前回から 2.5 ポイント減少）

◇問 10　あなたは、環境に関する活動に参加したことがありますか。

ある：42.3%　　ない：57.7%

◇問 11「ない」と答えた理由



◇問 12　四万十川やその流域の環境を保全するために、寄付を募るとすれば協力してもよいと思いますか。

思う：77.3%（前回から 4.3 ポイント減少）

思わない：22.7%（前回から 4.3 ポイント増加）

◇問 13　1 か月あたり協力しても良いと思う金額は。

●全体

・「300 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合は前回調査の 61.4%から 64.2%へと 2.8 ポイント増加。

・「～1,000 円くらいまで」以上の金額を答えた人の割合は 23.0%（前回から 4.4 ポイント増加）

●性別での比較

・男性では「～100 円くらいまで」が最も多く 31.7%、次いで「～1,000 円くらいまで」が 28.3%。
・女性では「～500 円くらいまで」が最も多く 28.3%、次いで「～100 円くらいまで」が 27.3%。

●年齢での比較
・「～300 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合が最も高いのは 30 歳代の 85.7%で、次いで 50 歳代の 71.1%。
・前回調査と比較すると、特に 30 歳代の「～1,000 円くらいまで」と答えた人の割合が大幅に増加。（前回から 29.2 ポイント増加）。

●居住地域での比較
・今回調査では居住地域ごとの金額に明瞭な差は認められなかった。
・前回調査と比べ、中流域、下流域は大きな変化はなかったが、上流域のみ「～300 円くらいまで」の金額を回答した人の割合が低下し（前回から 6.8 ポイント減少）、一方で「～500 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合は増加（前回から 6.8 ポイント増加）。

4．通信手段について

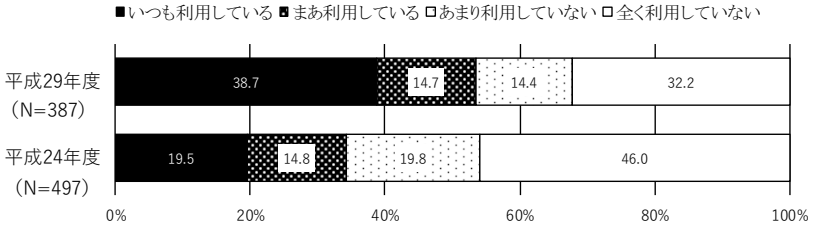
◇問 14　あなたは、携帯電話やスマートフォンなどを持っていますか。

持っている：83.6%（前回から 5.4 ポイント増加）
持っていない：16.4%（前回から 5.4 ポイント減少）→ 問１６へ

◇問 15　日頃、携帯電話やスマートフォンでインターネットを利用していますか。

●全体
・「いつも利用している」と答えた人の割合は 38.7%、「まあ利用している」と答えた人の割合は 14.7%で、これらを合わせた「利用率」は 53.4%となっており、前回調査の 34.3%から 19.1 ポイント増加。特に「いつも利用している」と答えた人の割合が前回の 19.5%から 38.7%へと大幅に増加。

◇「携帯電話でのネット利用状況」



●性別での比較
・前回調査と同様に男性の方が「持っている」と答えた人の割合が高い。男性は前回の 83.2%から 88.1%へ 4.9 ポイント、女性は前回の 74.0%から 80.4%へ 6.4 ポイント増加。

●年齢での比較
・20 歳～40 歳代において「持っている」と答えた人の割合が 100%となってい

る。また、すべての年代において「持っている」と答えた人の割合が前回よりも増加。

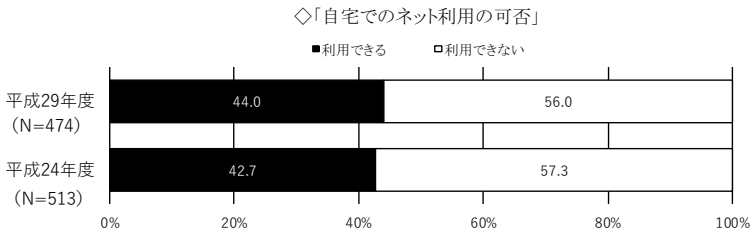
●居住地域での比較

・「持っている」と答えた人の割合は下流域が 86.8%と最も高い。前回と比較すると、上流域のみ「持っている」と答えた人の割合が 7.1 ポイント減少。

◇問 16　あなたのお宅では、パソコンなどでインターネットが利用できますか。

●全体

・「利用できる」と答えた人の割合は 44.0%で、前回調査の 42.7%から 1.3 ポイント増加している。



●性別での比較

・男女で割合に大きな差はない。前回と比較すると男性はわずかに減少していたものの、女性は 4.3 ポイント増加。

●年齢での比較

・「利用できる」と答えた人の割合が最も多かったのは 30 歳代の 84.2%で、前回の 62.0%から大幅に増加。また、40 歳代においても前回の 68.6%から 76.9%と 8.3 ポイント増加。

●居住地域での比較

・「利用できる」と答えた人の割合は前回同様中流域が 46.1%と最も高い。中流域では前回と全く変化がないが、その他の地域においてはどちらも「利用できる」と答えた人の割合が増加。

5．居住意思と生活の満足度

◇問 17　今お住まいのこの地域にずっと住み続けたいと思いますか。

そう思っている：86.8%（前回から 1.4 ポイント増加）

そう思っていない：13.2%（前回から 1.4 ポイント減少）

●性別での比較

・前回調査と比べ、男性は 86.6%から 88.7%と 2.1 ポイント、女性は 84.3%から 84.8%と 0.5 ポイント増加。

●年齢での比較

・30 歳～60 歳代以上は「そう思っている」と答えた人の割合が 8 割以上と高くなっている。特に 30 歳代においては、「そう思っている」と答えた人の割合が 89.7%と前回から 23.7 ポイントの大幅増。

・20 歳代では「そう思っている」と答えた人の割合は 54.2%と全年代中最も低い。

●居住地域での比較

・「そう思っている」と答えた人の割合が最も高いのは下流域で 88.9%。上流域のみ前回と比較して「そう思っている」人の割合が 4.5 ポイント減少。

◇問 18　今お住まいの地域を総合的にみて、どの程度満足していますか。

●全体

・「満足している」と答えた人の割合は 25.4%、「まあ満足している」と答えた人の割合は 43.2%で、この 2 項目を合わせた『満足率』は 68.6%となり、前回調査の 67.5%から 1.1 ポイント増加。

●性別での比較

・男性と女性の割合に大差はない。また、「満足している」と答えた人の割合は、男女ともに前回よりもわずかに増加。

●年齢での比較

・20 歳代を除くすべての年代で満足率が増加。20 歳代では「満足している」と　答えた人の割合は前回に比べ 10.8 ポイント増加したが、「まあ満足している」

と答えた人の割合が 21.7 ポイント低下し、その結果満足率は 54.1%と前回より 10.9 ポイント低下。

●居住地域での比較

・満足率は全流域で約 7 割と高くなっている。また『満足率』については中流域のみ前回より減少しているものの、「満足している」と答えた人の割合はすべての地域で増加している。

◇問 19　今お住まいの地域に関して、どの程度満たされていますか。

＜満足度が高い項目＞

・「まわりに親しめる自然があること」74.3%

・「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」42.9%

・「適切な診察や治療が受けられること」41.0%

＜満足度が低い項目＞

・「収入が年々確実に増えること」5.5%

・「能力があって努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること」8.0%

・「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」10.1%

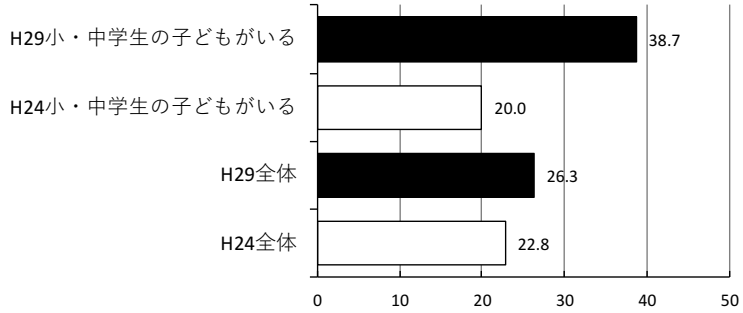
●前回との比較

・「地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること」と答えた人の割合は前回より 9.0 ポイント増加。

・「小・中学校で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられること」と答えた人のう

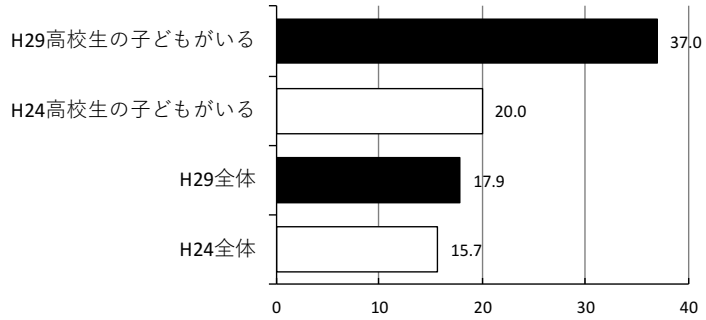
ち、「小・中学校」の子どもがいると答えた人の割合は 38.7%と前回より 18.7 ポイント増加。

「小・中学校で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられること」×「小・中学校」の子どもがいると答えた人



・「高校で自分の目的に合った教育が受けられること」と答えた人のうち、「高校生」の子どもがいると答えた人の割合は 37.0%と前回より 17.0 ポイント増加。

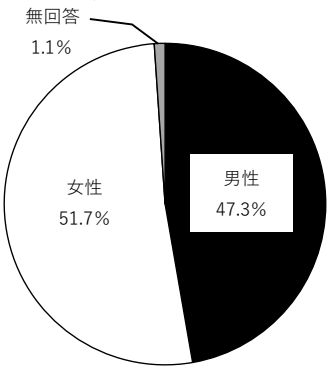
「高校で自分の目的に合った教育が受けられること」×「高校生」の子どもがいると答えた人



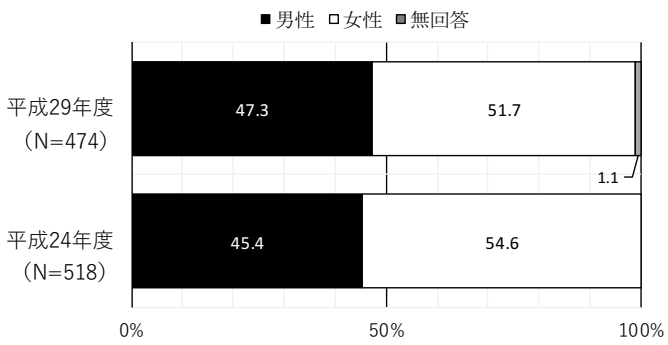
Ⅳ　調査対象者の属性

基本的属性は以下のとおり。

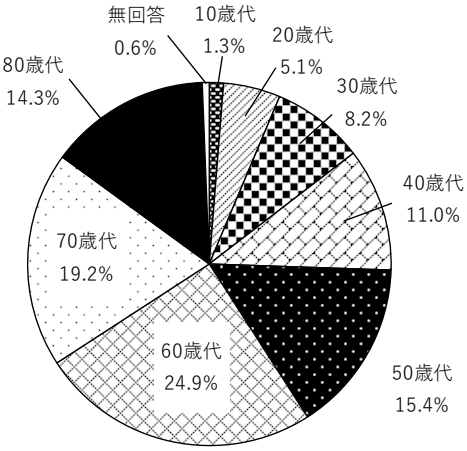
◇性別(N=474)



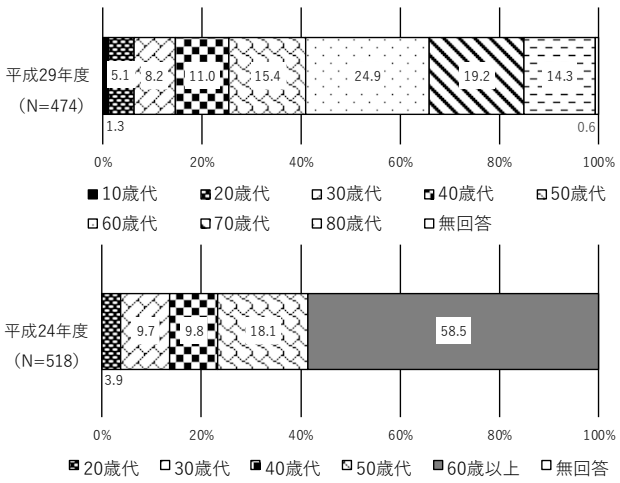
◇性別(前回との比較)



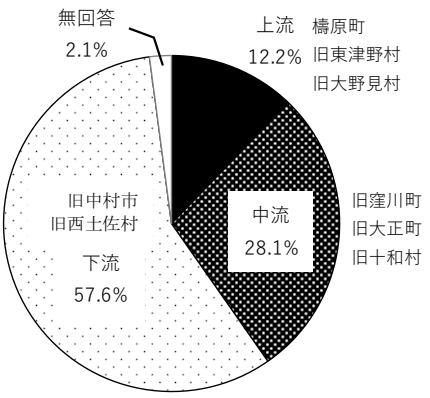
◇年齢(N=474)



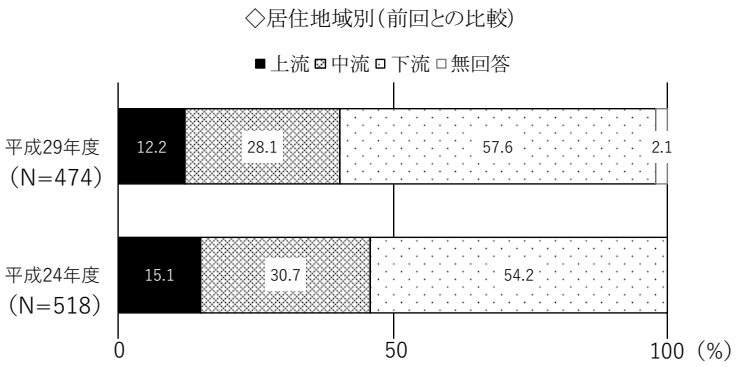
◇「前回との比較」



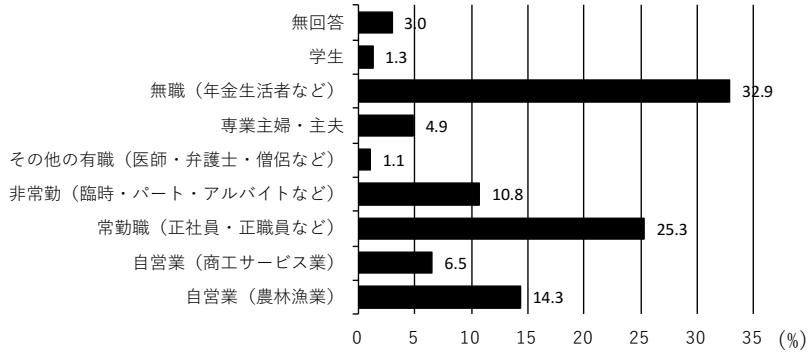
◇居住地域別(N=474)



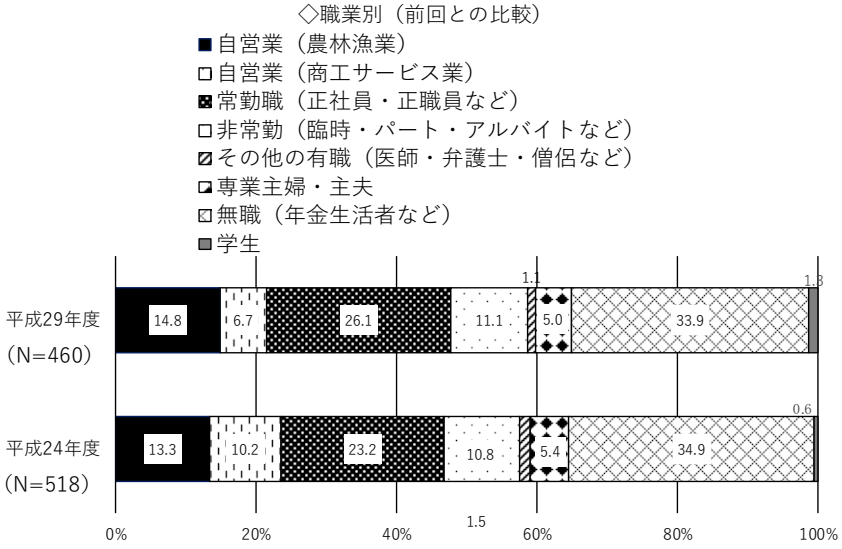
◇居住地域別(前回との比較)



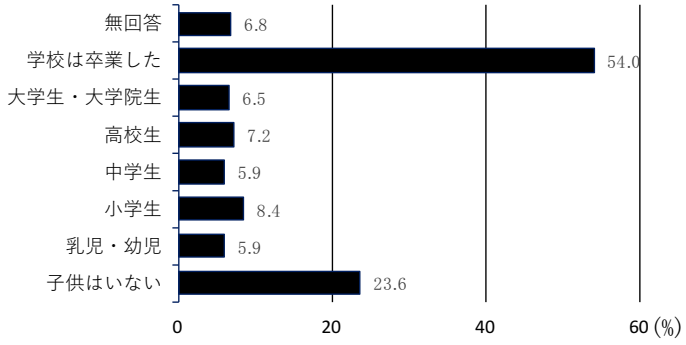
◇職業別(N=474)



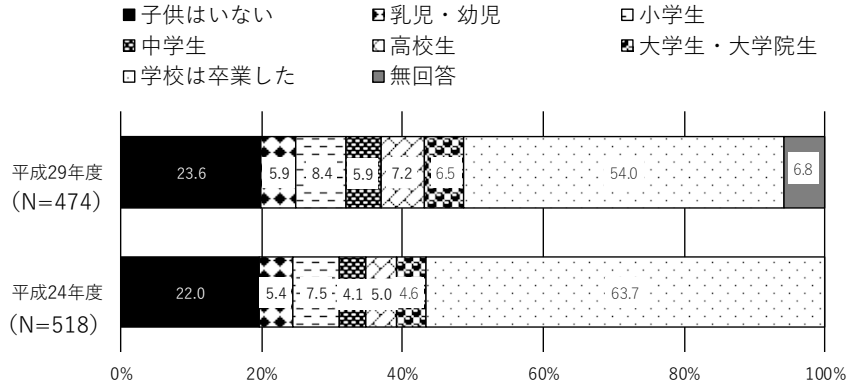
◇職業別（前回との比較）



◇子供の成長段階(N=474)



◇子供の成長段階（前回との比較）



Ⅴ　単純集計結果

１．四万十川の保全に対する取組

【「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか】

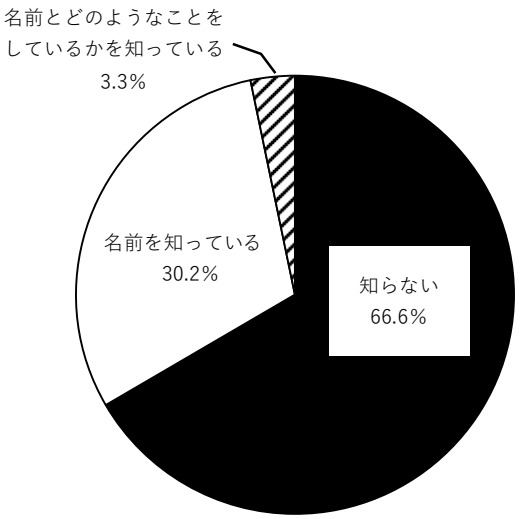
「知らない」66.6%

「名前を知っている」30.2%

「名前とどのようなことをしているかを知っている」3.3%

◇「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか

（N=461）



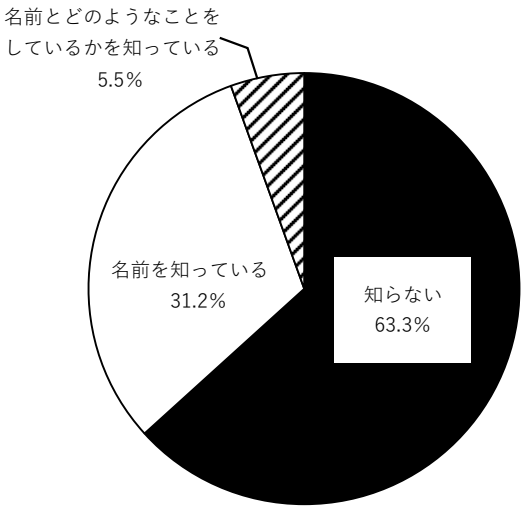
【「四万十川条例」を知っているか】

「知らない」と答えた人が 63.3%

「名前を知っている」と答えた人 31.2%

「名前とどのようなことをしているかを知っている」5.5%

◇「四万十川条例」を知っているか(N＝471)



＜特記事項＞

問1、　問２ともに「知らない」と答えた人が６割以上を占め、依然「公益財団法人四万十川財団」及び「四万十川条例」の認知度が低いことがうかがえた。

２．四万十川との関わり

【この１年間に仕事以外で川に出かけたことがあるか】
「ある」47.9%（前回から 5.9 ポイント減少)、「ない」52.1%

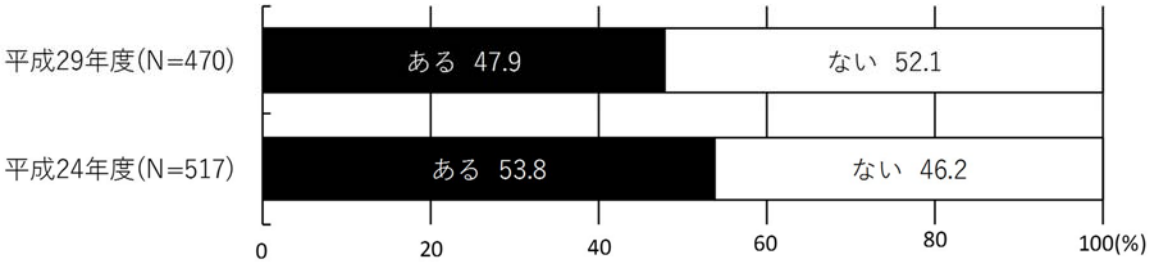
→「ある」と答えた人について
＜頻度＞
割合が高い項目：「年 1～2 回くらい」43.9%、「2～3 ヶ月に 1 回くらい」21.3%、「月 1～2 回くらい」19.5%
これらを合わせると、34.9%が「月に 1～2 回くらい」以上は川に出かけている。
（前回から 9.1 ポイント減少）

＜誰と出かけたか＞（複数回答）
割合が高い項目：「ひとり」40.4%（前回から 7.4 ポイント減少）
「友人、知人」37.2%（前回から 1.0 ポイント増加）
「家族（小学生以下の子どもを含む)」32.6%（前回から 1.1 ポイント増加）

＜川で何をしたか＞（複数回答）
“誰と”ごとに割合が高い項目：
「家族（小学生以下含む)」「水泳、水遊び」67.6%
「家族（小学生以下含まない)」と「散歩、ジョギング、散策」33.3%
「親類」と「水泳、水遊び」44.7%
「友人、知人」と「釣り、魚とり」30.9%
「ひとり」で「散歩、ジョギング、散策」50.0%
「その他（の人)」と「清掃活動などのボランティア活動」60.9%

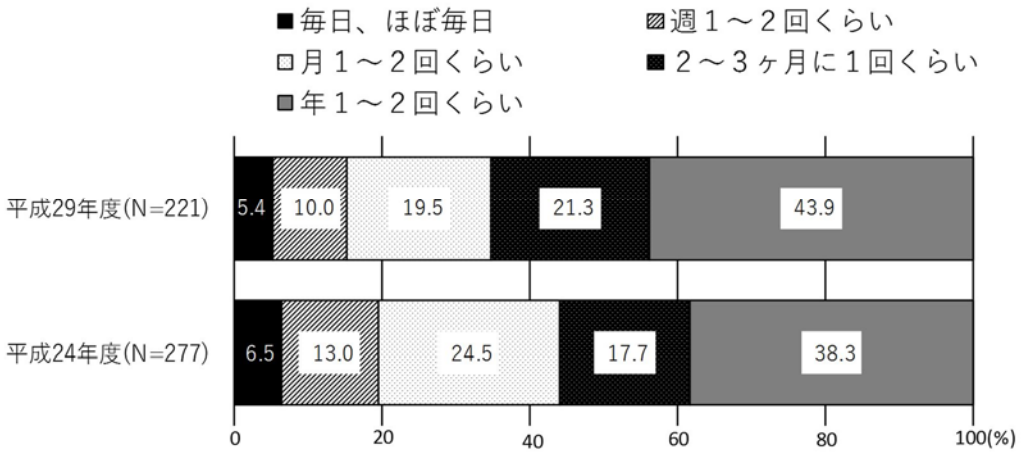
＜特記事項＞
- 四万十川流域に暮らす人の半数近くが川に出かけている。(そのうちの約 3 割の人が月に 1 回以上は川に出かけている)
- 「ひとり」および「その他」と出かけた人は減少している一方、「親類」と出かけた人は 5.8 ポイント増加している。
- 「家族（小学生以下の子どもを含む)」および「親類」と出かけた人の多くは「水泳、水遊び」を、「ひとり」で出かけた人の多くは「散歩、ジョギング、散策」を、「その他（の人)」とは「清掃活動などのボランティア活動」が高い割合となっており、誰と出かけるかによって目的が明瞭に異なっていることがうかがえる。

◇「この1年間に仕事以外で川に出かけたことがあるか」

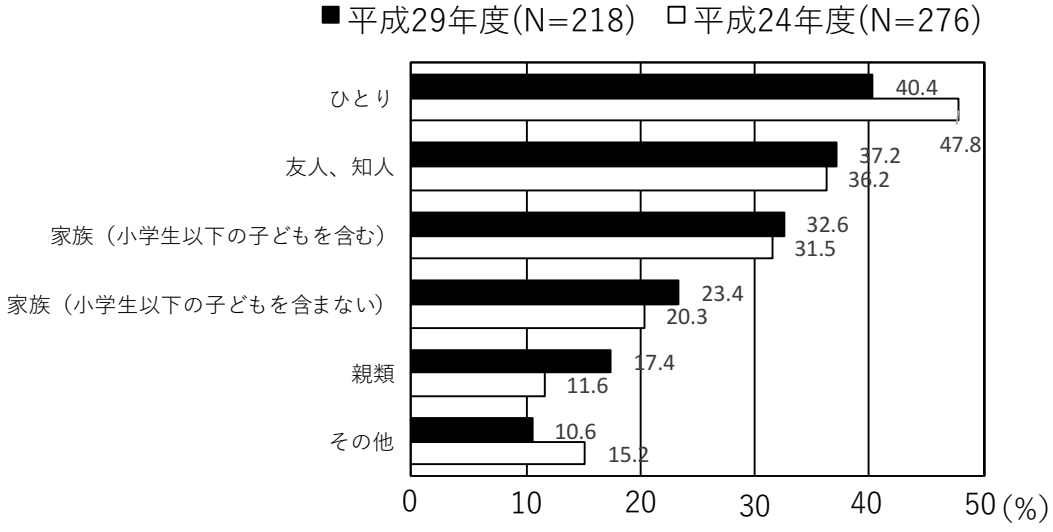


「ある」と答えた人の回答

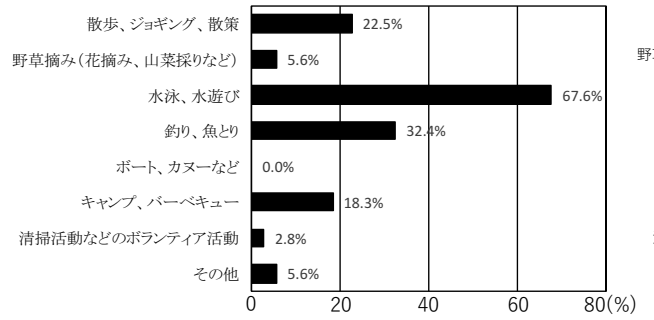
◇「川に行く頻度」



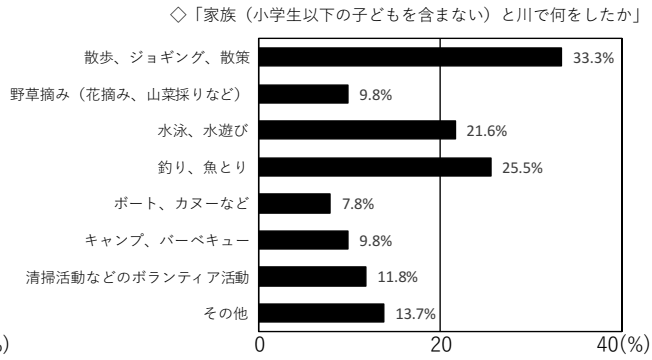
◇「誰と出かけたか」



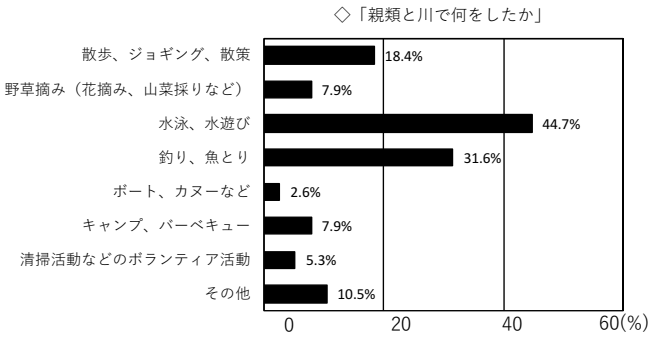
◇「家族（小学生以下の子どもを含む）と川で何をしたか」



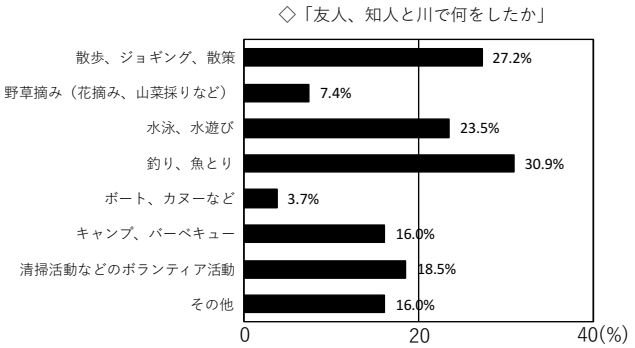
◇「家族（小学生以下の子どもを含まない）と川で何をしたか」



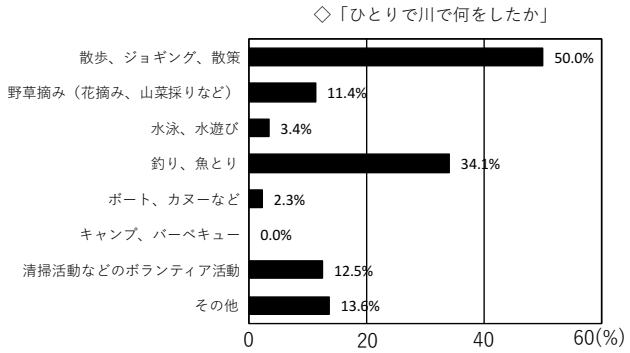
◇「親類と川で何をしたか」



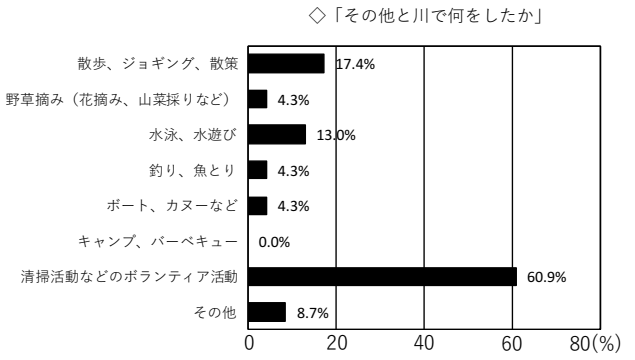
◇「友人、知人と川で何をしたか」



◇「ひとりで川で何をしたか」



◇「その他と川で何をしたか」



→「ない」と答えた人について（複数回答）

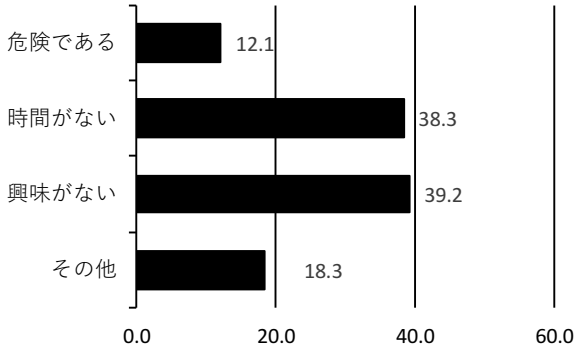
【川にでかけなかった理由】

「興味がない」39.2%、「時間がない」38.3%、

「その他」18.3%、「危険である」12.1%

◇川に出かけなかった理由（複数回答）

(N=240)

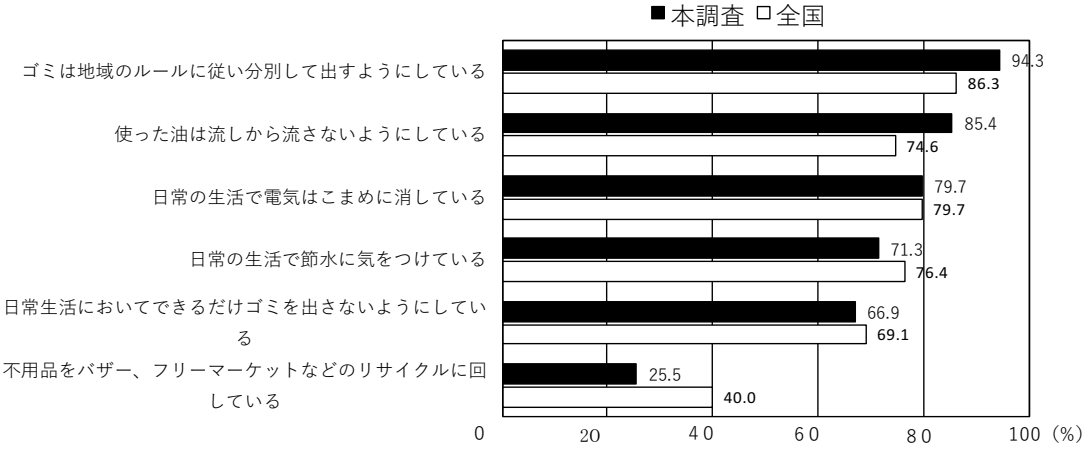


３．環境を守る行動や意欲

【環境を守る行動】

環境を守るために日頃行っている行動についての質問で「いつも行っている」と「だいたい行っている」を合わせた『実施率』を項目ごとにまとめ、環境省の「環境にやさしいライフスタイル実態調査（平成 28 年度)」と比較した。

◇「環境を守るために日頃どのようなことをおこなっているか」全国調査（平成28年度）との比較（「いつも行っている」＋「だいたい行っている」）



実施率が全国調査よりも上回っている項目：

・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」94.3%
（全国調査より 8 ポイント高い）

・「使った油は流しから流さないようにしている」85.4%（全国調査より 10.8 ポイント高い）

実施率が全国よりも下回っている項目：

・「日常の生活で節水に気をつけている」71.3%（全国調査より 5.1 ポイント低い）

・「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」66.9%
（全国調査より 2.2 ポイント低い）

・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」25.2%
（全国調査より 14.5 ポイント低い）

実施率が全国調査と同じ項目：

・「日常の生活で電気はこまめに消している」79.7%

＜特記事項＞

・比較した 8 項目中 3 項目において本調査の『実施率』が全国調査の『実施率』を下回った。

・特に「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」の実施率は、全国調査と比較して 14.5 ポイントと大きく下回り、バザー、フリーマーケットへのなじみが薄いことがうかがえる。

【家庭で日頃、排水口や三角コーナーに水切り袋を設置しているか】

割合の多い項目：「いつも使っている」67.0％（前回から 2.5 ポイント増加）

「全く設置していない」12.4％（前回から 1.9 ポイント減少）

【家庭で日頃、生ゴミのたい肥化に取り組んでいるか】

割合の多い項目：「全くしていない」51.9%（前回から 3.2 ポイント増加）

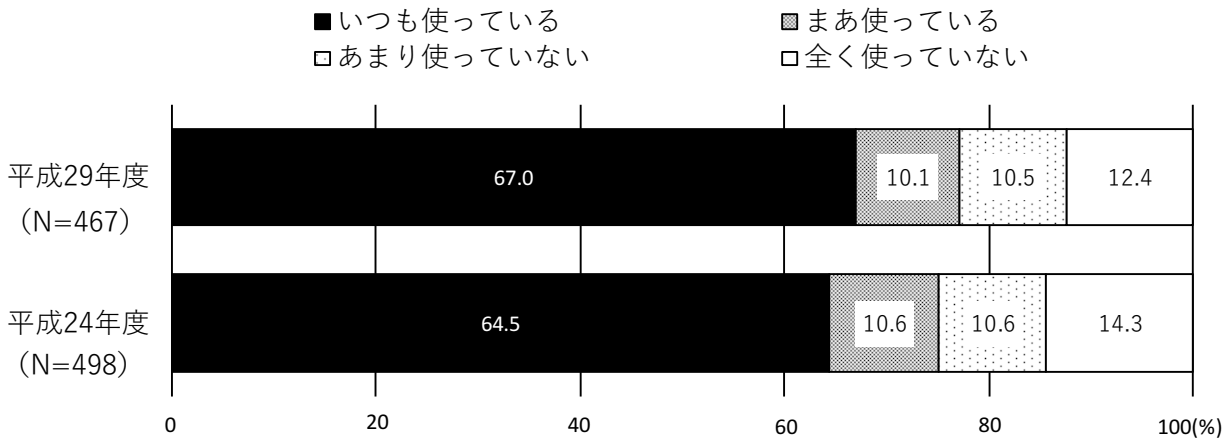
「いつもしている」20.9%（前回から 2.5 ポイント減少）

＜特記事項＞

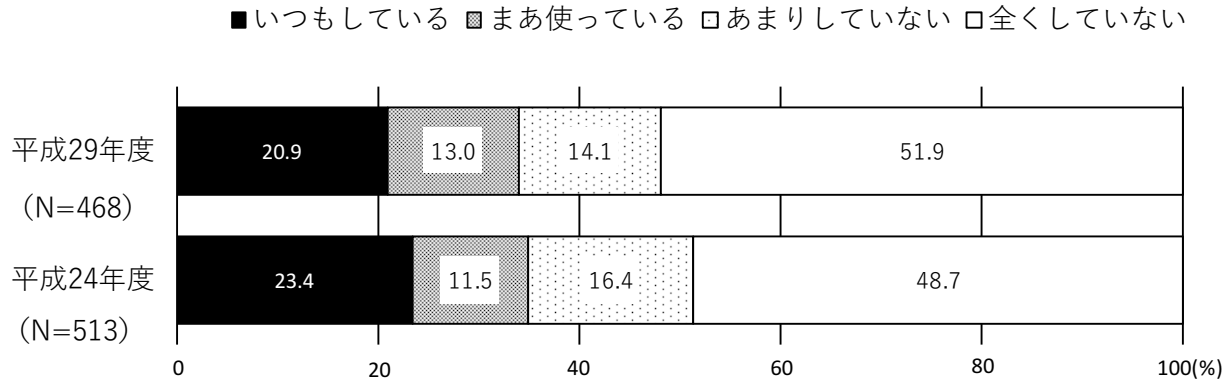
・前回調査と比較すると、水切り袋の使用率は増加した。

・生ゴミ堆肥化については取組みに減少の傾向が見られる。

◇「家庭における水切り袋使用の有無」



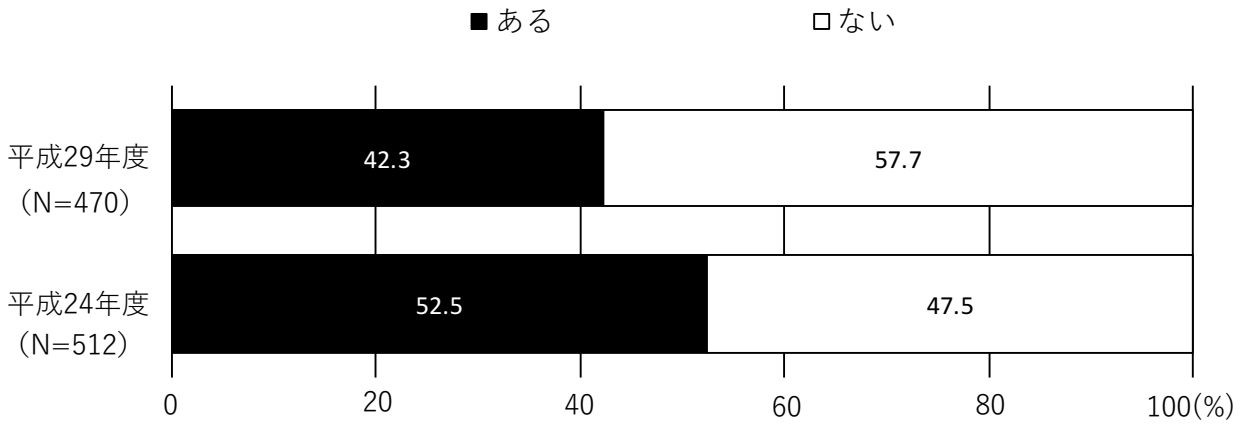
◇「家庭における生ゴミ堆肥化への取り組みの有無」



【環境に関する活動に参加したことがあるか】

「ある」42.3%（前回から 10.2 ポイント減少）、「ない」57.7%

◇「環境に関する活動への参加の有無」

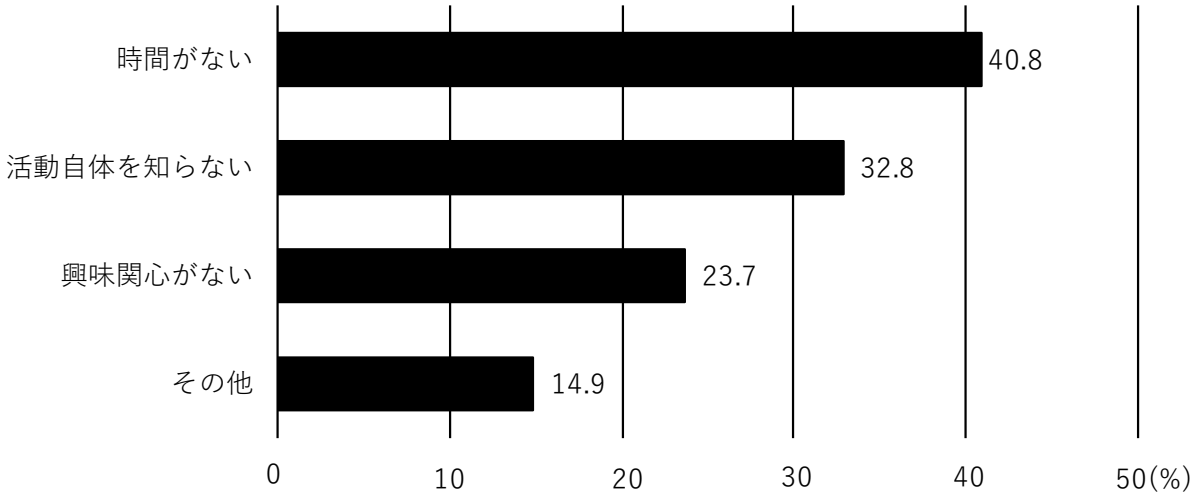


→「ない」と答えた人について

【環境に関する活動に参加しない理由】

「時間がない」40.8%、「活動自体を知らない」32.8%、「興味関心がない」23.7%、「その他」14.9%

◇「環境に関する活動に参加しなかった理由」



【四万十川や流域の環境を保全するために、寄付を募るとすれば、協力してもよいと思うか】

「思う」77.3%（前回から 4.3 ポイント減少）、「思わない」22.7%

【環境保全のための寄付協力可能な上限額】

割合の多い項目：

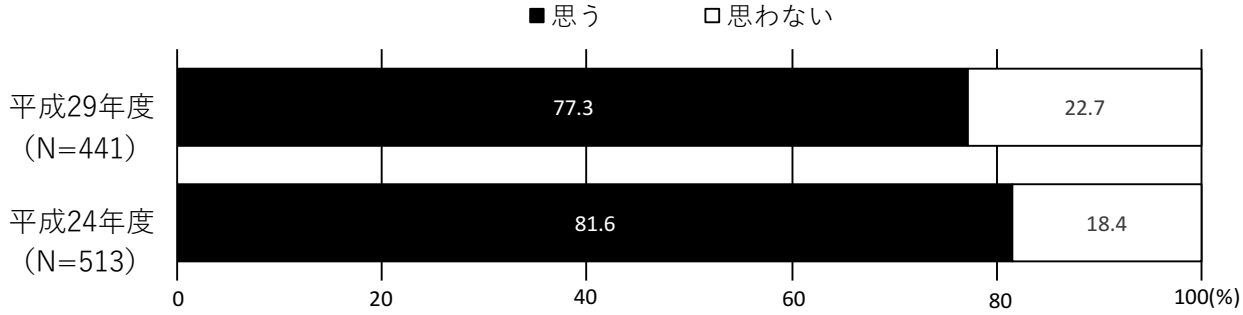
「～500 円くらいまで」24.8%、「～100 円くらいまで」29.3%、「～1,000 円くらいまで」20.0%

＜特記事項＞

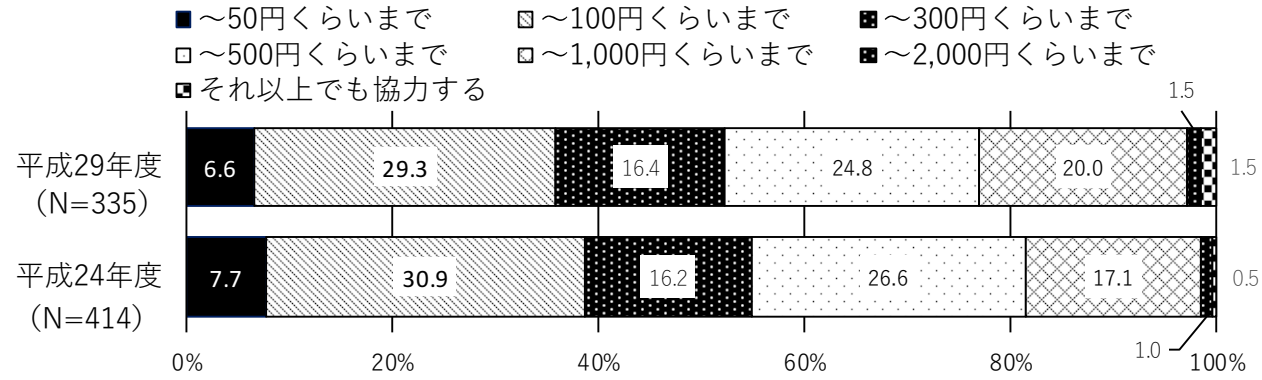
・「思う」と答えた人はやや減少した。

・一方で、寄付しても良いと答えた人が可能な協力金額については、64.2%が「(1 カ月あたり）～300 円まで」以上と回答しており、前回より高額を回答した人の割合が増加している。

◇「四万十川流域環境保全のための寄付への協力意思」



◇「寄付協力可能な金額の上限」



４．通信手段について

【携帯電話などの所有有無】

「持っている」83.6%（前回から 5.4 ポイント増加)、「持っていない」16.4%

【携帯電話などでのネット利用状況】

割合の多い項目：「いつも利用している」38.7%、「全く利用していない」32.2%

＜特記事項＞

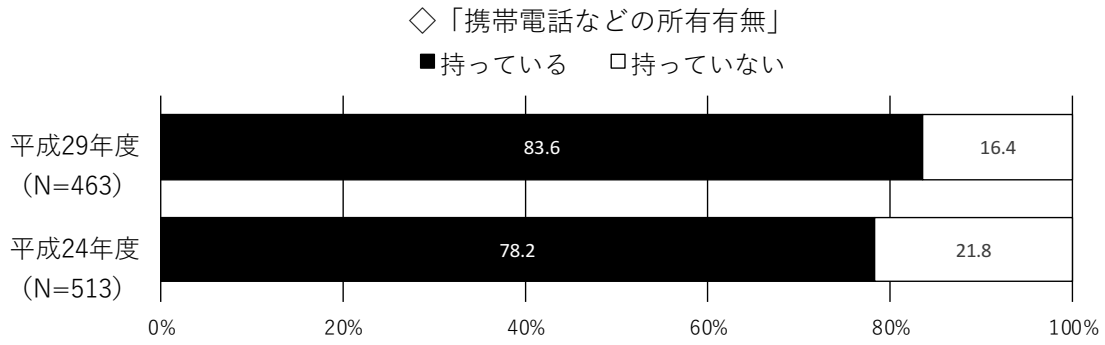
・「いつも利用している」＋「まあ利用している」は 53.4%（前回から 19.1 ポイント増加）

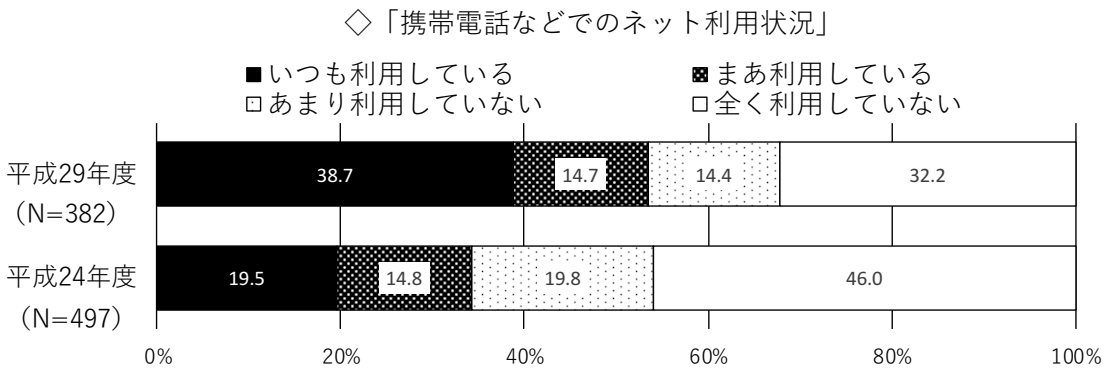
【自宅でのネット利用の可否】

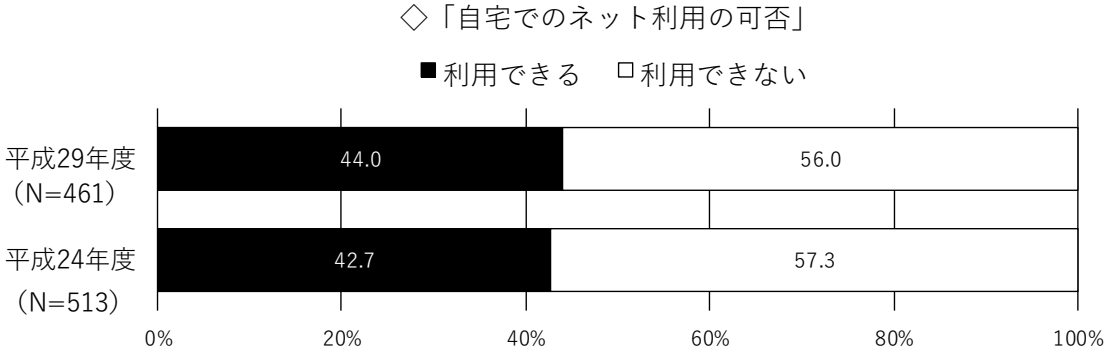
「利用できる」44.0%（前回から 1.3 ポイント増加)、「利用できない」56.0%

＜特記事項＞

・携帯電話など及びインターネット利用ともにさらに普及が進んだことがうかがえる。







５．居住意思と生活の満足度

【現在の居住地域に住み続けたいと思うか】

「そう思っている」86.8%（前回から 1.4 ポイント増加)、「そう思っていない」13.2%

【現在の居住地域への満足度】

満足度の高い項目：「まあ満足している」43.2%（前回から 5.7 ポイント減少）

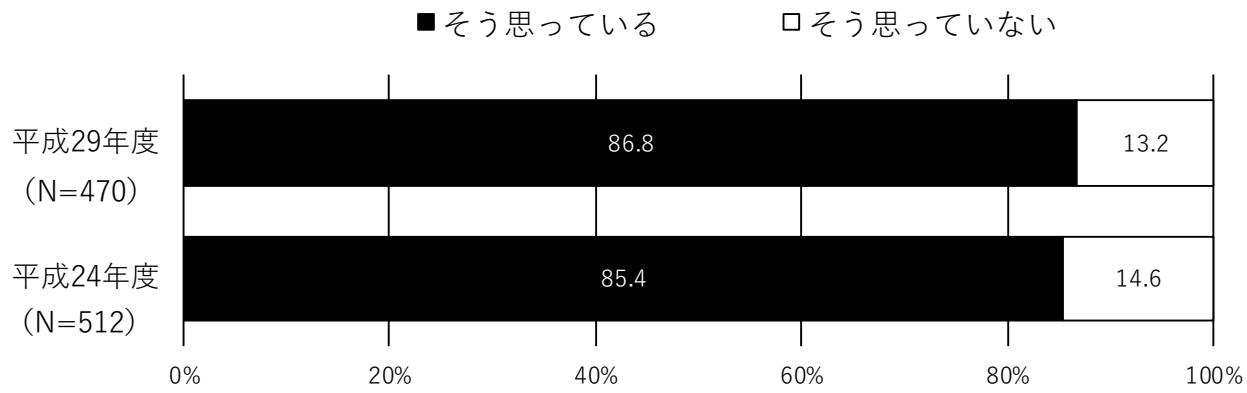
「満足している」25.4%（前回から 6.8 ポイント増加）

＜特記事項＞

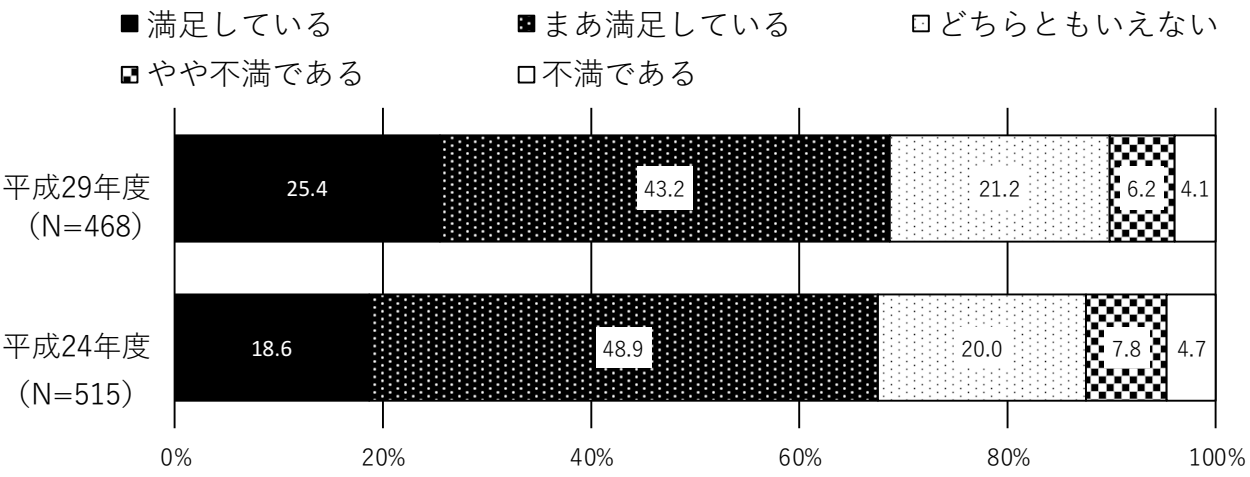
・満足度において、『満足している（「満足している」＋「まあ満足している」)』は 68.6%と、前回から 1.1 ポイント微増した。

・居住意思及び満足度ともに前回から大きな変化はなかった。

◇「現在の居住地域への居住意思」



◇「現在の居住地域への満足度」



【現在の居住地域に対する満足率】

項目ごとに『満足率』(「十分満たされている」＋「かなり満たされている」) を確認した。

満足率の高い項目：「まわりに親しめる自然があること」74.3%

「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」42.9%

「適切な診察や治療が受けられること」41.0%

「保育所、幼稚園が充実していること」39.7%

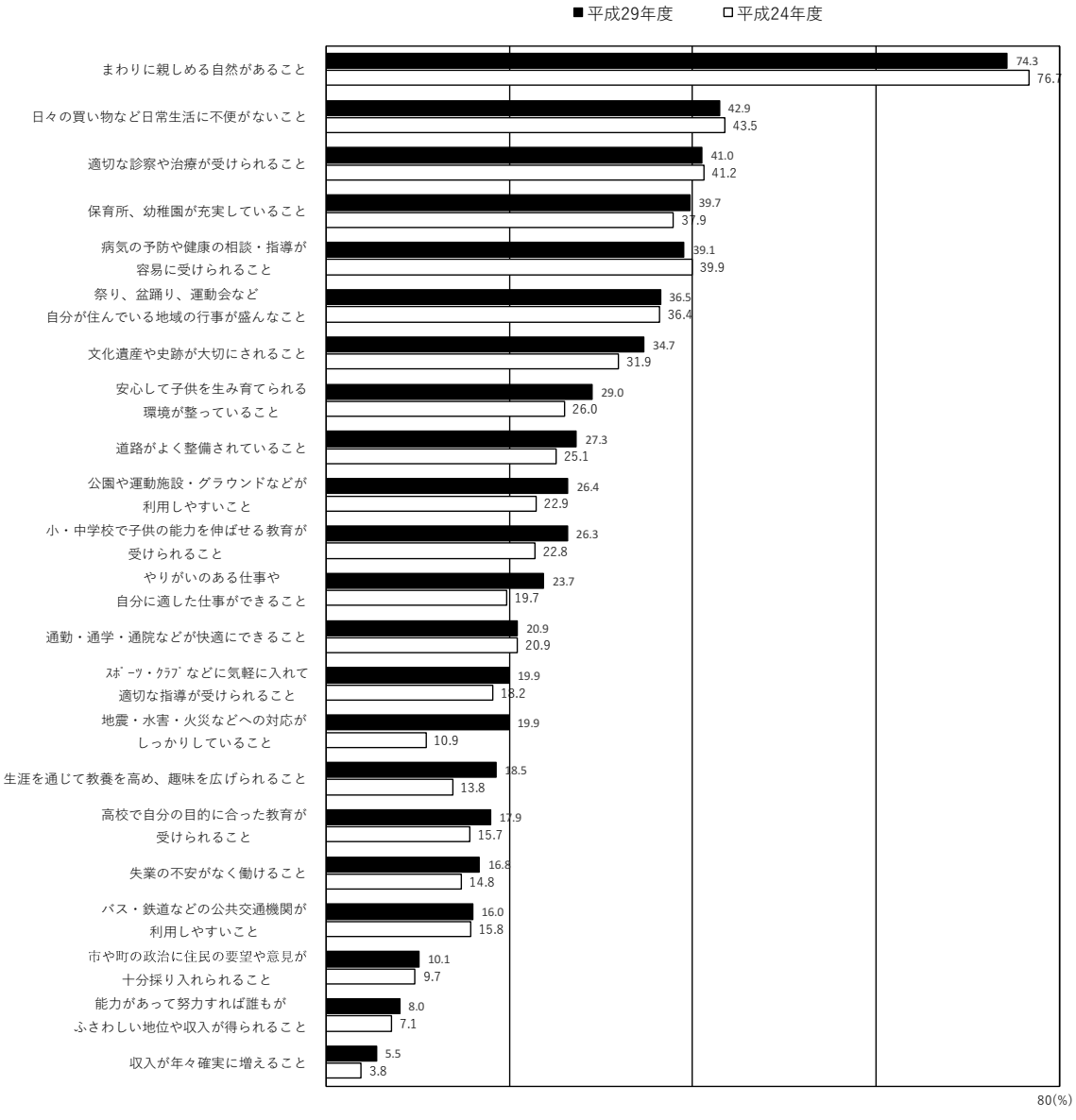
「病気の予防や健康の相談・指導が容易に受けられること」39.1%

＜特記事項＞

・前回と比較すると、「地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること」に対する満足度が最も変化しており、9ポイント増加している。

・上位の項目の順位については、前回とほとんど変化はなかった。

◇「いま住んでいる地域に対する満足度」
（「十分満たされている」＋「かなり満たされている」）



Ⅵ　クロス集計結果

１．四万十川の保全に対する取り組み

１－１．「公益財団法人四万十川財団」の認知度

【全体】

「知らない」66.6%、「名前を知っている」30.2%、「名前とどのようなことをしているかを知っている」3.3%

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「知らない」64.1%、「名前を知っている」31.8%

＜女性＞

「知らない」69.2%、「名前を知っている」28.3%

【年齢別】割合の高い項目 2 項目

＜10 歳代＞

「知らない」100%

＜20 歳代＞

「知らない」83.3%、「名前を知っている」12.5%

＜30 歳代＞

「知らない」71.8%、「名前を知っている」20.5%

＜40 歳代＞

「知らない」66.7%、「名前を知っている」33.3%

＜50 歳代＞

「知らない」67.1%、「名前を知っている」27.4%

＜60 歳代＞

「知らない」64.0%、「名前を知っている」32.5%

＜70 歳代＞

「知らない」65.9%、「名前を知っている」30.7%

＜80 歳以上＞

「知らない」58.7%、「名前を知っている」41.3%

【居住地別】割合の高い項目：2 項目

＜上流域＞

「知らない」70.9%、「名前を知っている」27.3%

＜中流域＞

「知らない」52.3%、「名前を知っている」40.8%

＜下流域＞

「知らない」72.6%、「名前を知っている」25.6%

＜特記事項＞

・全体及び性別での比較において、いずれも「知らない」と答えた人が 6 割以上を占めている。
・年代別で見ると、10 歳代は「知らない」が 100％となり、総じて年齢が高くなるにつれ「知っている」人の割合が高い傾向が見られた。
・居住地別で見ると、上流と下流では認知度に大きな違いはないが、中流域においては認知度が高い特徴が見られた。

図1-1-1「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか

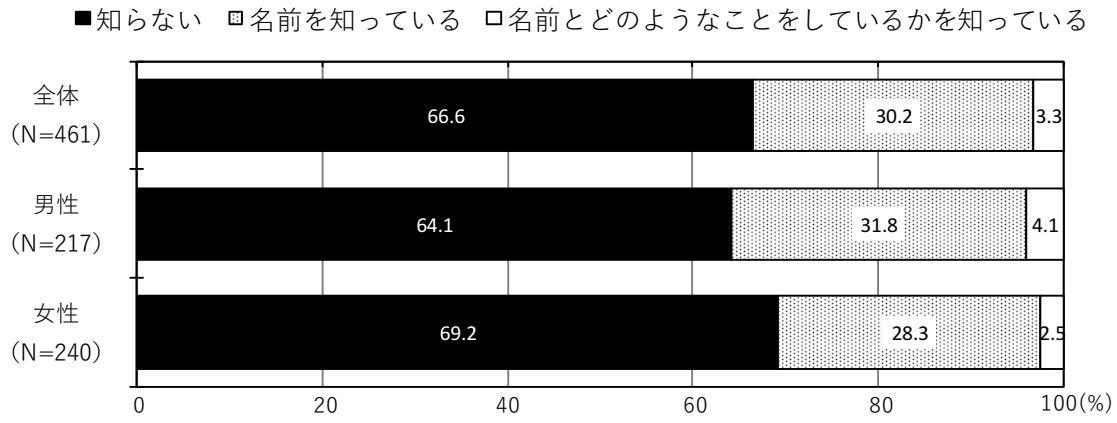


図1-1-2「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか

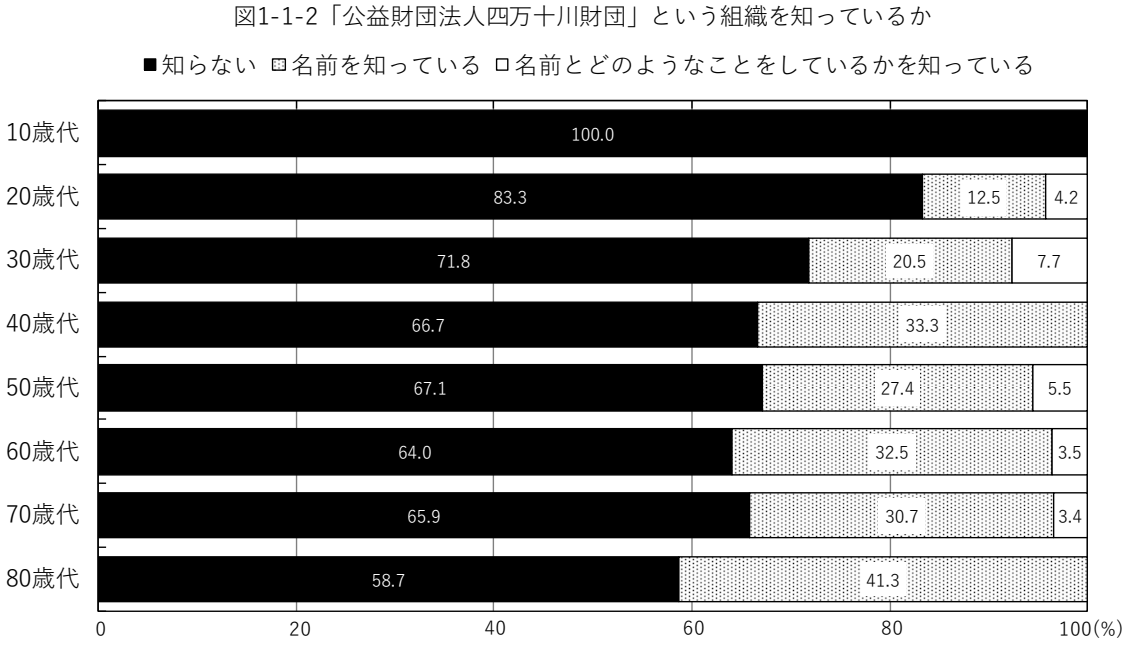
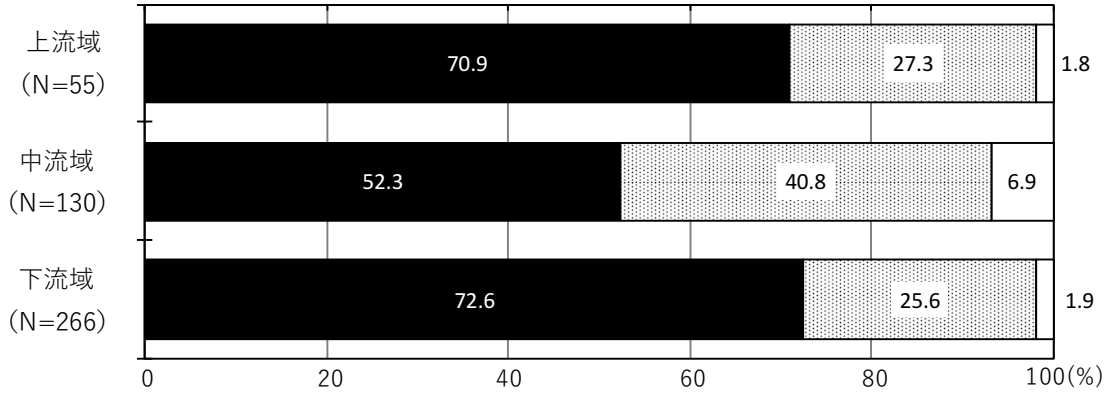


図1-1-3「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っている



１－２．「四万十川条例」の認知度

【全体】

「知らない」63.3%、「名前を知っている」31.2%、
「名前とどのようなことをしているかを知っている」5.5%

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「知らない」56.8%、「名前を知っている」36.0%

＜女性＞

「知らない」69.7%、「名前を知っている」26.2%

【年齢別】割合の高い項目：2 項目

＜10 歳代＞

「知らない」66.7%、「名前を知っている」16.7%

＜20 歳代＞

「知らない」75.0%、「名前を知っている」20.8%

＜30 歳代＞

「知らない」76.9%、「名前を知っている」20.5%

＜40 歳代＞

「知らない」65.4%、「名前を知っている」28.8%

＜50 歳代＞

「知らない」52.1%、「名前を知っている」32.9%

＜60 歳代＞

「知らない」56.4%、「名前を知っている」37.6%

＜70 歳代＞

「知らない」72.5%、「名前を知っている」26.4%

＜80 歳以上＞

「知らない」60.6%、「名前を知っている」37.9%

【居住地別】

＜上流域＞

「知らない」67.2%、「名前を知っている」31.0%

＜中流域＞

「知らない」54.9%、「名前を知っている」36.8%

＜下流域＞

「知らない」65.7%、「名前を知っている」29.2%

＜特記事項＞

・全体において、「知らない」と答えた人は 6 割以上を占めている。

・性別での比較では、「知らない」と答えた人の割合は男性が約半数であったのに対し、女性は

6 割以上と高くなっている。

・年齢別で見ると、「名前を知っている」と「名前とどのようなことをしているかを知っている」を合わせた割合は、50 歳代が最も高く、また「名前とどのようなことをしているかを知っている」については 10 歳代の割合が最も高くなっている。

・居住地域別で見ると、上流と下流では認知度に大きな違いはないが、中流域においては認知度が高いことが特徴的である。また、「知らない」と答えた人の割合は中流域では約半数であるのに対し、上流・下流域では約 7 割となっている。

図1-2-1「四万十川条例」を知っているか

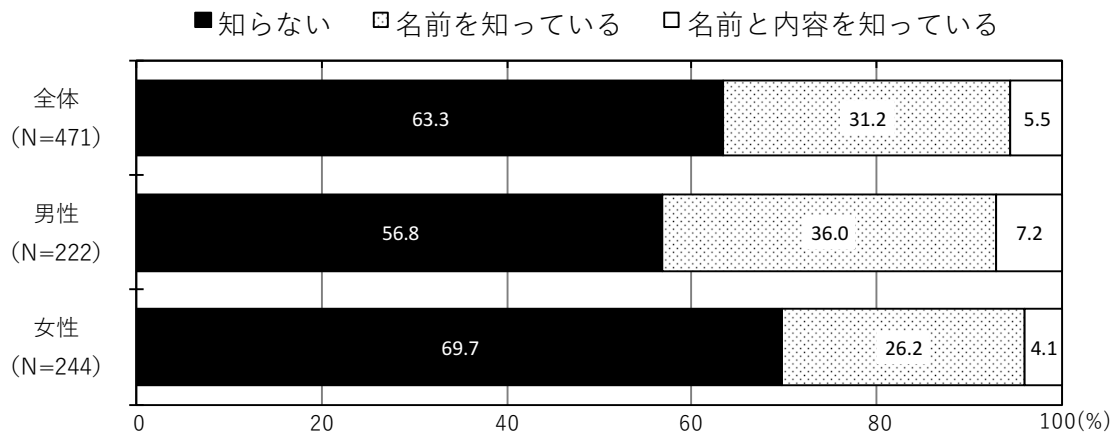


図1-2-2「四万十川条例」を知っているか

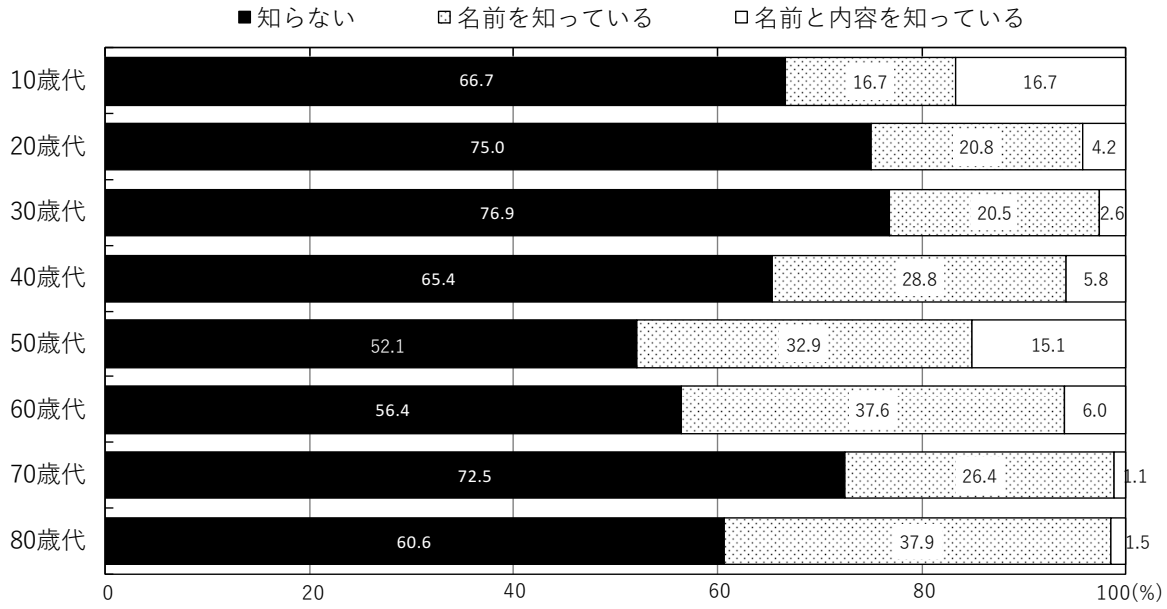
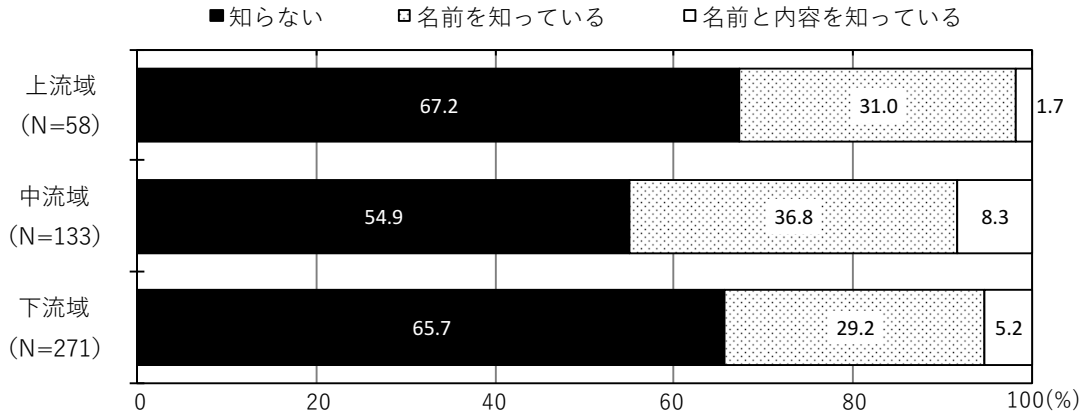


図1-2-3「四万十川条例」を知っているか



２．四万十川との関わり

２－１．川に出かけたこと

【全体】

「ある」47.9%（前回から 5.9 ポイント減少）、「ない」52.1%

【性別】

＜男性＞

「ある」54.8%（前回から 6.5 ポイント減少）、「ない」45.2%

＜女性＞

「ある」42.6%（前回から 4.9 ポイント減少）、「ない」45.2%

【年齢】

＜20 歳代＞

「ある」50.0%（前回から 15.0 ポイント増加）、「ない」50.0%

＜30 歳代＞

「ある」61.5%（前回から 5.5 ポイント増加）、「ない」38.5%

＜40 歳代＞

「ある」65.4%（前回から 3.2 ポイント減少）、「ない」34.6%

＜50 歳代＞

「ある」42.5%（前回から 10.7 ポイント減少）、「ない」57.5%

＜60 歳以上＞

「ある」44.0%（前回から 8.3 ポイント減少）、「ない」56.0%

【居住地別】

＜上流域＞

「ある」42.1%（前回から 20.7 ポイント減少）、「ない」57.9%

＜中流域＞

「ある」42.4%（前回から 8.9 ポイント減少）、「ない」57.6%

＜下流域＞

「ある」51.7%（前回から 1.0 ポイント減少）、「ない」48.3%

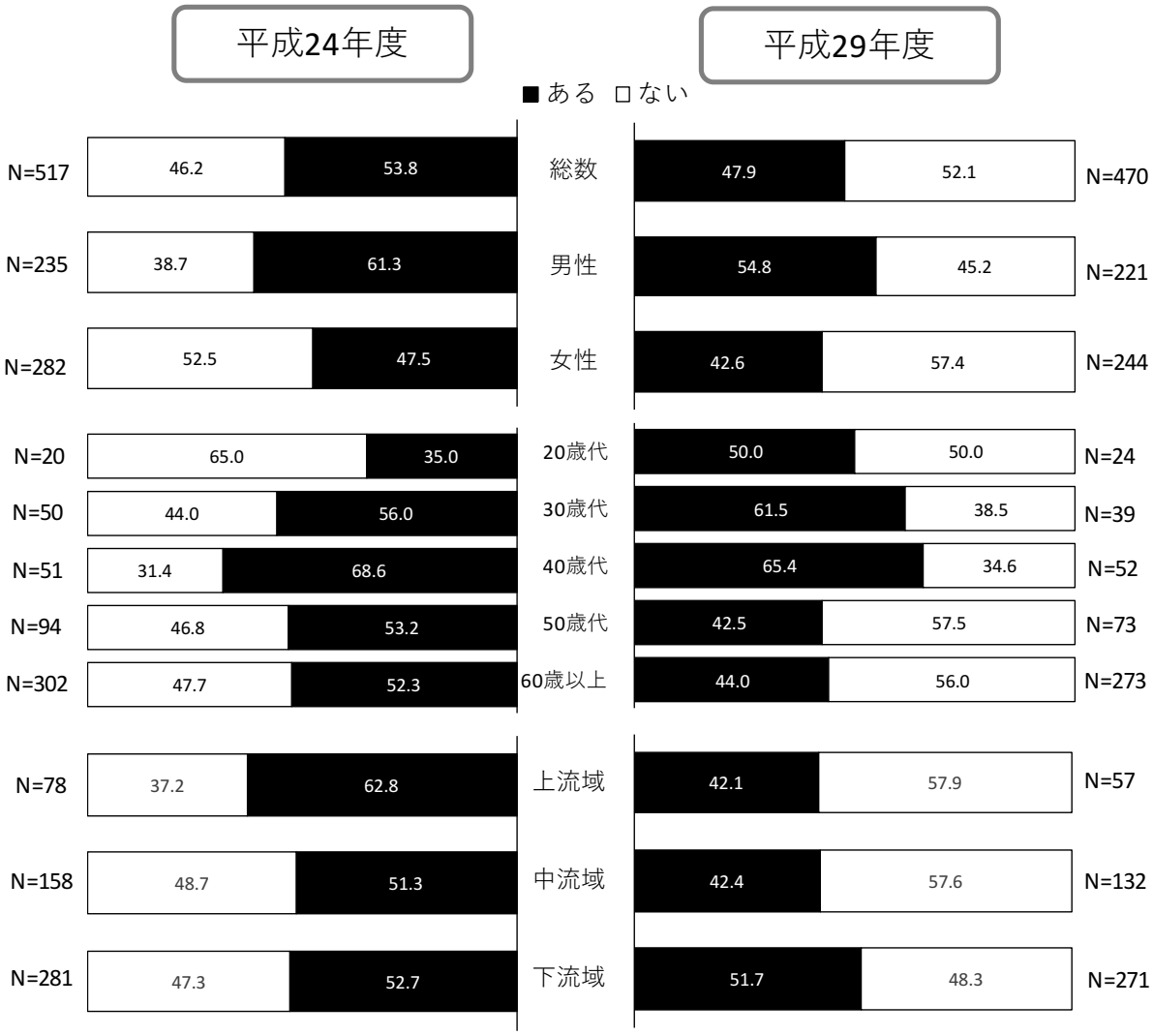
＜特記事項＞

・性別で見ると、出かけたことが「ある」と答えた人の割合は、男女いずれも前回調査より減少している。また、前回と同様に、男性の方が女性よりも川に出かける人の割合が高い。

・年齢別で見ると、最も割合が高いのは 40 歳代で 65.4%、最も割合が低いのは 50 歳代で 42.5%となっている。また、前回調査で 35.0%と最も割合が低かった 20 歳代が、今回は 50.0%と大幅に増加している。

・居住地別で見ると、すべての地域において前回調査より割合が減少している。特に上流域では最も大きく減少している。

図２－１　この１年間で仕事以外で川に出かけたことがあるか



２－２．出かけた頻度

【全体】割合の高い項目：3 項目

「年 1～2 回くらい」43.9%（前回から 5.6 ポイント増加）

「2～3 ヶ月に 1 回くらい」21.3%（前回から 3.6 ポイント増加）

「月 1～2 回くらい」19.5%（前回から 5.0 ポイント減少）

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「年 1～2 回くらい」36.1%（前回から 8.1 ポイント増加）

「月 1～2 回くらい」23.5%（前回から 6.6 ポイント減少）

＜女性＞

「年 1～2 回くらい」52.9%（前回から 3.6 ポイント増加）

「2～3 ヶ月に 1 回くらい」22.5%（前回から 5.3 ポイント増加）

【年齢】

＜20 歳代＞

「年 1～2 回くらい」33.3%（前回から 19.0 ポイント増加）

「2～3 ヶ月に 1 回くらい」25.0%（前回から 17.9 ポイント減少）

＜30 歳代＞

「年 1～2 回くらい」70.8%（前回から 17.2 ポイント増加）

「2～3 ヶ月に 1 回くらい」20.8%（前回から 7.8 ポイント減少）

＜40 歳代＞

「年 1～2 回くらい」52.9%（前回から 15.8 ポイント増加）

「月 1～2 回くらい」23.5%（前回から 2.2 ポイント減少）

＜50 歳代＞

「年 1～2 回くらい」53.3%（前回から 12.6 ポイント増加）

「2～3 ヶ月に 1 回くらい」26.7%（前回から 8.3 ポイント増加）

＜60 歳以上＞

「年 1～2 回くらい」33.3%（前回から 2.1 ポイント増加）

「月 1～2 回くらい」24.8%（前回から 3.7 ポイント減少）

【居住地別】

＜上流域＞

「年 1～2 回くらい」41.7%（前回から 11.1 ポイント増加）

「2～3 ヶ月に 1 回くらい」20.8%（前回から 5.7 ポイント減少）

「週 1～2 回くらい」20.8%（前回から 2.4 ポイント増加）

＜中流域＞

「年 1～2 回くらい」44.4%（前回から 0.6 ポイント増加）

「2～3 ヶ月に 1 回くらい」25.9%（前回から 13.4 ポイント増加）

＜下流域＞

「年 1～2 回くらい」44.2%（前回から 6.4 ポイント増加）

「月 1～2 回くらい」22.5%（前回から 0.2 ポイント増加）

＜特記事項＞

・「月 1～2 回くらい」以上は川に出かけている人は回答者の 34.9%であり、前回調査と比較すると 9.1 ポイント減少している。

・性別で見ると、「月 1～2 回くらい」以上と答えた人の割合は男性が 43.7%（前回より 10.2 ポイント減少）で女性が 24.5%（前回より 9.2 ポイント減少）であり、前回同様男性の方が女性に比べ川に行く頻度が高くなっている。

・「毎日、ほぼ毎日」は男性が 7.6%（前回 7.0%）、女性が 2.9%（前回 6.0%）と、男性は微増している一方で、女性は 3.1 ポイント減少している。

・「年 1～2 回くらい」の割合は、男女ともに前回より増加している。

・年齢別に見ると、「月 1～2 回くらい」以上と答えた人の割合は、60 歳代以上が 47.0%で前回同様最も高くなっている。一方、「毎日、ほぼ毎日」と答えた人の割合は 20 歳代が 16.7%（前回 0%）と最も高くなっている。

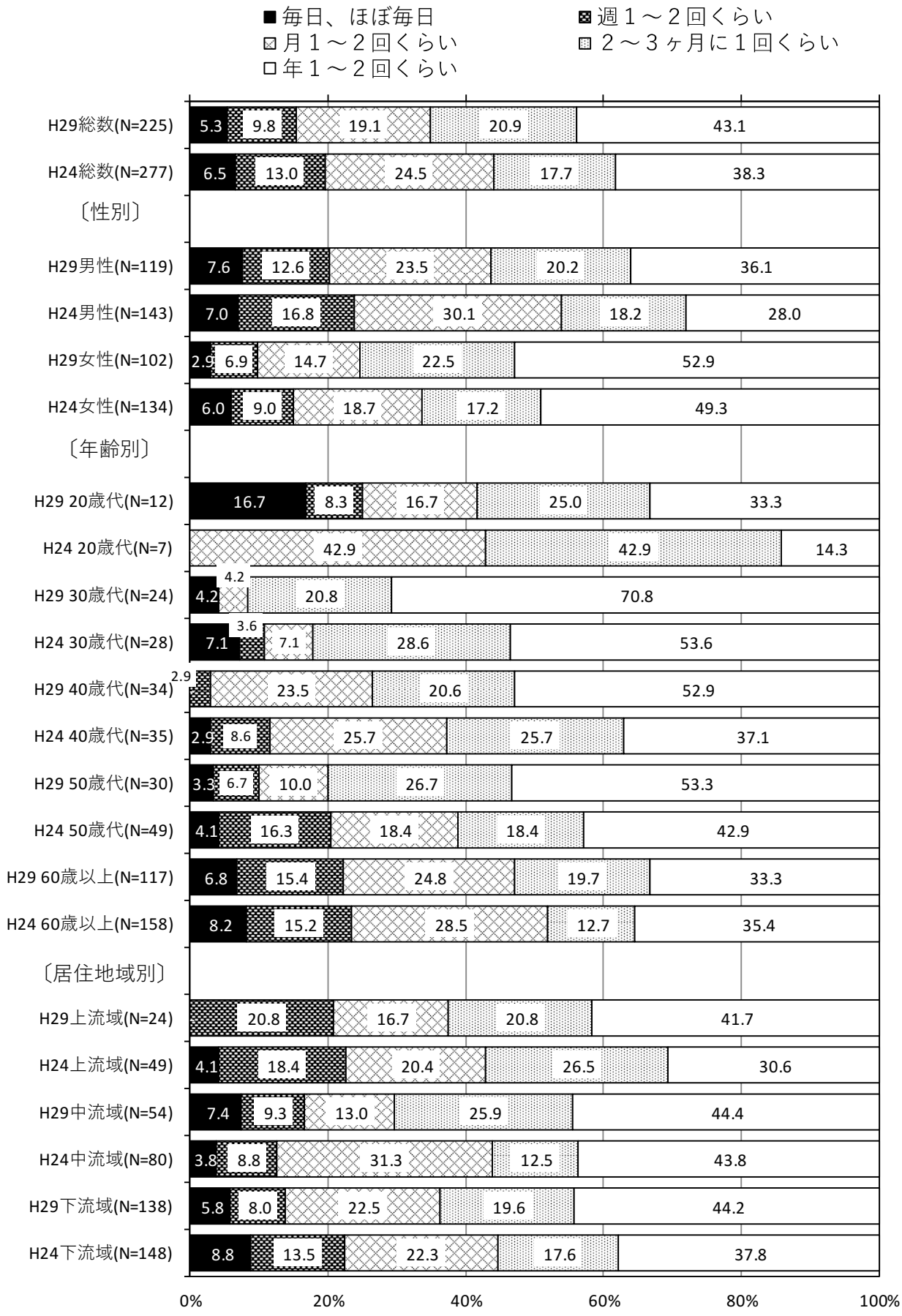
・「年 1～2 回くらい」と答えた人の割合は 60 歳以上を除くすべての世代で増加している。

・「月 1～2 回くらい」以上川にでかけている人の割合は、すべての世代において減少しており、特に 50 歳代は 18.8 ポイントと最も減少している。

・居住地別に見ると、「月 1～2 回くらい」以上と答えた人の割合は、前回調査では下流域が最も高かったが、今回は上流域が 37.5%と下流域よりもやや高くなっている。一方、上流域において「毎日、ほぼ毎日」と答えた人は 0%（前回 4.1%）となっている。

・全居住地域において「月 1～2 回くらい」以上と答えた人の割合は低くなっている。

図2－2　川に出かけた頻度



２－３．誰と出かけたか（複数回答）

【全体】割合が高い項目：2 項目

「ひとり」40.4%（前回から 7.4 ポイント減少）

「友人、知人」37.2%（前回から 1.0 ポイント増加）

＜特記事項＞

・割合の高い項目の順序はいずれも前回と同様となっている。

・「ひとり」「その他」の割合が前回調査より減少しており、中でも「ひとり」は 7.4 ポイントと最も減少している。一方、「友人、知人」「家族（小学生以下の子どもを含む」「家族（小学生以下の子どもを含まない)」「親類」の割合は前回調査より増加している。

【性別】割合が高い項目：2 項目

＜男性＞

「ひとり」51.7%、「友人、知人」40.5%

＜女性＞

「家族（小学生以下含む)」37.5%、「友人、知人」35.4%

＜特記事項＞

・男性は割合が高い項目について前回とほぼ同じ順位となっている。

・女性については、前回割合の高かった「ひとり」がやや減少し、代わって「親類」が大幅に増加している。

【年齢別】割合が高い項目：2 項目

＜20 歳代＞

「友人、知人」75.0%、「ひとり」41.7%

＜30 歳代＞

「家族（小学生以下含む)」62.5%、「友人、知人」33.3%

＜40 歳代＞

「家族（小学生以下含む)」44.1%、「家族（小学生以下含まない)」「友人、知人」35.3%

＜50 歳代＞

「友人・知人」43.3%、「家族（小学生以下含む)」40.0%

＜60 歳以上＞

「ひとり」52.8%、「友人、知人」34.3%

＜特記事項＞

・20 歳代において、「家族（小学生以下の子どもを含まない)」と答えた人が前回の 0%から 16.7%に増加し、また、「親類」も 0%から 33.3%と大幅に増加している。

・50 歳代において、「家族（小学生以下含まない)」及び前回最も多かった「ひとり」については割合が減少しており、その一方「家族（小学生以下含む)」「親類」「友人、知人」の割合が増加している。

【居住地域別】割合が高い項目：2 項目

＜上流域＞

「友人、知人」43.5%、「ひとり」39.1%

＜中流域＞

「ひとり」44.2%、「友人、知人」42.3%

＜下流域＞

「ひとり」40.9%、「家族（小学生以下含む）」「友人、知人」35.6%

＜特記事項＞

・すべての地域において「友人、知人」「ひとり」が割合の高い項目として入っている。

・中流域において、前回二番目に割合の高かった「家族（小学生以下含む）」はやや減少し、代わって「友人、知人」が増加している。

図 2-3（1）誰と川に出かけたか

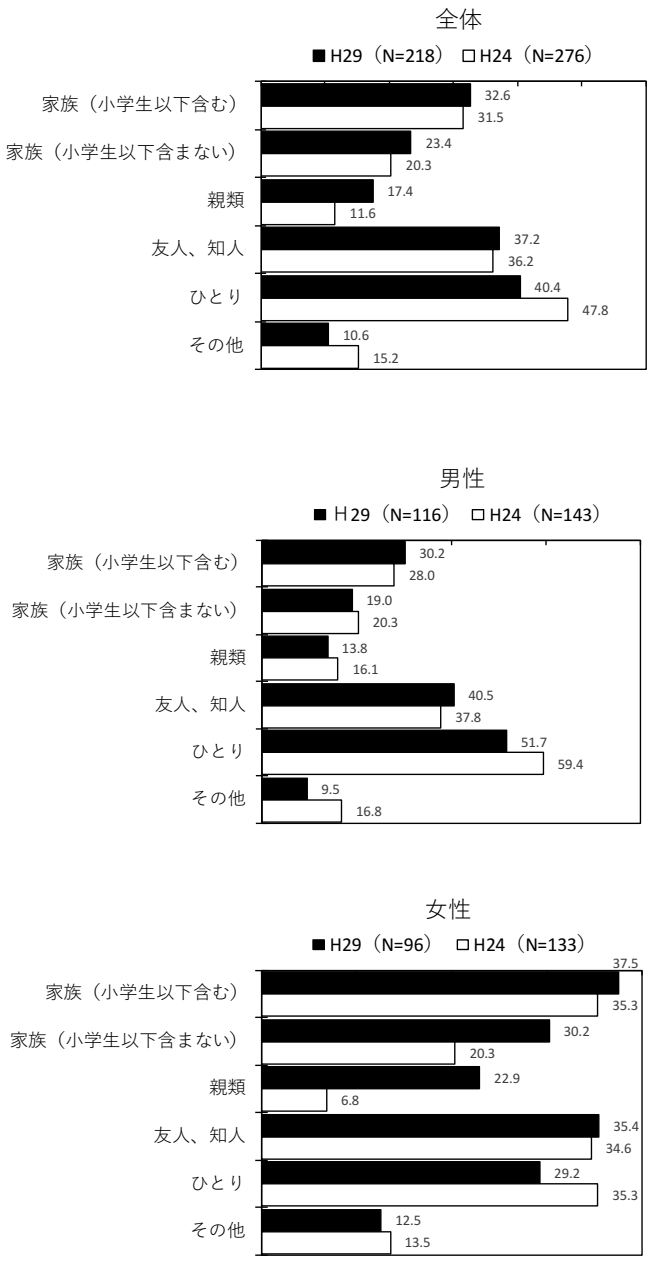
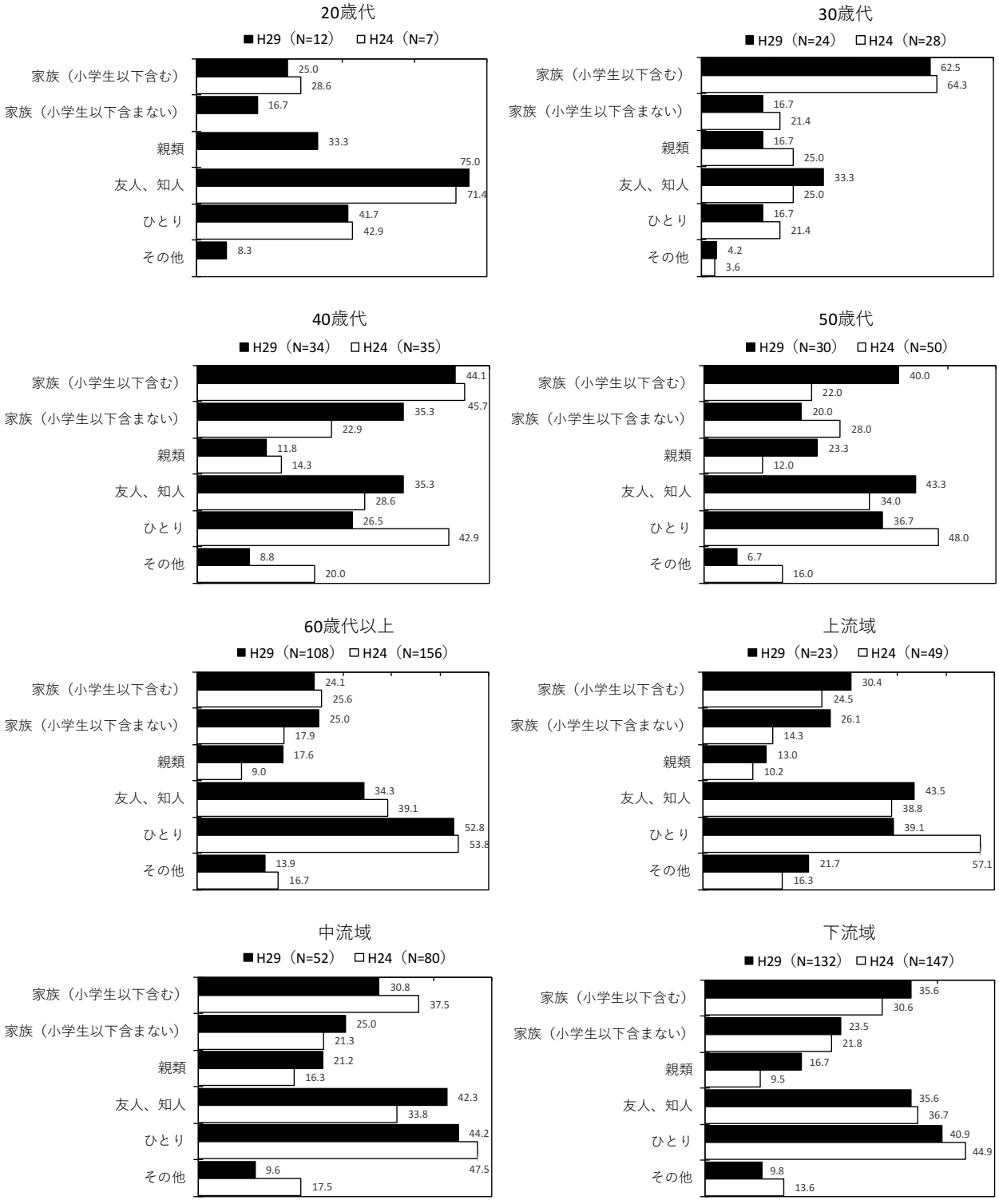


図 2-3（2）誰と川に出かけたか



２－４．誰と何をしたか（複数回答）

この１年間に仕事以外で川に出かけたことが「ある」と答えた人に、川で「誰と何をしたか」について聞いた結果を、性別、年齢別、居住地別に整理、分析を行った。

【男性について】

＜誰と＞　　＜何をしたか

最も多い項目：「ひとり」　→　・「散歩、ジョギング、散策」「釣り、魚とり」46.7%

・「清掃活動などのボランティア活動」16.7%

表 2－4－1　誰と何をしたか（男性）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=35）	度数（人）	10	2	22	13	0	5	0	2	54
	割合（%）	28.6	5.7	62.9	37.1	0.0	14.3	0.0	5.7	
家族（小学生以下含まない）（N=22）	度数（人）	7	3	6	9	0	1	3	2	31
	割合（%）	31.8	13.6	27.3	40.9	0.0	4.5	13.6	9.1	
親類（N=16）	度数（人）	4	2	9	7	0	2	1	1	26
	割合（%）	25.0	12.5	56.3	43.8	0.0	12.5	6.3	6.3	
友人、知人（N=47）	度数（人）	7	2	11	21	1	8	12	9	71
	割合（%）	14.9	4.3	23.4	44.7	2.1	17.0	25.5	19.1	
ひとり（N=60）	度数（人）	28	5	3	28	1	0	10	7	82
	割合（%）	46.7	8.3	5.0	46.7	1.7	0.0	16.7	11.7	
その他（N=11）	度数（人）	1	0	2	1	1	0	7	1	13
	割合（%）	9.1	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	63.6	9.1	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【女性について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→　・「水泳、水遊び」72.2%

・「釣り、魚とり」27.8%

表2－4－2　誰と何をしたか（女性）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=36）	度数（人）	6	2	26	10	0	8	2	2	56
	割合（%）	16.7	5.6	72.2	27.8	0.0	22.2	5.6	5.6	
家族（小学生以下含まない）（N=29）	度数（人）	10	2	5	4	4	4	3	5	37
	割合（%）	34.5	6.9	17.2	13.8	13.8	13.8	10.3	17.2	
親類（N=22）	度数（人）	3	1	8	5	1	1	1	3	23
	割合（%）	13.6	4.5	36.4	22.7	4.5	4.5	4.5	13.6	
友人、知人（N=34）	度数（人）	15	4	8	4	2	5	3	4	45
	割合（%）	44.1	11.8	23.5	11.8	5.9	14.7	8.8	11.8	
ひとり（N=29）	度数（人）	16	5	0	2	1	0	1	5	30
	割合（%）	55.2	17.2	0.0	6.9	3.4	0.0	3.4	17.2	
その他（N=12）	度数（人）	3	1	1	0	0	0	7	1	13
	割合（%）	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	58.3	8.3	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

次に、年齢別に分析を行った。

【10 歳代について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「友人、知人」→　「水泳、水遊び」のみ

「ひとり」　→　「散歩、ジョギング、散策」のみ

次いで多い項目：「その他」　→　「清掃活動などのボランティア活動」のみ

＜特記事項＞

10 歳代の回答についてはこれらの項目のみであった。

表 2－4－3　誰と何をしたか（10 歳代）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=0）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族（小学生以下含まない）（N=0）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
親類（N=0）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
友人、知人（N=2）	度数（人）	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	割合（%）	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ひとり（N=2）	度数（人）	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	割合（%）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他（N=1）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【20 歳代について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「友人、知人」→　・「水泳、水遊び」44.4%

・「散歩、ジョギング、散策」「釣り、魚とり」「キャンプ、バーベキュー」「その他」22.2%

表 2－4－4　誰と何をしたか（20 歳代）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=3）	度数（人）	1	0	1	0	0	1	0	1	4
	割合（%）	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	
家族（小学生以下含まない）（N=2）	度数（人）	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
親類（N=4）	度数（人）	0	0	2	0	0	0	0	2	4
	割合（%）	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
友人、知人（N=9）	度数（人）	2	0	4	2	1	2	0	2	13
	割合（%）	22.2	0.0	44.4	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	
ひとり（N=6）	度数（人）	4	0	0	0	0	0	1	1	6
	割合（%）	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	
その他（N=1）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【30 歳代について】

＜誰と＞

最も多い項目：「家族（小学生以下の子供を含む）」→

＜何をしたか＞

・「水泳、水遊び」86.7%

・「釣り、魚とり」40.0%

表 2－4－5　誰と何をしたか（30 歳代）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=15）	度数（人）	1	0	13	6	0	5	0	0	25
	割合（%）	6.7	0.0	86.7	40.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
家族（小学生以下含まない）（N=4）	度数（人）	1	0	2	0	0	2	2	0	7
	割合（%）	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
親類（N=4）	度数（人）	1	0	2	1	0	0	0	0	4
	割合（%）	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
友人、知人（N=8）	度数（人）	1	1	5	4	0	4	2	0	17
	割合（%）	12.5	12.5	62.5	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	
ひとり（N=4）	度数（人）	1	0	0	3	1	0	1	1	7
	割合（%）	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	
その他（N=1）	度数（人）	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合（%）	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【40 歳代について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「家族（小学生以下の子供を含む)」→　・「水泳、水遊び」73.3%

・「釣り、魚とり」40.0%

表 2－4－6　誰と何をしたか（40 歳代）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=15）	度数（人）	4	0	11	6	0	2	0	1	24
	割合（%）	26.7	0.0	73.3	40.0	0.0	13.3	0.0	6.7	
家族（小学生以下含まない）（N=12）	度数（人）	5	2	1	1	2	0	0	3	14
	割合（%）	41.7	16.7	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	25.0	
親類（N=4）	度数（人）	1	1	2	1	0	1	1	1	8
	割合（%）	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	
友人、知人（N=12）	度数（人）	4	0	3	1	1	3	0	3	15
	割合（%）	33.3	0.0	25.0	8.3	8.3	25.0	0.0	25.0	
ひとり（N=9）	度数（人）	7	0	0	2	0	0	1	2	12
	割合（%）	77.8	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	
その他（N=3）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【50 歳代について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「家族（小学生以下の子供を含む）」→　・「釣り、魚とり」50.0%

・「散歩、ジョギング、散策」

「水泳、水遊び」41.7%

「友人、知人」　→　・「散歩、ジョギング、散策」46.2%

・「釣り、魚とり」38.5%

表 2－4－7　誰と何をしたか（50 歳代）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=12）	度数（人）	5	2	5	6	0	3	1	1	23
	割合（%）	41.7	16.7	41.7	50.0	0.0	25.0	8.3	8.3	
家族（小学生以下含まない）（N=6）	度数（人）	1	1	4	0	0	1	0	1	8
	割合（%）	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	
親類（N=7）	度数（人）	3	1	4	2	0	1	0	0	11
	割合（%）	42.9	14.3	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	
友人、知人（N=13）	度数（人）	6	1	2	5	1	2	4	2	23
	割合（%）	46.2	7.7	15.4	38.5	7.7	15.4	30.8	15.4	
ひとり（N=11）	度数（人）	7	2	0	1	1	0	0	1	12
	割合（%）	63.6	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	
その他（N=2）	度数（人）	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	割合（%）	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【60 歳代について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「ひとり」→　・「釣り、魚とり」が 51.5%

・「散歩、ジョギング、散策」27.3%

表 2－4－8　誰と何をしたか（60 歳代）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=17）	度数（人）	1	2	13	5	0	0	1	1	23
	割合（%）	5.9	11.8	76.5	29.4	0.0	0.0	5.9	5.9	
家族（小学生以下含まない）（N=15）	度数（人）	5	0	3	7	1	2	1	2	21
	割合（%）	33.3	0.0	20.0	46.7	6.7	13.3	6.7	13.3	
親類（N=12）	度数（人）	0	1	4	6	1	0	0	1	13
	割合（%）	0.0	8.3	33.3	50.0	8.3	0.0	0.0	8.3	
友人、知人（N=19）	度数（人）	4	1	2	8	0	1	5	4	25
	割合（%）	21.1	5.3	10.5	42.1	0.0	5.3	26.3	21.1	
ひとり（N=33）	度数（人）	9	6	2	17	0	0	7	4	45
	割合（%）	27.3	18.2	6.1	51.5	0.0	0.0	21.2	12.1	
その他（N=7）	度数（人）	1	0	1	1	1	0	5	0	9
	割合（%）	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	71.4	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【70 歳代について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「ひとり」→　・「散歩、ジョギング、散策」61.1%

・「釣り、魚とり」22.2%

表 2－4－9　誰と何をしたか（70 歳代）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=9）	度数（人）	4	0	5	0	0	2	0	0	11
	割合（%）	44.4	0.0	55.6	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	
家族（小学生以下含まない）（N=9）	度数（人）	4	2	1	2	0	0	2	0	11
	割合（%）	44.4	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	
親類（N=7）	度数（人）	2	0	3	2	0	1	1	0	9
	割合（%）	28.6	0.0	42.9	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	
友人、知人（N=13）	度数（人）	4	2	1	3	0	1	3	1	15
	割合（%）	30.8	15.4	7.7	23.1	0.0	7.7	23.1	7.7	
ひとり（N=18）	度数（人）	11	1	1	4	0	0	0	3	20
	割合（%）	61.1	5.6	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	16.7	
その他（N=7）	度数（人）	1	0	0	0	0	0	5	1	7
	割合（%）	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【80 歳代以上について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「ひとり」→　・「散歩、ジョギング、散策」「釣り、魚とり」50.0%

・「野草摘み」「清掃活動などのボランティア活動」16.7%

＜特記事項＞

＜誰と＞について、80 歳代以上においては「家族（小学生以下の子供を含む)」と「親類」と答えた人はいなかった。

表 2－4－10　誰と何をしたか（80 歳代以上）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=0）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族（小学生以下含まない）（N=3）	度数（人）	1	0	0	3	0	0	1	0	5
	割合（%）	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
親類（N=0）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
友人、知人（N=5）	度数（人）	1	1	0	2	0	0	1	1	6
	割合（%）	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	
ひとり（N=6）	度数（人）	3	1	0	3	0	0	1	0	8
	割合（%）	50.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	
その他（N=1）	度数（人）	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	割合（%）	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

次に、居住地別に分析を行った。

【上流域について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「友人、知人」→　・「釣り、魚とり」40.0%

・「清掃活動などのボランティア活動」30.0%

表 2－4－11　誰と何をしたか（上流域）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=7）	度数（人）	0	0	5	2	0	0	1	1	9
	割合（%）	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	
家族（小学生以下含まない）（N=6）	度数（人）	1	0	1	2	0	0	2	0	6
	割合（%）	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	
親類（N=3）	度数（人）	0	0	2	1	0	0	0	0	3
	割合（%）	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
友人、知人（N=10）	度数（人）	2	1	2	4	0	0	3	0	12
	割合（%）	20.0	10.0	20.0	40.0	0.0	0.0	30.0	0.0	
ひとり（N=9）	度数（人）	2	3	0	4	0	0	0	0	9
	割合（%）	22.2	33.3	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他（N=5）	度数（人）	2	0	2	1	0	0	3	0	8
	割合（%）	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【中流域について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「友人、知人」→　・「釣り、魚とり」31.8%

・「水泳、水遊び」「清掃活動などのボランティア活動」27.3%

表2－4－12　誰と何をしたか（中流域）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=16）	度数（人）	2	0	12	4	0	3	0	0	21
	割合（%）	12.5	0.0	75.0	25.0	0.0	18.8	0.0	0.0	
家族（小学生以下含まない）（N=13）	度数（人）	5	1	5	4	0	2	1	1	19
	割合（%）	38.5	7.7	38.5	30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	
親類（N=11）	度数（人）	0	1	4	5	0	0	1	1	12
	割合（%）	0.0	9.1	36.4	45.5	0.0	0.0	9.1	9.1	
友人、知人（N=22）	度数（人）	5	3	6	7	1	3	6	3	34
	割合（%）	22.7	13.6	27.3	31.8	4.5	13.6	27.3	13.6	
ひとり（N=23）	度数（人）	9	2	2	8	0	0	4	4	29
	割合（%）	39.1	8.7	8.7	34.8	0.0	0.0	17.4	17.4	
その他（N=5）	度数（人）	0	0	0	0	0	0	5	0	5
	割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

【下流域について】

＜誰と＞　　＜何をしたか＞

最も多い項目：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→　・「水泳、水遊び」63.8%

・「釣り、魚とり」36.2%

表 2－4－13　誰と何をしたか（下流域）

		散歩、ジョギング、散策	野草摘み（花摘み、山菜採りなど）	水泳、水遊び	釣り、魚とり	ボート、カヌーなど	キャンプ、バーベキュー	清掃活動などのボランティア活動	その他	合計（M.T）
家族（小学生以下含む）（N=47）	度数（人）	14	4	30	17	0	10	1	3	79
	割合（%）	29.8	8.5	63.8	36.2	0.0	21.3	2.1	6.4	
家族（小学生以下含まない）（N=31）	度数（人）	11	4	5	7	4	3	3	5	42
	割合（%）	35.5	12.9	16.1	22.6	12.9	9.7	9.7	16.1	
親類（N=22）	度数（人）	6	2	9	6	1	3	0	3	30
	割合（%）	27.3	9.1	40.9	27.3	4.5	13.6	0.0	13.6	
友人、知人（N=47）	度数（人）	15	2	11	13	1	9	5	10	66
	割合（%）	31.9	4.3	23.4	27.7	2.1	19.1	10.6	21.3	
ひとり（N=55）	度数（人）	32	5	1	17	2	0	7	8	72
	割合（%）	58.2	9.1	1.8	30.9	3.6	0.0	12.7	14.5	
その他（N=13）	度数（人）	2	1	1	0	1	0	6	2	13
	割合（%）	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	46.2	15.4	

「誰と」ごとの最も割合の高い項目

２－５．川に出かけなかった理由（複数回答）

【全体】

「興味がない」39.2%、「時間がない」38.3%、「その他」18.3%、「危険である」12.1%

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「興味がない」48.0%、「時間がない」35.0%

＜女性＞

「時間がない」40.7%、「興味がない」32.6%

【年齢別】割合の高い項目：2 項目

＜10 歳代＞

「危険である」「時間がない」50.0%

＜20 歳代＞

「興味がない」58.3%、「時間がない」「その他」25.0%

＜30 歳代＞

「時間がない」「興味がない」46.7%、「危険である」20.0%

＜40 歳代＞

「興味がない」50.0%、「時間がない」38.9%

＜50 歳代＞

「時間がない」56.1%、「興味がない」36.6%

＜60 歳代＞

「時間がない」「興味がない」44.4%、「その他」11.1%

＜70 歳代＞

「時間がない」38.3%、「興味がない」「その他」29.8%

＜80 歳以上＞

「危険である」「興味がない」35.4%、「その他」25.0%

【居住地域別】割合の高い項目：2 項目

＜上流域＞

「時間がない」51.5%、「興味がない」24.2%

＜中流域＞

「興味がない」47.3%、「時間がない」32.4%

＜下流域＞

「興味がない」39.8%、「時間がない」37.5%

＜特記事項＞

・性別での比較において、男女では最も割合が高い理由に違いがあった。

・年齢での比較において、10 歳代及び 80 歳以上を除くすべての年代で上位を占めた理由は「時間がない」と「興味がない」で、「時間はない」の割合が最も高かったのは 50 歳代、「興味がな

い」の割合が最も高かったのは 20 歳代という結果となっている。

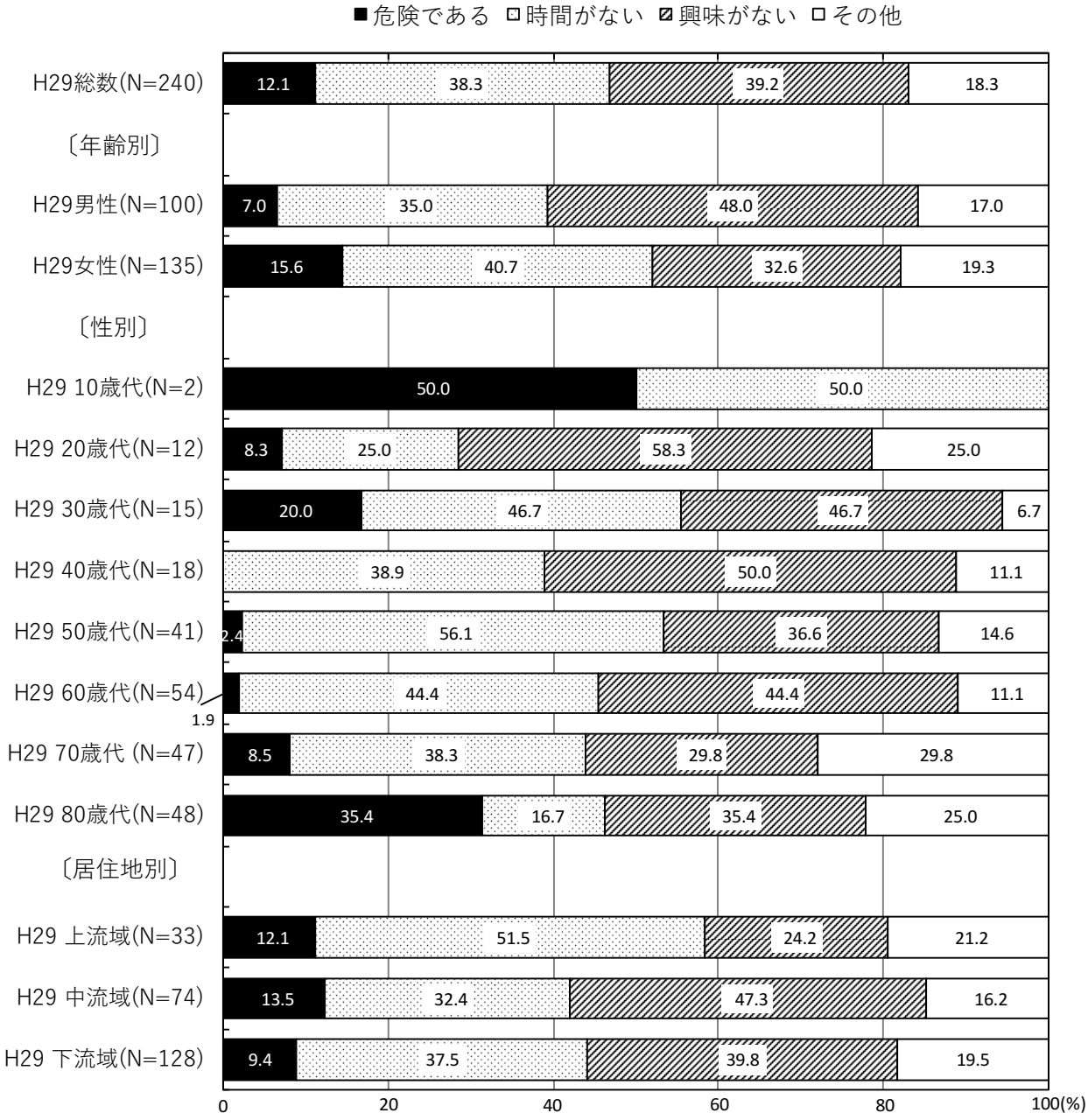
・10 歳代では「興味がない」と答えた人はいなかった。

・10 歳代と 80 歳代では、「危険である」と答えた人の割合が他の年代と比べて高くなっている。

・「時間がない」と答えた人の割合が最も多いのは 50 歳代で、次いで 10 歳代となっている。

・居住地別に見ると、すべての地域において上位 2 項目は「時間がない」「興味がない」となっている。特に上流域では「時間がない」の割合が他の地域に比べ高くなっている。

図2-5「川にでかけなかった理由」



３．環境を守る行動や意欲

３－１．環境を守る行動

【環境を守る行動について日頃どの程度行っているか】

実施率が高い項目：上位３つ

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」94.3%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」88.6%

「使った油は流しから流さないようにしている」85.4%

実施率が低い項目：下位３つ

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」25.5%

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」27.2%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」36.4%

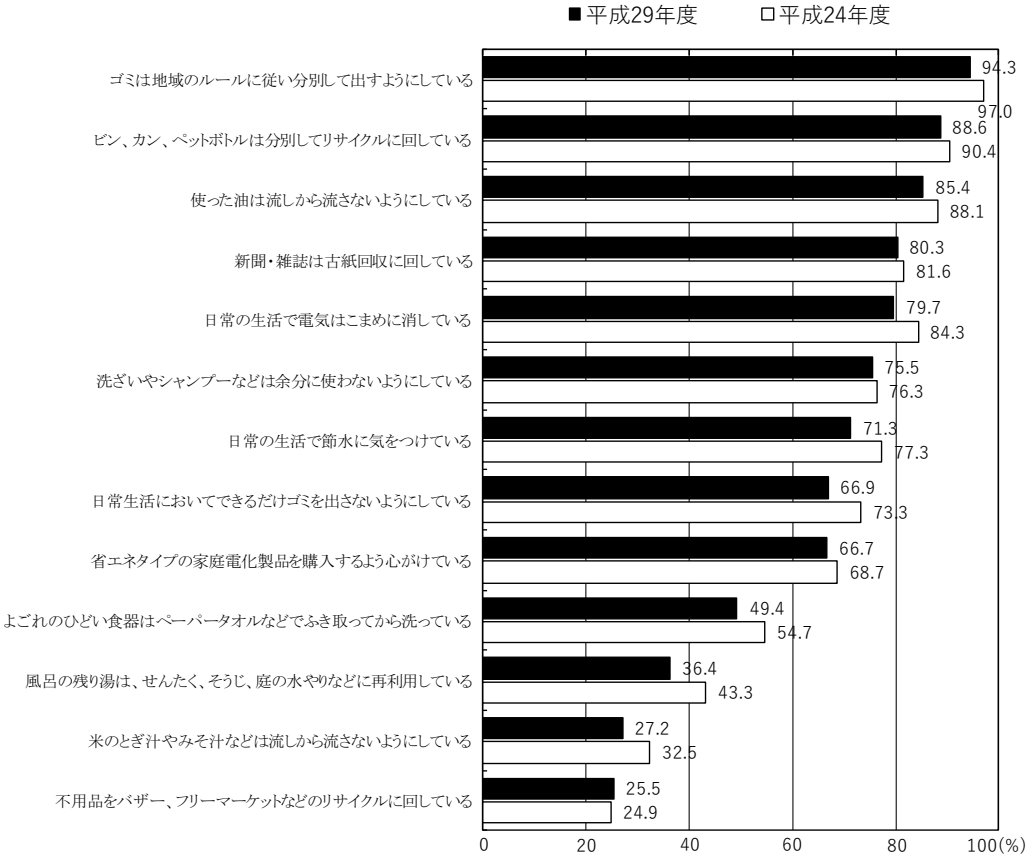
＜特記事項＞

・不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」を除くすべての項目において、前回調査よりも実施率が減少している。

・実施率の高い順に並べた項目ごとの順位は前回調査からほとんど変化はなかった。

・前回調査と比べ、「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」が6.4ポイントと最も大きく減少した。これは、生活様式の変化が影響している可能性がある。

図3-1-1　環境を守るための行動の実績



【性別】

＜男性＞

実施率が高い項目：上位３つ

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」92.7%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」86.4%

「使った油は流しから流さないようにしている」79.5%

実施率が低い項目：下位３つ

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」24.1%

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」28.3%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」34.5%

＜女性＞

実施率が高い項目：上位３つ

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」95.8%

「使った油は流しから流さないようにしている」91.0%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」90.9%

実施率が低い項目：下位３つ

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」25.6%

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」27.1%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」38.2%

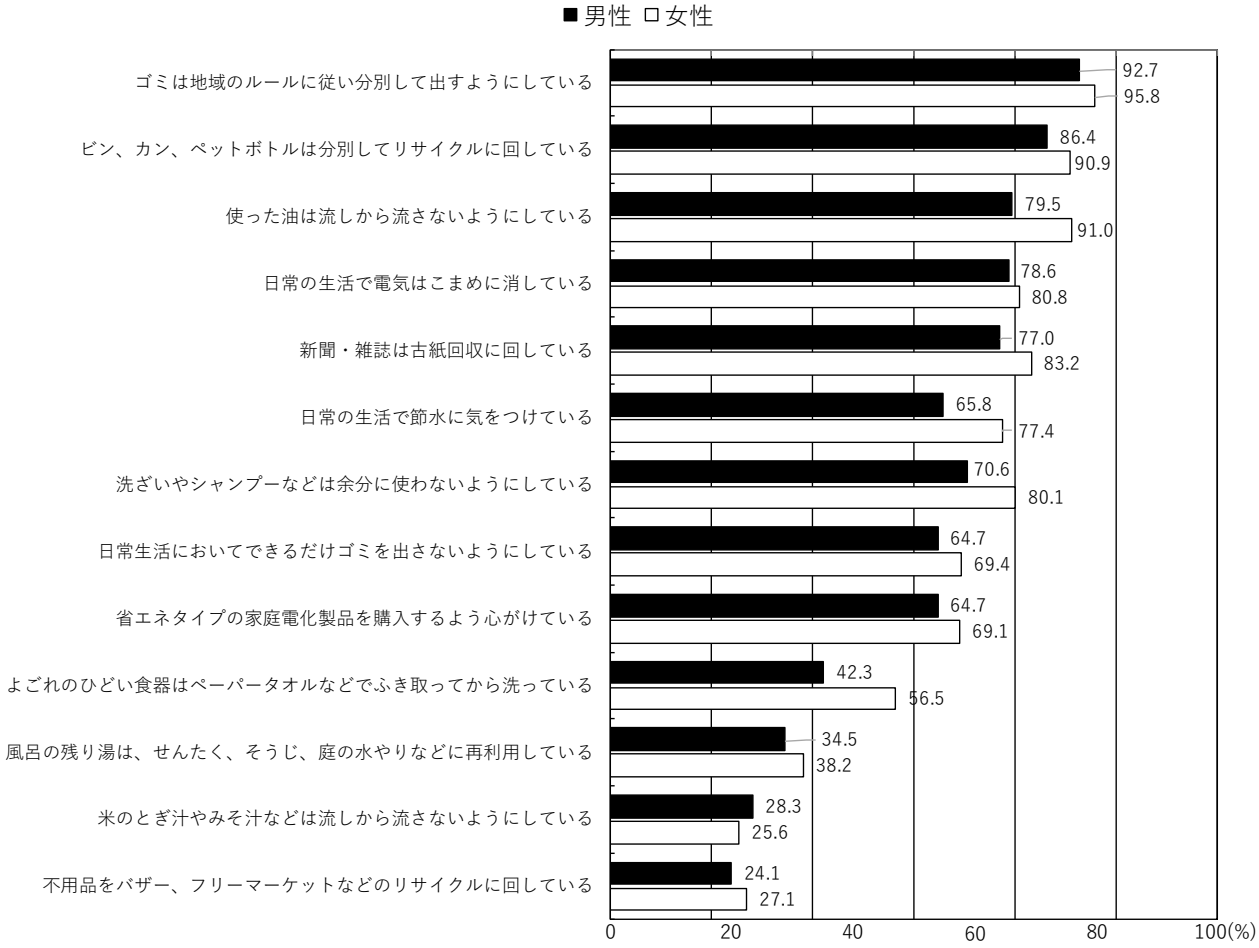
＜特記事項＞

・13 項目中 12 項目において、男性より女性の方が実施率が高い。

・男女とも、「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」、「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」の２項目の実施率が高く、自治体ごとのゴミ分別回収が浸透している様子がうかがえる。

・男女とも、「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」、「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」の実施率が低い。バザー、フリーマーケットについてはそれ自体が開催される機会が少なく、なじみが薄いと捉えることができる。また、後者については洗濯機や掃除機等の家電製品の変化、アパート、マンション等集合住宅に住む人の増加によって庭がない家が増えた等、全体的な生活様式の変化が影響している可能性がある。

図3-1-2　環境を守るための行動の実施率（性別）



【年齢別】

＜10 歳代＞

実施率が高い項目：2 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」100%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」83.3%

実施率が低い項目：下位 2 項目

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」同率 0%

「よごれのひどい食器はペーパータオルなどでふき取ってから洗っている」16.7%

＜20 歳代＞

実施率が高い項目：2 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」91.3%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」78.3%

実施率が低い項目：下位 2 項目

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」8.7%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」21.7%

＜30 歳代＞

実施率が高い項目：2 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」84.6%

「使った油は流しから流さないようにしている」82.1%

実施率が低い項目：下位 2 項目

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」0%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」15.4%

＜40 歳代＞

実施率が高い項目：2 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」88.0%

「使った油は流しから流さないようにしている」83.7%

実施率が低い項目：下位 2 項目

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」13.3%

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」26.5%

＜50 歳代＞

実施率が高い項目：2 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」98.6%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」91.4%

実施率が低い項目：下位 2 項目

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」22.9%

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」27.5%

＜60 歳代＞

実施率が高い項目：2 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」97.3%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」93.8%

実施率が低い項目：下位2項目

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」7.9%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」38.2%

＜70歳代＞

実施率が高い項目：2項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」97.3%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」93.3%

実施率が低い項目：下位2項目

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」31.5%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」41.4%

＜80歳代以上＞

実施率が高い項目：2項目

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」92.2%

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」92.0%

実施率が低い項目：下位2項目

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」35.0%

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」42.6%

＜特記事項＞

・80歳代以上を除き、すべての年代において「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」が最も実施率が高い項目となっている。また、いずれの年代においても「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」の実施率も高い割合であることから、地域ごとのゴミ分別回収方法が浸透している状況がうかがえる。

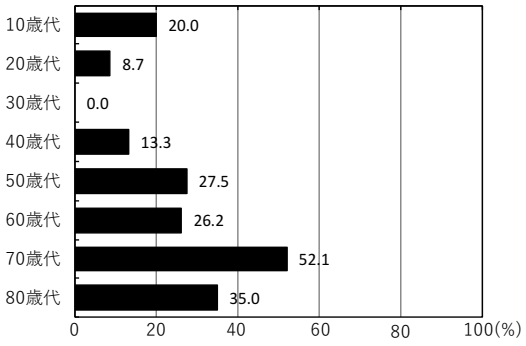
・ほとんどの項目において、50歳代から80歳代以上の実施率が10歳代から40歳代に比べて高い傾向がある。

・12項目中5項目で70歳代の実施率が最も高く、4項目で60歳代の実施率が最も高くなっている。

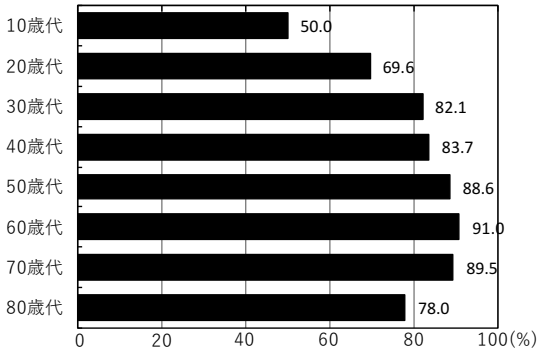
・12項目中6項目で10歳代の実施率が最も低く、5項目で30歳代の実施率が最も低くなっている。

図３−１−３　環境を守るための行動の実施率（年齢別）

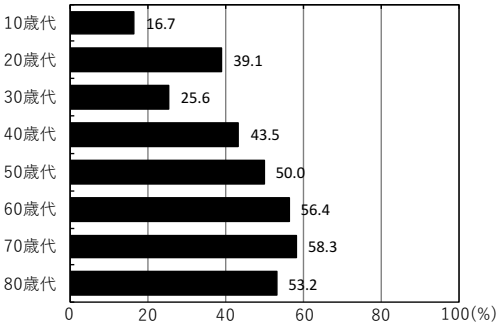
◇「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」



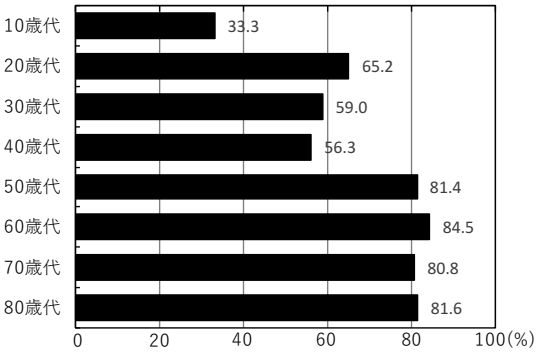
◇「使った油は流しから流さないようにしている」



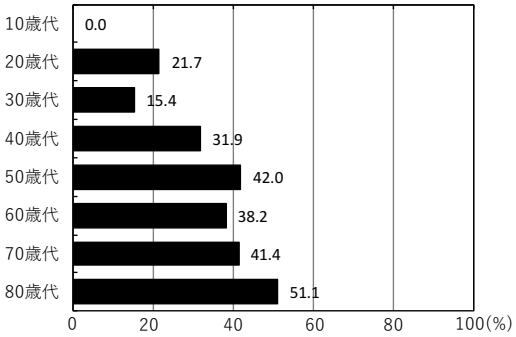
◇「よごれのひどい食器はペーパータオルなどでふき取ってから洗っている」



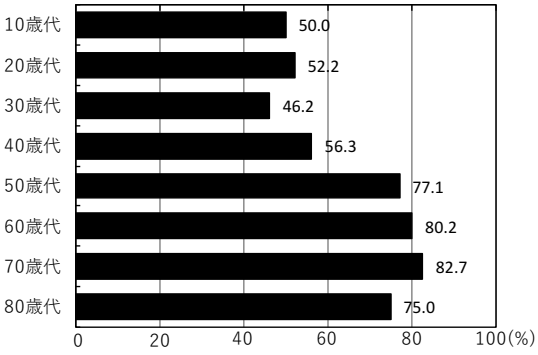
◇「洗剤やシャンプーなどは余分に使わないようにしている」



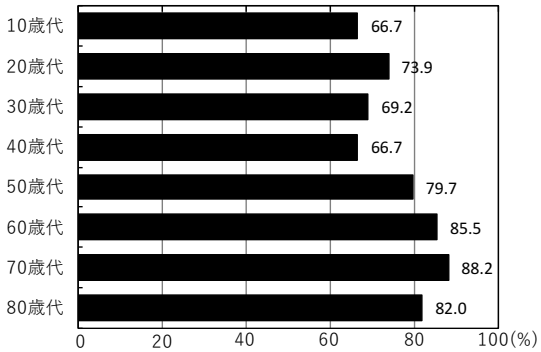
◇「風呂の残り湯はせんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」



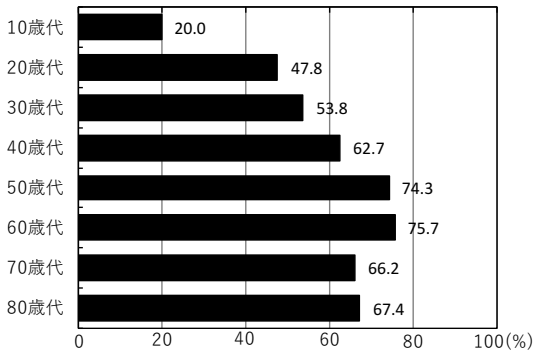
◇「日常の生活で節水に気をつけている」



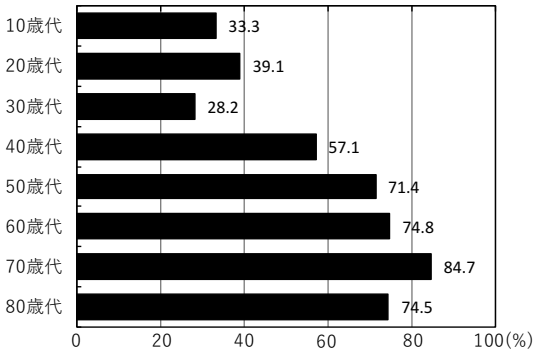
◇「日常の生活で電気はこまめに消している」



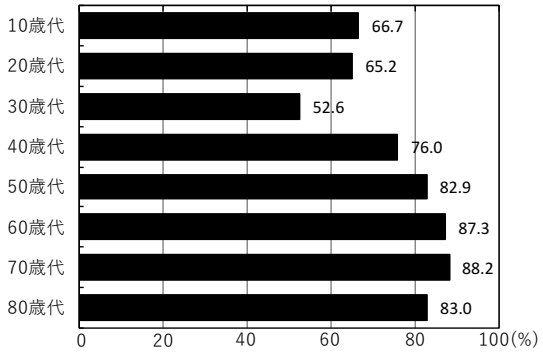
◇「省エネタイプの家庭電化製品を購入するよう心がけている」



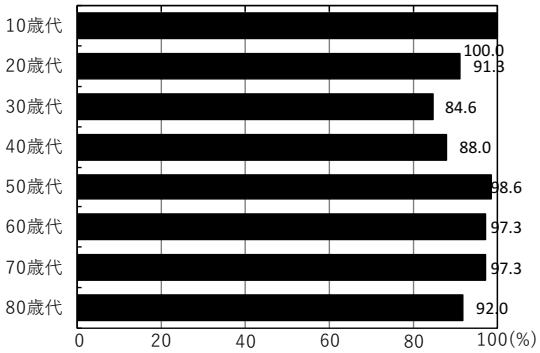
◇「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」



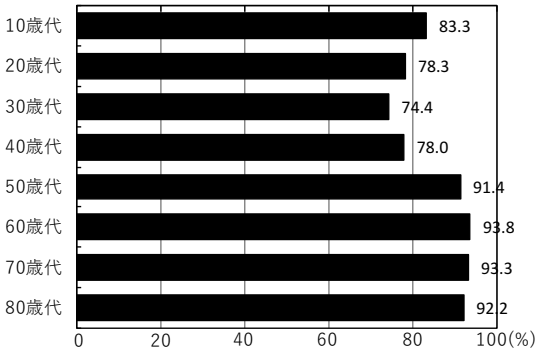
◇「新聞、雑誌は古紙回収に回している」



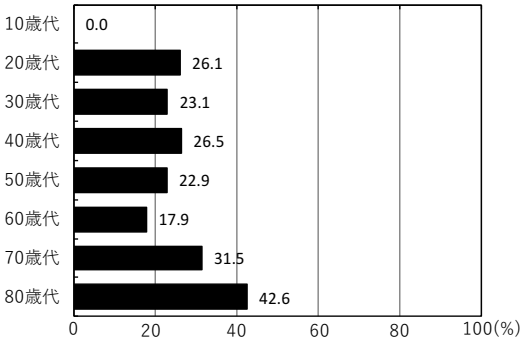
◇「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」



◇「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」



◇「不用品をバザー、フリーマーケットなどに回している」



【居住地別】

＜上流域＞

実施率が高い項目：3 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」92.7%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」85.7%

「新聞、雑誌は古紙回収に回している」84.3%

実施率が低い項目：下位 3 項目

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」24.1%

「よごれのひどい食器はペーパータオルなどでふき取ってから洗っている」28.8%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」35.8%

＜中流域＞

実施率が高い項目：3 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」99.2%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」96.7%

「日常の生活で電気はこまめに消している」84.3%

実施率が低い項目：下位 3 項目

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」24.0%

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」32.5%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」39.0%

＜下流域＞

実施率が高い項目：3 項目

「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」92.1%

「使った油は流しから流さないようにしている」86.4%

「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」84.8%

実施率が低い項目：下位 3 項目

「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」21.4%

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」26.6%

「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」35.2%

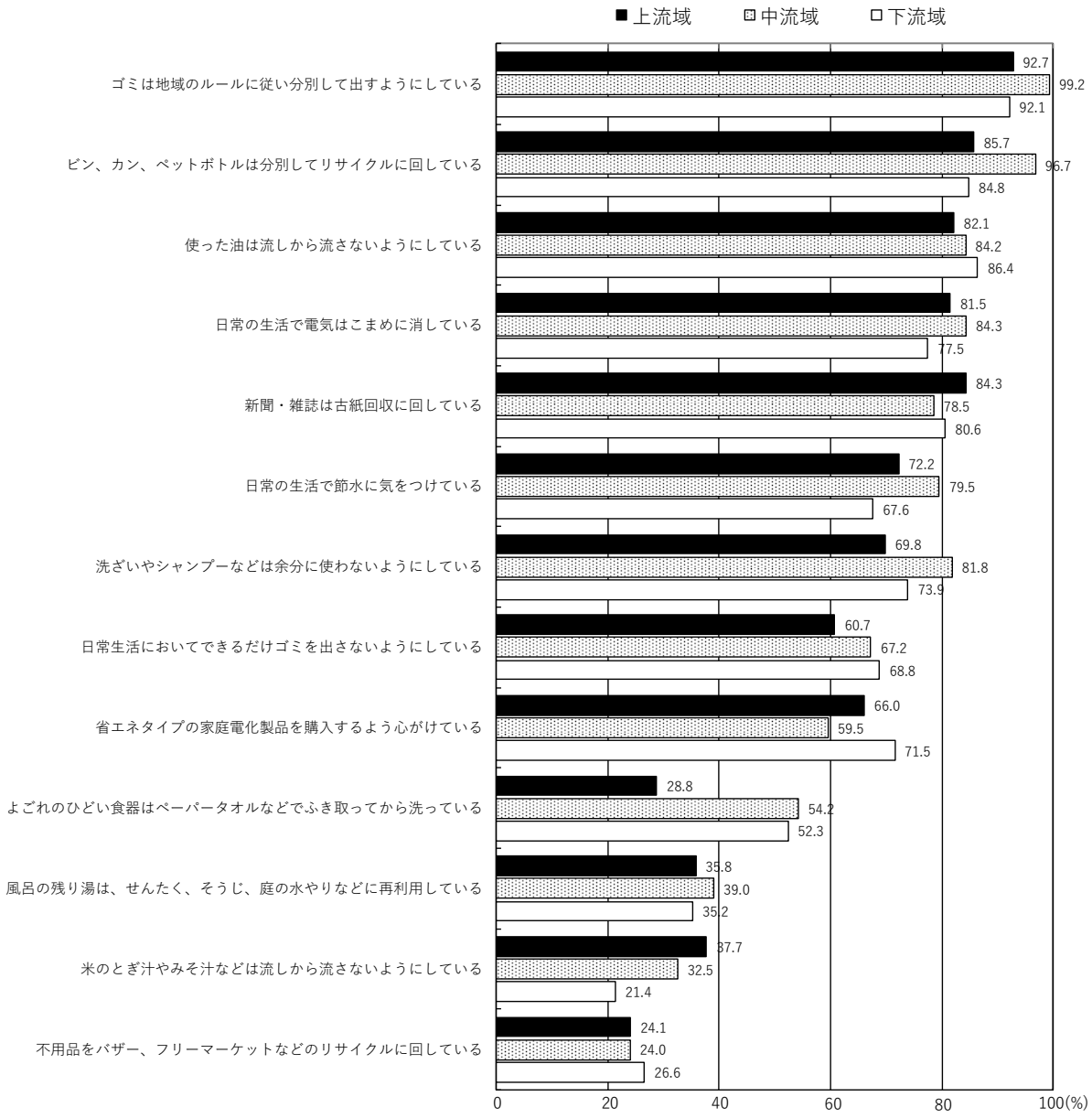
＜特記事項＞

・すべての居住地域において「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」が最も実施率の高い項目となっている。

・上流域では「よごれのひどい食器はペーパータオルなどでふき取ってから洗っている」が中流域および下流域と比べて特に実施率が低くなっている。

・下流域では「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」が上流域および下流域と比べて特に実施率の低い項目となっている。

図3-1-4　環境を守るための行動の実施率（居住地域別）



３－２．家庭での水切り袋などの設置

【全体】

「いつも使っている」67.0%（前回から 2.5 ポイント増加）

「まあ使っている」10.1%（前回から 0.5 ポイント減少）

「あまり使っていない」10.5%（前回から 0.1 ポイント減少）

「全く使っていない」12.4%（前回から 1.9 ポイント減少）

＜特記事項＞

・前回調査と比較して「いつも使っている」と答えた人の割合が 2.5 ポイント増加、「全く使っていない」は 1.9 ポイント減少し、全体として設置している世帯が増加している。

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「いつも使っている」67.1%（前回から 0.9 ポイント増加）

「全く使っていない」11.9%（前回から 0.4 ポイント減少）

＜女性＞

「いつも使っている」67.5%（前回から 2.4 ポイント増加）

「全く使っていない」12.3%（前回から 3.5 ポイント減少）

【年齢】

＜20 歳代＞

「いつも使っている」69.6%（前回から 9.6 ポイント増加）

「全く使っていない」17.4%（前回から 2.4 ポイント増加）

＜30 歳代＞

「いつも使っている」59.0%（前回から 2.2 ポイント減少）

「まあ使っている」23.1%（前回から 14.9 ポイント増加）

＜40 歳代＞

「いつも使っている」55.8%（前回から 2.9 ポイント増加）

「全く使っていない」21.2%（前回から 0.4 ポイント減少）

＜50 歳代＞

「いつも使っている」72.2%（前回から 12.4 ポイント増加）

「あまり使っていない」11.1%（前回から 0.2 ポイント増加）

＜60 歳以上＞

「いつも使っている」68.4%（前回から 0.5 ポイント減少）

「全く使っていない」11.4%（前回から 2.0 ポイント増加）

【居住地】

＜上流域＞

「いつも使っている」69.0%（前回から 3.2 ポイント増加）

「全く使っていない」13.8%（前回から 4.2 ポイント減少）

＜中流域＞

「いつも使っている」65.4%（前回から 6.3 ポイント増加）

「全く使っていない」13.8%（前回から 3.1 ポイント減少）

＜下流域＞

「いつも使っている」68.4%（前回調査から 1.2 ポイント増加）

「あまり使っていない」11.2%（前回から 0.5 ポイント増加）

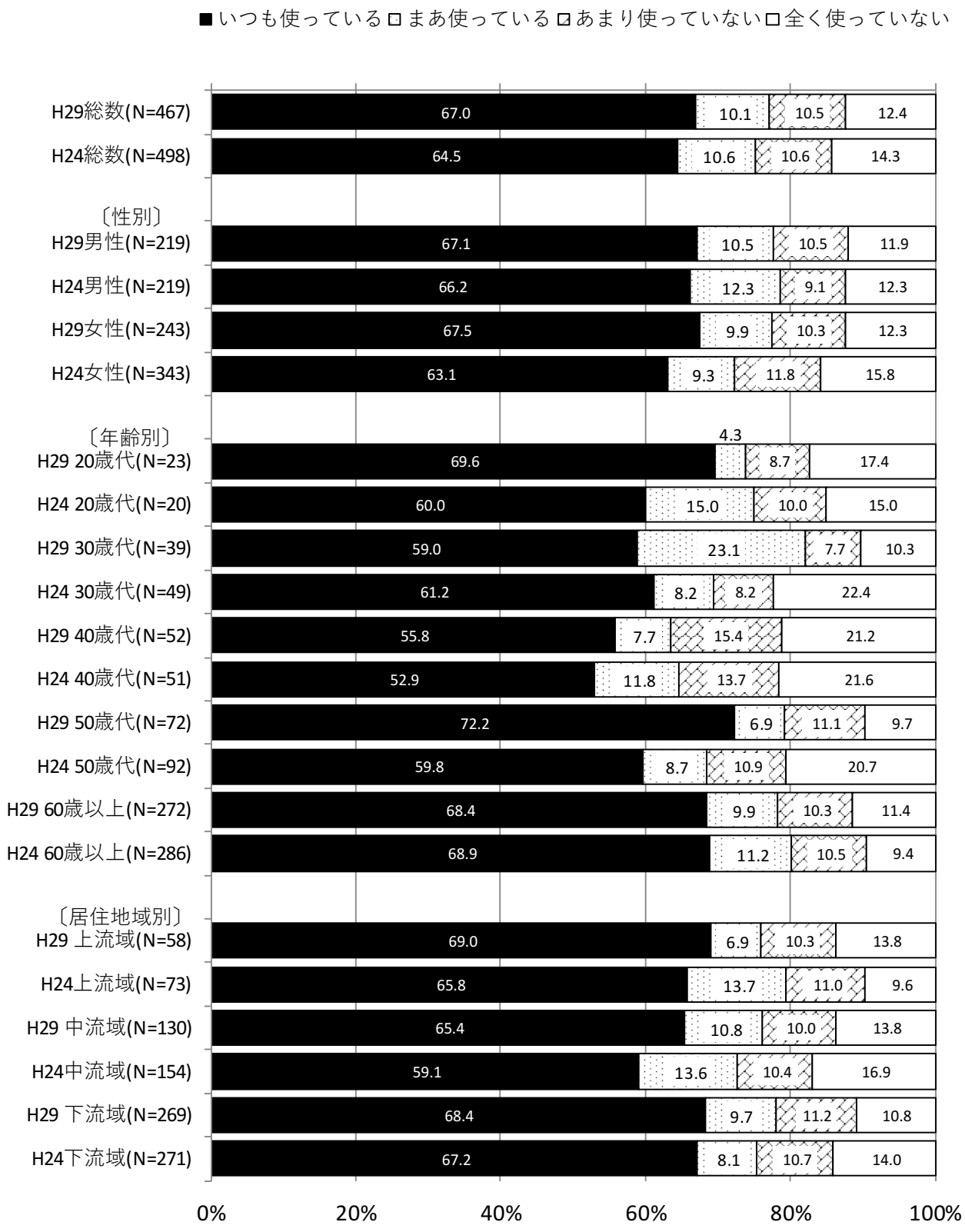
＜特記事項＞

・前回調査では性別による違いが見られたが、今回の調査では性別による差はほとんど見られず、男女問わず水切り袋の設置が浸透している。

・年齢別で見ると、「いつも使っている」と答えた人の割合は 50 歳代が 72.2%で最も高かった。また、前回と比較すると 59.8%から 72.2%と大幅に増加している。（12.4 ポイント増加）

・居住地域別で見ると、「いつも使っている」と答えた人の割合は、69.0%と上流域が最も高かった。また、すべての地域において前回よりも設置率が高くなっている。

図3-2　家庭における水切り袋使用の有無



３－３．家庭での生ゴミ堆肥化への取り組み

【全体】

「いつもしている」20.9%（前回から 2.5 ポイント減少）

「まあしている」13.0%（前回から 1.5 ポイント増加）

「あまりしていない」14.1%（前回から 2.3 ポイント減少）

「全くしていない」51.9%（前回から 3.2 ポイント増加）

＜特記事項＞

・「いつもしている」は前回調査の 23.4%から 20.9%へと 2.5 ポイントの減少、「まあしている」は前回の 11.9%から 13.0%へと 1.5 ポイント増加しており、取り組んでいる人の割合はやや下がっている。

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「全くしていない」50.7%（前回から 1.6 ポイント増加）

「いつもしている」22.2%（前回から 0.6 ポイント減少）

＜女性＞

「全くしていない」53.5%（前回から 5.1 ポイント増加）

「いつもしている」20.2%（前回から 3.6 ポイント減少）

【年齢】割合の高い項目：2 項目

＜20 歳代＞

「全くしていない」70.8%（前回から 15.8 ポイント増加）

「まあしている」12.5%（前回から 2.5 ポイント増加）

＜30 歳代＞

「全くしていない」82.1%（前回から 11.3 ポイント増加）

「いつもしている」7.7%（前回から 9.0 ポイント減少）

「あまりしていない」7.7%（前回から 0.6 ポイント減少）

＜40 歳代＞

「全くしていない」67.3%（前回から 1.3 ポイント減少）

「いつもしている」17.3%（前回から 7.5 ポイント増加）

＜50 歳代＞

「全くしていない」61.6%（前回から 12.7 ポイント増加）

「まあしている」15.1%（前回から 3.4 ポイント増加）

＜60 歳以上＞

「全くしていない」40.1%（前回から 1.2 ポイント減少）

「いつもしている」27.6%（前回から 0.1 ポイント減少）

【居住地】割合の高い項目：2 項目

＜上流域＞

「全くしていない」36.2%（前回から 5.9 ポイント増加）

「いつもしている」25.9%（前回から 3.0 ポイント減少）

＜中流域＞

「全くしていない」45.0%（前回から 9.2 ポイント増加）

「いつもしている」23.7%（前回から 8.4 ポイント減少）

＜下流域＞

「全くしていない」57.8%（前回から 0.1 ポイント減少）

「いつもしている」18.9%（前回から 2.0 ポイント減少）

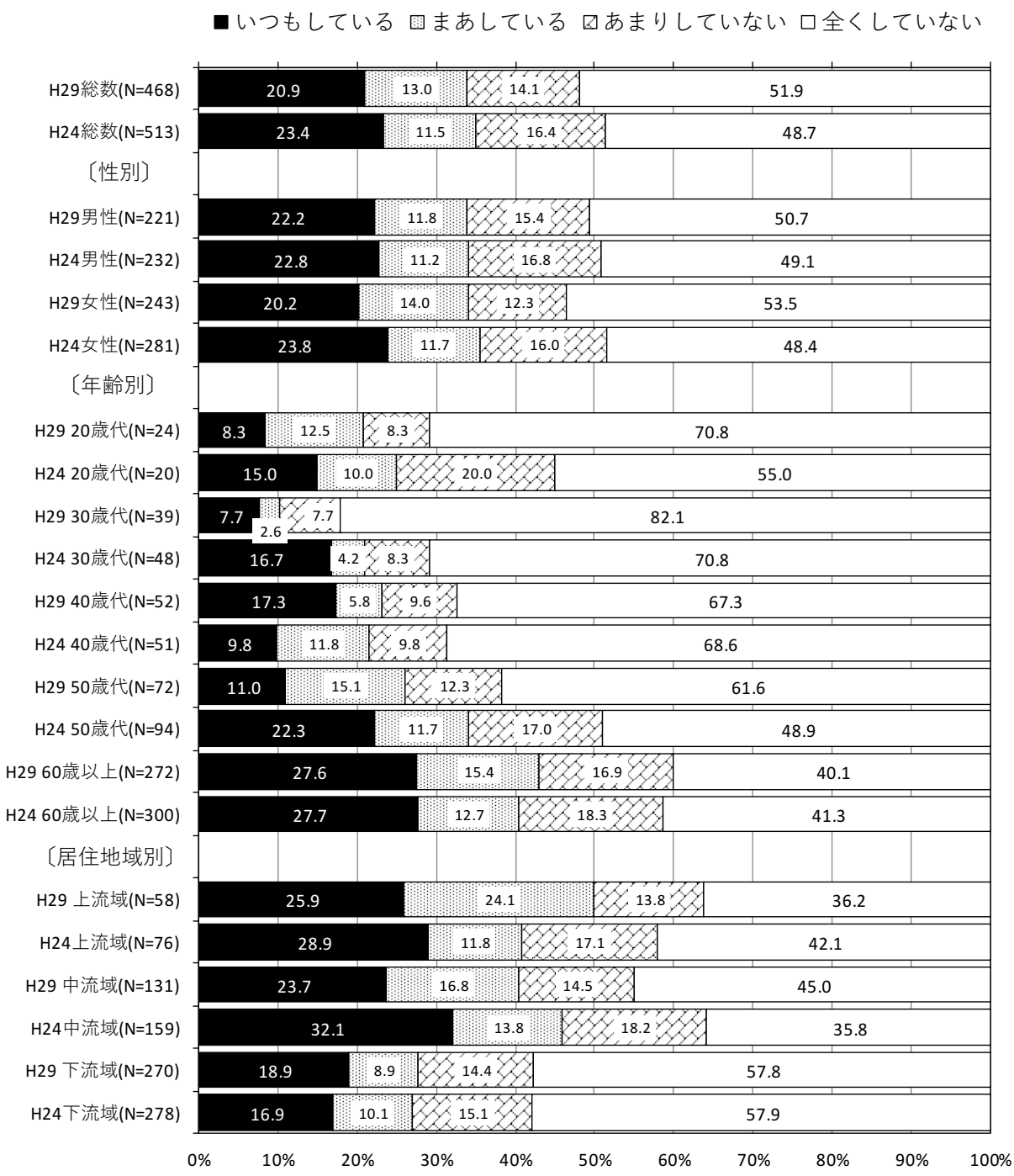
＜特記事項＞

・性別で見ると、男女ともに「いつもしている」の割合が減少し、「全くしていない」の割合が増加している。

・年齢で見ると、20 歳代、30 歳代、50 歳代で、「全くしていない」の割合が 10 ポイント以上増加している。

・居住地別で見ると、「いつもしている」と答えた人の割合は、下流域では 2.0 ポイント増加しているが、それ以外の地域では減少している。特に中流域では 8.4 ポイント減少している。

図3-3　家庭での生ゴミ堆肥化への取り組みの有無



３－４．環境に関する活動への参加の有無

【全体】

「ある」42.3%（前回から 10.2 ポイント減少）、「ない」57.7%

＜特記事項＞

・環境に関する活動への参加の有無について聞いたところ、「ある」と答えた人の割合は、前回調査の 52.5%から 42.3%へと 10.2 ポイント減少した。

【性別】

＜男性＞

「ある」45.5%（前回から 13.7 ポイント減少）、「ない」54.5%

＜女性＞

「ある」39.5%（前回から 7.5 ポイント減少）、「ない」60.5%

【年齢】

＜20 歳代＞

「ある」37.5%（前回から 7.5 ポイント減少）、「ない」62.5%

＜30 歳代＞

「ある」34.2%（前回から 2.2 ポイント増加）、「ない」65.8%

＜40 歳代＞

「ある」36.5%（前回から 12.5 ポイント減少）、「ない」63.5%

＜50 歳代＞

「ある」45.2%（前回から 11.2 ポイント減少）、「ない」54.8%

＜60 歳以上＞

「ある」44.5%（前回から 11.4 ポイント減少）、「ない」55.5%

【居住地】

＜上流域＞

「ある」61.4%（前回から 9.7 ポイント減少）、「ない」38.6%

＜中流域＞

「ある」44.4%（前回から 17.1 ポイント減少）、「ない」55.6%

＜下流域＞

「ある」37.8%（前回から 4.7 ポイント減少）、「ない」62.2%

＜特記事項＞

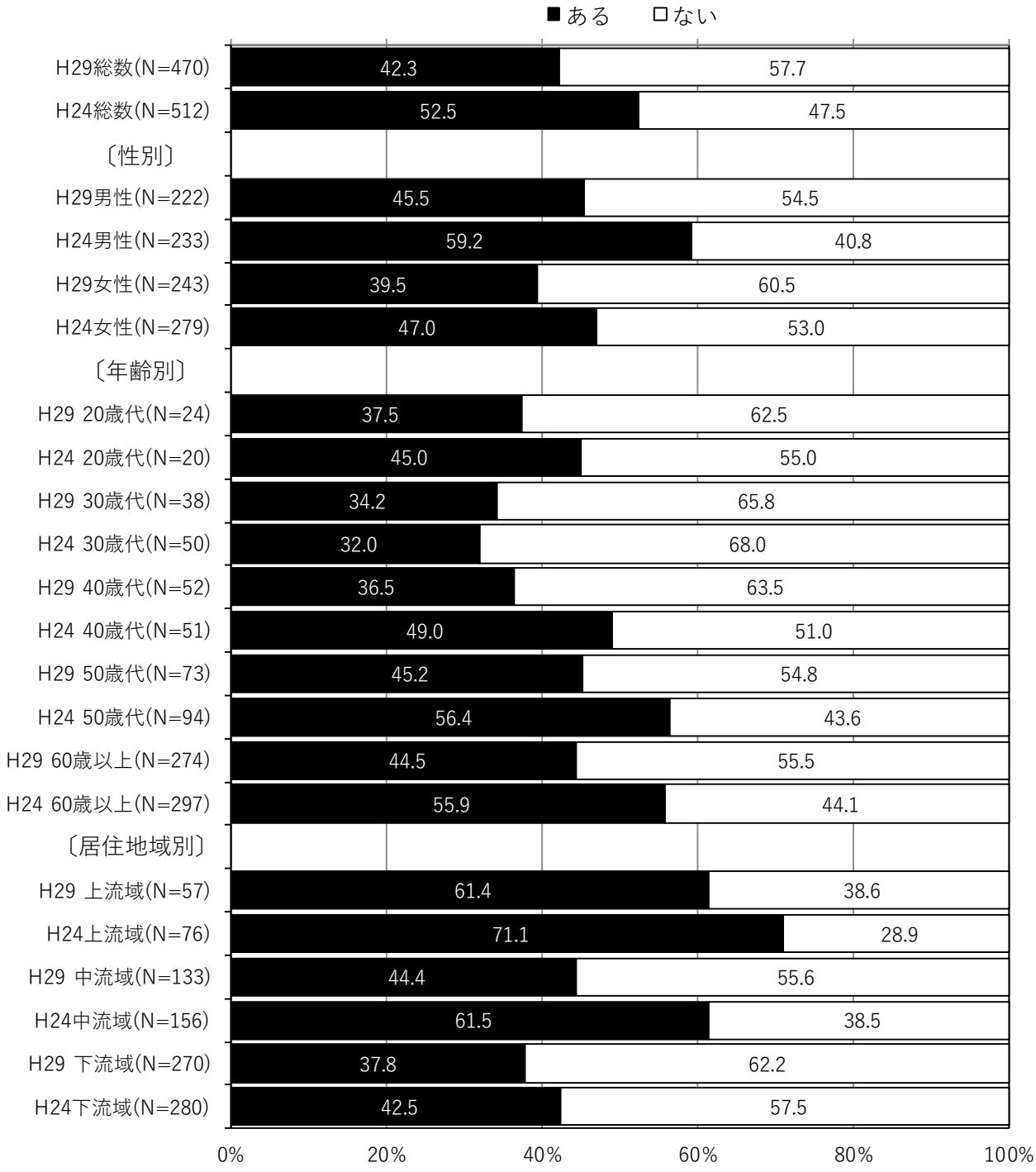
・性別で見ると、男性の「ある」と答えた人の割合は、前回調査の 59.2%から 45.5%へと 13.7 ポイントの減少。女性も前回の 47.0%から 39.5%へと 7.5 ポイント減少している。

・年齢別で見ると、「ある」と答えた人の割合が最も高いのは前回と同様に 50 歳代で 45.2%（前回より 11.2 ポイント減少）となった。また、30 歳代を除くすべての世代で大きく割合が減少している。

・居住地別で見ると、前回調査と同様に上流域になるほど「ある」と答えた人の割合は高い傾向

となっている。また、すべての地域において前回より割合が減少しているが、中流域においては特に大きく減少している。

図3-4　環境に関する活動への参加の有無



３－５．環境に関する活動に参加しない理由（複数回答）

【全体】

「活動自体を知らない」32.8%

「時間がない」40.8%

「興味関心がない」23.7%

「その他」14.9%

＜特記事項＞

・「時間がない」と答えた人の割合が最も高く 40.8%であった。

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「時間がない」34.7%

「活動自体を知らない」33.9%

「興味関心がない」33.9%

＜女性＞

「時間がない」45.8%

「活動自体を知らない」32.4%

【年齢】割合の高い項目：2 項目

＜10 歳代＞

「時間がない」66.7%

「興味関心がない」33.3%

＜20 歳代＞

「興味関心がない」57.1%

「活動自体を知らない」28.6%

「時間がない」28.6%

＜30 歳代＞

「時間がない」54.2%

「活動自体を知らない」45.8%

＜40 歳代＞

「時間がない」62.5%

「活動自体を知らない」25.0%

「興味関心がない」25.0%

＜50 歳代＞

「時間がない」50.0%

「活動自体を知らない」32.5%

＜60 歳代＞

「時間がない」40.0%

「活動自体を知らない」31.7%

＜70 歳代＞

「活動自体を知らない」38.0%

「時間がない」38.0%

「その他」22.0%

＜80 歳以上＞

「その他」37.8%

「活動自体を知らない」32.4%

【居住地】

＜上流域＞

「時間がない」31.8%

「その他」31.8%

「興味関心がない」27.3%

＜中流域＞

「時間がない」38.9%

「活動自体を知らない」27.8%

「興味関心がない」27.8%

＜下流域＞

「時間がない」41.4%

「活動自体を知らない」38.3%

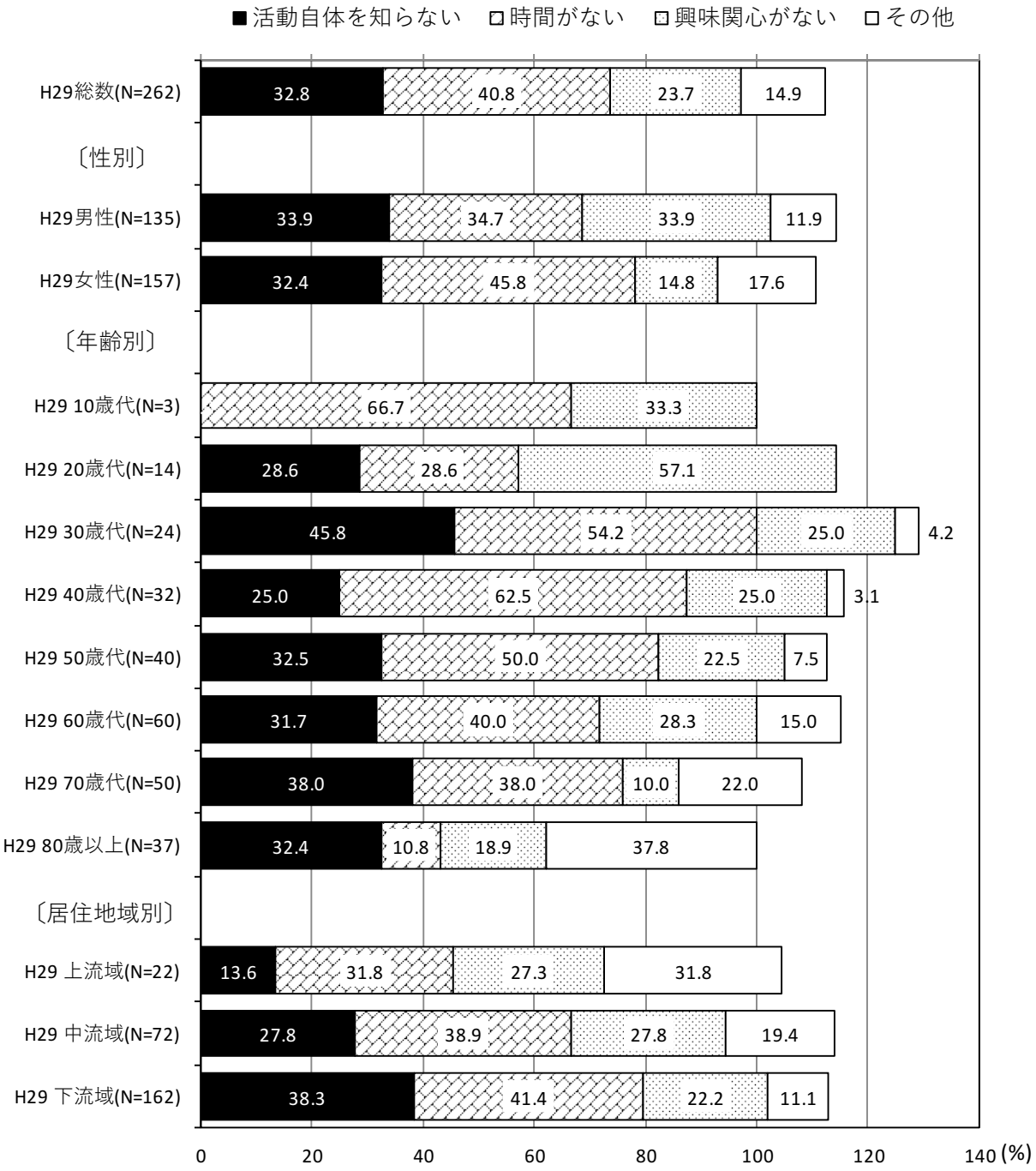
＜特記事項＞

・性別で見ると、「興味関心がない」の答えた人の割合が男女で大きく違いが出ており、男性が 33.9%、女性が 17.8%と、女性に比べ男性の方が 16.1 ポイント高かった。

・年代別にみると、10 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代においては「時間がない」と回答した人の割合が最も高く、20 歳代は「興味関心がない」と回答した人の割合が最も高かった。

・居住地別にみると、「活動自体を知らない」「時間がない」と回答した人の割合が下流域になるほど高くなる傾向が見られる。

図3-5　環境に関する活動に参加しない理由



３－６．環境保全のための寄付へ協力したいと思うか

【全体】

「思う」77.3%（前回から 4.3 ポイント減少)、「思わない」22.7%

【性別】

＜男性＞

「思う」71.7%（前回から 7.1 ポイント減少)、「思わない」28.3%

＜女性＞

「思う」82.3%（前回から 1.6 ポイント減少)、「思わない」17.7%

【年齢別】

＜20 歳代＞

「思う」54.2%（前回から 25.8 ポイント減少)、「思わない」45.8%

＜30 歳代＞

「思う」77.8%（前回から 9.8 ポイント増加)、「思わない」22.2%

＜40 歳代＞

「思う」81.3%（前回から 9.3 ポイント増加)、「思わない」18.8%

＜50 歳代＞

「思う」79.1%（前回から 1.8 ポイント減少)、「思わない」20.9%

＜60 歳以上＞

「思う」78.7%（前回から 7.2 ポイント減少)、「思わない」14.1%

【居住地別】

＜上流域＞

「思う」74.5%（前回から 8.2 ポイント減少)、「思わない」25.5%

＜中流域＞

「思う」78.7%（前回から 9.9 ポイント減少)、「思わない」21.3%

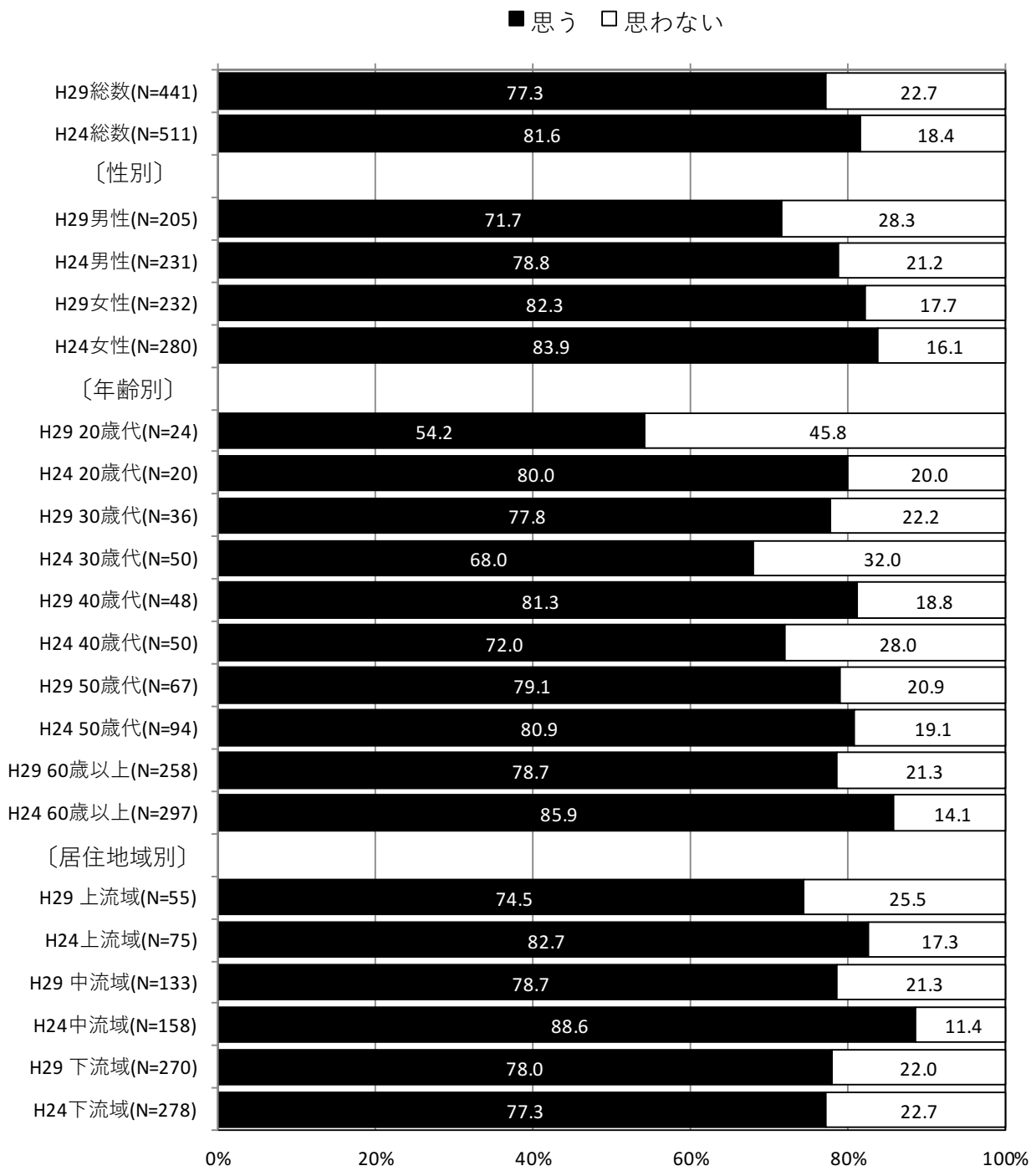
＜下流域＞

「思う」78.0%（前回から 0.7 ポイント増加)、「思わない」22.0%

＜特記事項＞

・性別で見ると、「思う」と答えた人の割合は、男女ともに前回よりも減少している。特に男性の方が減少率が高い。
・年齢別で見ると、20 歳代、50 歳代、60 歳以上は前回より減少しており、特に 20 歳代は最も大きく減少している。(前回から 25.8 ポイント減少)
・居住地別で見ると、居住地ごとの割合に大差は見られなかった。また前回と比較すると下流域のみ「思う」と答えた人の割合がやや増加している。

図3-6　環境保全のための寄付へ協力したいと思うか



３－７．環境保全のための寄付協力可能な上限額

【全体】割合の高い項目：3 項目

「～100 円くらいまで」29.3%（前回から 1.6 ポイント減少）

「～500 円くらいまで」24.8%（前回から 1.8 ポイント減少）

「～1,000 円くらいまで」20.0%（前回から 2.9 ポイント増加）

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「～100 円くらいまで」31.7%（前回から 6.1 ポイント増加）

「～1,000 円くらいまで」28.3%（前回から 8.3 ポイント増加）

＜女性＞

「～500 円くらいまで」28.3%（前回から 2.7 ポイント減少）

「～100 円くらいまで」27.3%（前回から 7.7 ポイント減少）

【年齢】

＜20 歳代＞

「～100 円くらいまで」38.5%（前回から 1.0 ポイント増加）

「～300 円くらいまで」30.8%（前回から 18.3 ポイント増加）

＜30 歳代＞

「～500 円くらいまで」42.9%（前回から 4.7 ポイント増加）

「～300 円くらいまで」32.1%（前回から 29.2 ポイント増加）

＜40 歳代＞

「～500 円くらいまで」28.9%（前回から 1.1 ポイント増加）

「～100 円くらいまで」26.3%（前回から 12.6 ポイント減少）

「～1,000 円くらいまで」26.3%（前回から 10.2 ポイント増加）

＜50 歳代＞

「～500 円くらいまで」34.6%（前回から 0.8 ポイント増加）

「～100 円くらいまで」25.0%（前回から 0.7 ポイント増加）

＜60 歳以上＞

「～100 円くらいまで」33.2%（前回から 1.7 ポイント増加）

「～500 円くらいまで」19.6%（前回から 2.4 ポイント減少）

【居住地別】割合の高い項目：2 項目

＜上流域＞

「～100 円くらいまで」31.7%（前回から 7.5 ポイント増加）

「～500 円くらいまで」19.5%（前回から 1.8 ポイント増加）

「～1,000 円くらいまで」19.5%（前回から 1.8 ポイント増加）

＜中流域＞

「～1,000 円くらいまで」32.3%（前回から 0.1 ポイント減少）

「～100 円くらいまで」26.3%（前回から 1.0 ポイント増加）

＜下流域＞

「～100 円くらいまで」30.0%（前回から 5.2 ポイント減少）

「～1,000 円くらいまで」23.2%（前回から 4.4 ポイント増加）

＜特記事項＞

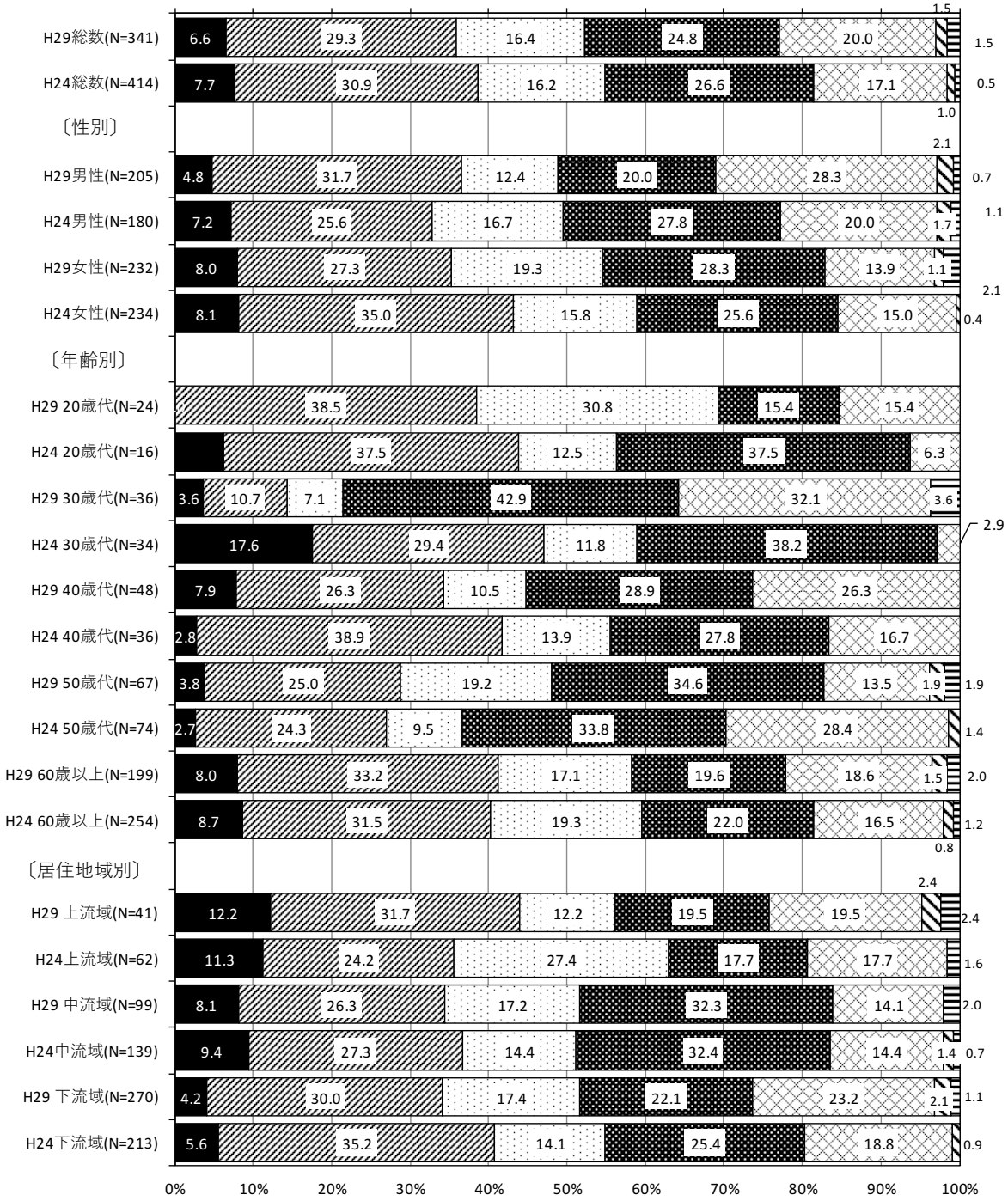
・「～300 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合は前回調査の 61.4%から 64.2%へと 2.8 ポイント増加している。また、最も割合が高いのは前回同様「～100 円くらいまで」であった。

・性別で見ると、「～300 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合は男性はやや減少しているが、女性は 7.8 ポイント増加している。

・年齢別で見ると、「～300 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合が最も高いのは、30 歳代の 85.7%で、特に「～1000 円くらいまで」と答えた人の割合が前回から大幅に増加している。（前回から 29.2 ポイント増加）

・居住地別に見ると、「～300 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合は、上流域が他の地域と比べて低くなっている。前回調査と比較しても、上流域のみ「～300 円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合が減少している。

図3-7　環境保全のための寄付協力可能な上限額



４．通信手段について

４－１．携帯電話などの所有有無について

【全体】

「持っている」83.6％（前回から 5.4 ポイント増加)、「持っていない」16.4%

【性別】

＜男性＞

「持っている」88.1%（前回から 4.9 ポイント増加)、「持っていない」11.9%

＜女性＞

「持っている」80.4%（前回から 6.4 ポイント増加)、「持っていない」19.6%

【年齢別】

＜20 歳代＞

「持っている」100%（前回から 5.0 ポイント増加）

＜30 歳代＞

「持っている」100%（前回から 6.0 ポイント増加）

＜40 歳代＞

「持っている」100%（前回から 2.0 ポイント増加）

＜50 歳代＞

「持っている」94.4%（前回から 1.8 ポイント増加)、「持っていない」5.6%

＜60 歳代以上＞

「持っている」73.6%（前回から 7.2 ポイント増加)、「持っていない」26.4%

【居住地別】

＜上流域＞

「持っている」73.2%（前回から 7.1 ポイント減少)、「持っていない」26.8%

＜中流域＞

「持っている」82.6%（前回から 7.9 ポイント増加)、「持っていない」17.4%

＜下流域＞

「持っている」86.8%（前回から 7.2 ポイント減少)、「持っていない」13.2%

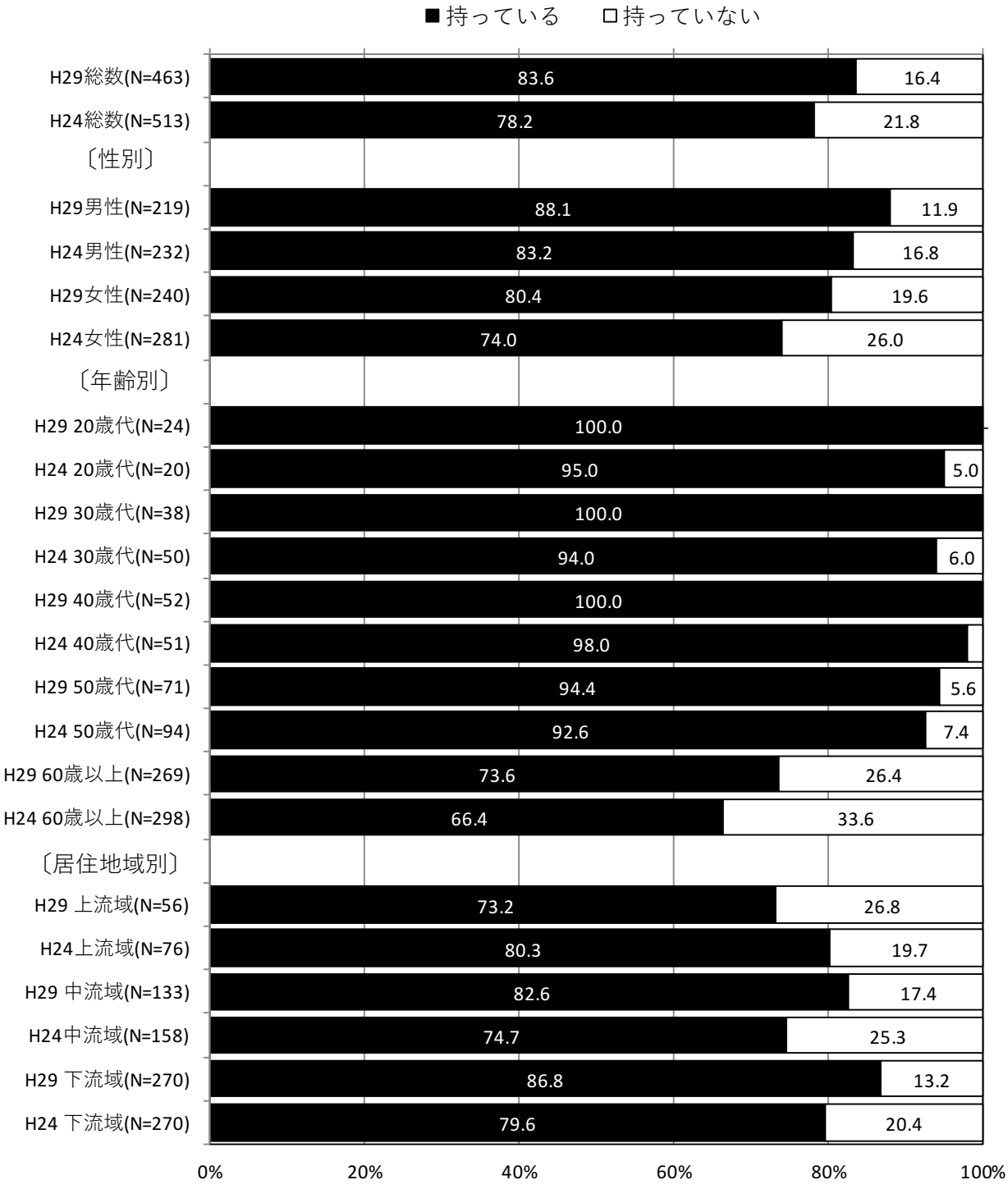
＜特記事項＞

・性別で見ると、前回調査と同様に男性の方が「持っている」と答えた人の割合が高い。

・年齢別で見ると、20 歳代～40 歳代において「持っている」と答えた人の割合が 100%となっている。また、すべての年代において「持っている」と答えた人の割合が前回よりも増加している。

・居住地別で見ると、「持っている」と答えた人の割合は下流域が最も高くなっている。また、前回と比較すると、上流域のみ「持っている」と答えた人の割合が減少している。

図4-1　携帯電話などの所有有無



４－２．携帯電話などでのネット利用状況

【全体】割合の多い項目：3 項目

「いつも利用している」38.7%（前回から 19.2 ポイント増加）

「全く利用していない」32.2%（前回から 13.8 ポイント減少）

「まあ利用している」14.7%（前回から 0.1 ポイント減少）

【性別】割合の高い項目：2 項目

＜男性＞

「全く利用していない」36.2%（前回から 13.8 ポイント減少）

「いつも利用している」35.6%（前回から 17.4 ポイント増加）

＜女性＞

「いつも利用している」42.2%（前回から 21.5 ポイント増加）

「全く利用していない」27.6%（前回から 14.7 ポイント減少）

【年齢別】割合の高い項目：2 項目

＜20 歳代＞

「いつも利用している」70.8%（前回から 2.4 ポイント増加）

「あまり利用していない」12.5%（前回から 2.0 ポイント増加）

＜30 歳代＞

「いつも利用している」92.1%（前回から 44.3 ポイント増加）

「まあ利用している」5.3%（前回から 23.0 ポイント減少）

＜40 歳代＞

「いつも利用している」58.8%（前回から 26.8 ポイント増加）

「まあ利用している」23.5%（前回から 7.5 ポイント増加）

＜50 歳代＞

「いつも利用している」35.8%（前回から 22.0 ポイント増加）

「まあ利用している」23.9%（前回から 0.2 ポイント減少）

「あまり利用していない」23.9%（前回から 0.2 ポイント増加）

＜60 歳以上＞

「全く利用していない」51.5%（前回から 16.2 ポイント減少）

「いつも利用している」19.6%（前回から 12.0 ポイント増加）

【居住地別】

＜上流域＞

「いつも利用している」39.0%（前回から 17.7 ポイント増加）

「全く利用していない」31.7%（前回から 10.9 ポイント減少）

＜中流域＞

「いつも利用している」35.5%（前回から 21.1 ポイント増加）

「全く利用していない」33.6%（前回から 10.6 ポイント減少）

＜下流域＞

「いつも利用している」40.1%（前回から 18.4 ポイント増加）

「全く利用していない」31.3%（前回から 16.7 ポイント減少）

＜特記事項＞

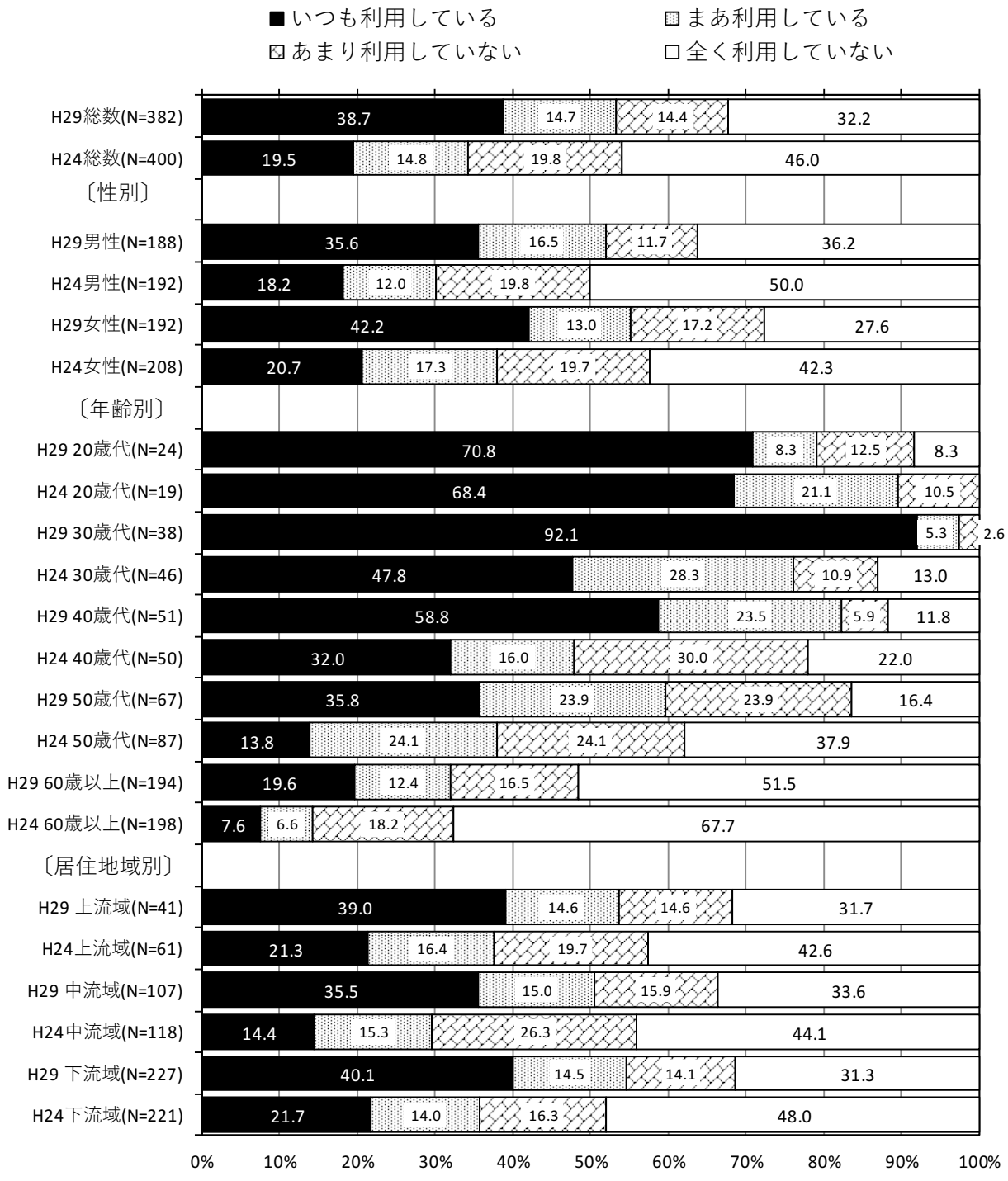
・「いつも利用している」と「まあ利用している」と答えた人の割合を合わせた「利用率」は 53.4%となり、前回調査から 19.1 ポイント増加している。特に「いつも利用している」と答えた人の割合が前回調査から大幅に増加している。スマートフォンの普及により、携帯電話でのインターネット利用が容易になったためと捉えられる。

・性別で見ると、この「利用率」は男性が 52.1%、女性は 55.2%となっており、前回調査と同様に女性の方が携帯電話でのネットの利用率が高い。また男女とも前回より「利用率」が増加している。

・年齢別で見ると、30 歳代の「いつも利用している」と答えた人の割合が大幅に増加しているのが注目される。また、すべての年代において「いつも利用している」人の割合が増加している。

・居住地域別で見ると、それぞれの居住地域で「利用率」にあまり差がないことが分かる。前回他の地域に比べて「利用率」が低かった中流域が今回大きく増加し、他の地域と大差がなくなっている。

図4-2　携帯電話などでのネット利用状況



４－３．自宅でのネット利用の可否

【全体】

「利用できる」44.0%（前回から 1.3 ポイント増加)、「利用できない」56.0%

【性別】

＜男性＞

「利用できる」46.0%（前回から 1.3 ポイント減少)、「利用できない」54.0%

＜女性＞

「利用できる」43.2%（前回から 4.3 ポイント増加)、「利用できない」56.8%

【年齢別】

＜20 歳代＞

「利用できる」62.5%（前回から 2.5 ポイント減少)、「利用できない」37.5%

＜30 歳代＞

「利用できる」84.2%（前回から 22.2 ポイント増加)、「利用できない」15.8%

＜40 歳代＞

「利用できる」76.9%（前回から 8.3 ポイント増加)、「利用できない」23.1%

＜50 歳代＞

「利用できる」50.7%（前回から 3.6 ポイント減少)、「利用できない」49.3%

＜60 歳以上＞

「利用できる」29.1%（前回から 0.1 ポイント減少)、「利用できない」70.9%

【居住地別】

＜上流域＞

「利用できる」37.5%（前回から 4.2 ポイント増加)、「利用できない」62.5%

＜中流域＞

「利用できる」46.1%（前回から変化なし)、「利用できない」53.9%

＜下流域＞

「利用できる」44.9%（前回から 1.7 ポイント増加)、「利用できない」55.1%

＜特記事項＞

・前回と比較して、割合に大きな変化は見られない。パソコンによるインターネット利用は前回調査時点で既に流域に普及した状況であったと考えられる。

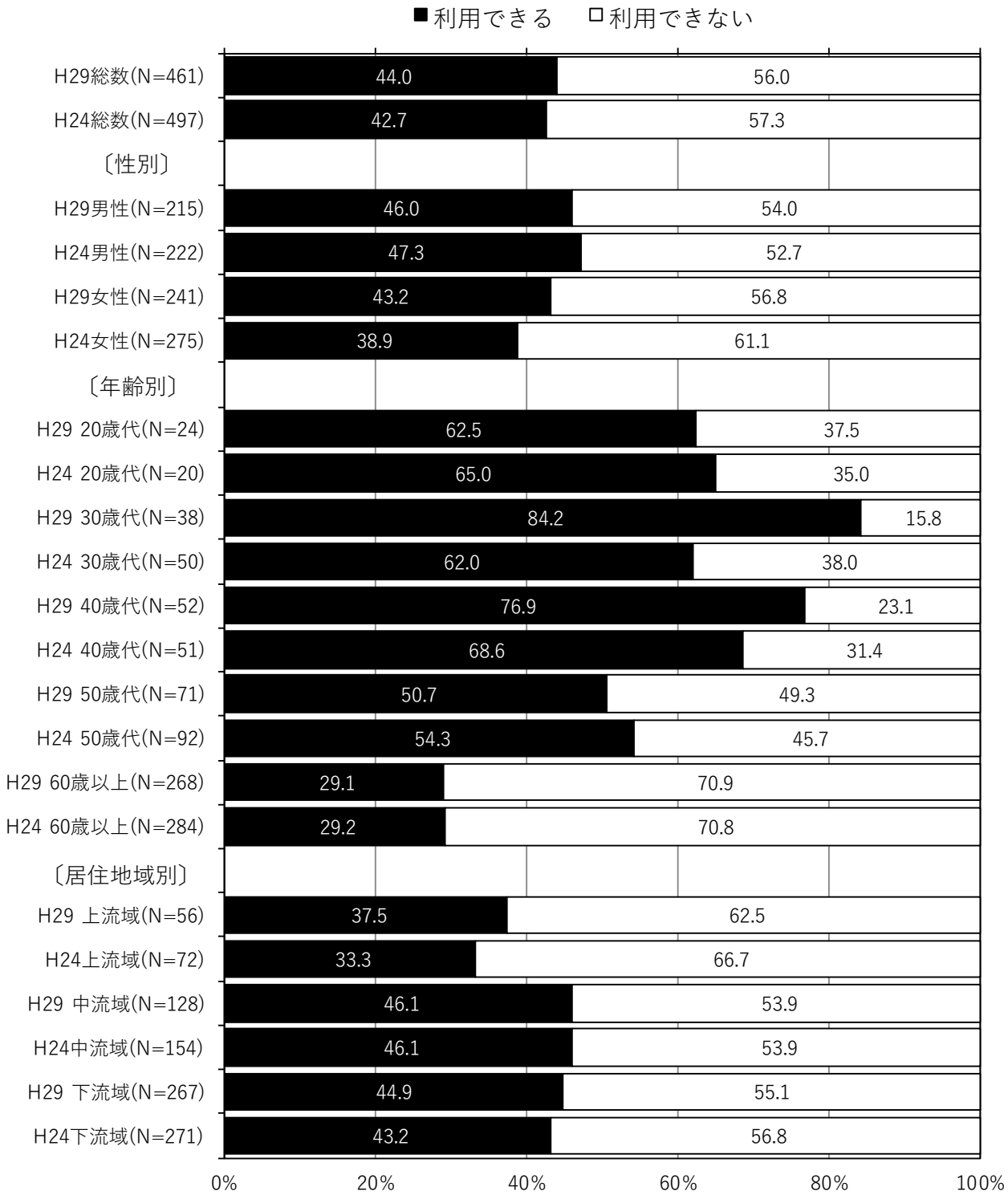
・性別で見ると、男女で割合に大きな差はない。前回と比較すると男性は微減していたものの、女性は 4.3 ポイント増加している。

・年齢別で見ると、「利用できる」と答えた人の割合が最も多かったのは 30 歳代で、前回からも大幅に増加している。また、40 歳代においても前回から 8.3 ポイント増加している。仕事や趣味、その他の必要性からインターネット利用率の高い世代において割合が高いことがうかがえる。

・居住地別で見ると、「利用できる」と答えた人の割合は前回同様中流域が 46.1%と最も高い。中

流域の割合は前回と全く変化がないが、その他の地域においてはどちらも「利用できる」と答えた人の割合が増加している。

図4-3　自宅でのネット利用の可否



５．居住意思と生活の満足度

５－１．現在の居住地域に住み続けたいと思うか

【全体】

「そう思っている」86.8％（前回から 1.4 ポイント増加）、「そう思っていない」13.2%

【性別】

＜男性＞

「そう思っている」88.7%（前回から 2.1 ポイント増加）、「そう思っていない」11.3%

＜女性＞

「そう思っている」84.8%（前回から 0.5 ポイント増加）、「そう思っていない」15.2%

【年齢】

＜20 歳代＞

「そう思っている」54.2%（前回から 1.6 ポイント増加）、「そう思っていない」45.8%

＜30 歳代＞

「そう思っている」89.7%（前回から 23.7 ポイント増加）、「そう思っていない」10.3%

＜40 歳代＞

「そう思っている」88.5%（前回から 8.9 ポイント増加）、「そう思っていない」11.5%

＜50 歳代＞

「そう思っている」83.6%（前回から 0.4 ポイント減少）、「そう思っていない」16.4%

＜60 歳以上＞

「そう思っている」90.1%（前回から 1.9 ポイント減少）、「そう思っていない」9.9%

【居住地別】

＜上流域＞

「そう思っている」81.0%（前回から 4.5 ポイント減少）、「そう思っていない」19.0%

＜中流域＞

「そう思っている」84.8%（前回から 3.1 ポイント減少）、「そう思っていない」15.2%

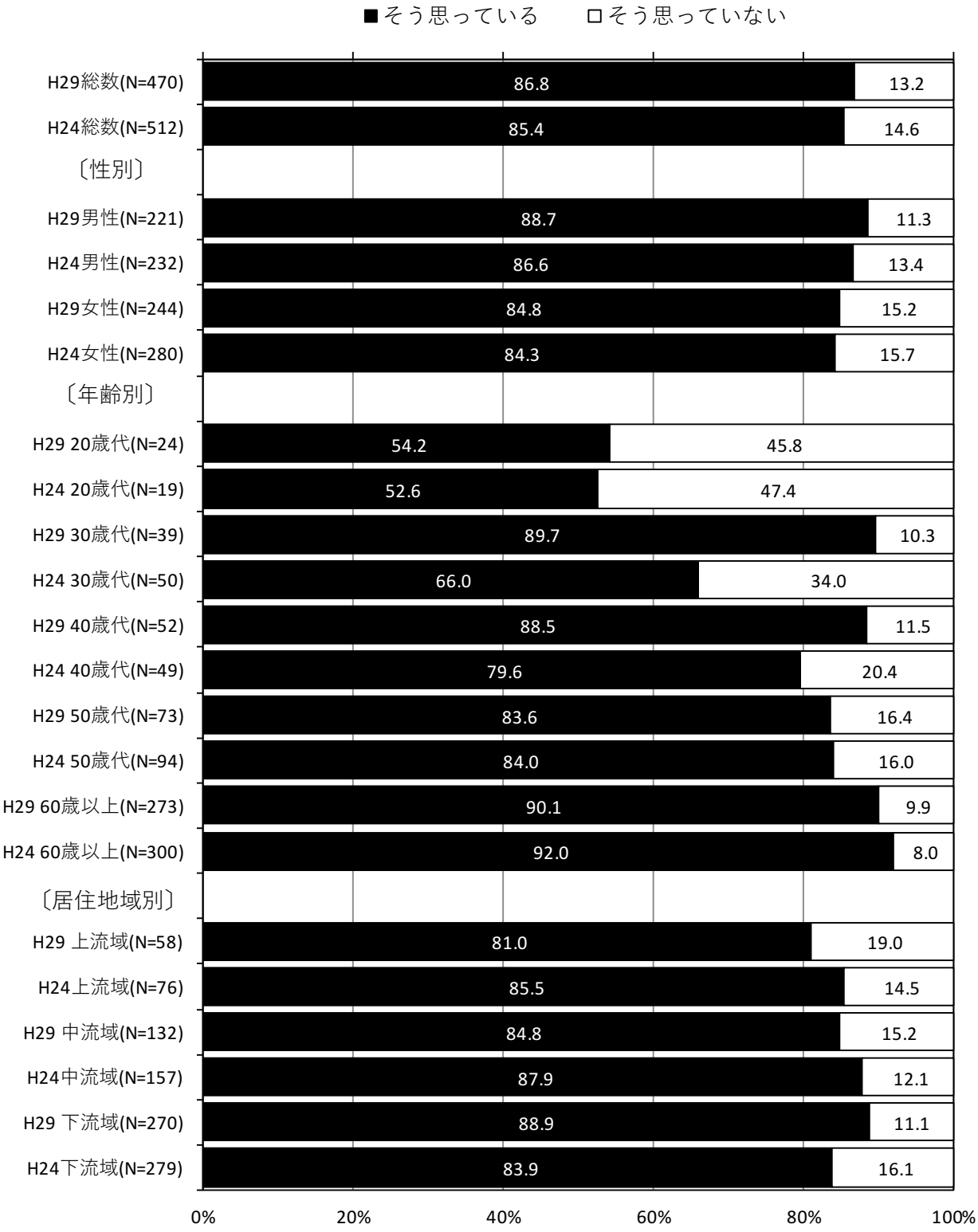
＜下流域＞

「そう思っている」88.9%（前回から 5.0 ポイント増加）、「そう思っていない」11.1%

＜特記事項＞

・「そう思っている」と答えた人の割合は、前回同様 8 割を占めている。
・性別で見ると、女性はほとんど変化がないが、男性はやや増加している。
・年齢別で見ると、30 歳～60 歳代以上は「そう思っている」と答えた人が高い割合を占めている。また前回と比較すると、特に 30 歳代において 3.7 ポイントと大幅に増加している。
・居住地域別で見ると、下流域のみ「そう思っている」人の割合が増加しており、居住地域間で大きな差はないものの、全流域の中で「そう思っている」人の割合が高くなっている。

図5-1　現在の居住地域に住み続けたいと思うか



５－２．現在の居住地域への満足度

【全体】満足度の高い項目：2 項目

「まあ満足している」43.0%（前回から 5.7 ポイント減少）

「満足している」25.4%（前回から 6.8 ポイント増加）

「どちらともいえない」21.2%（前回から 1.2 ポイント増加）

【性別】満足度の高い項目：2 項目

＜男性＞

「まあ満足している」40.9%（前回より 9.5 ポイント減少）

「満足している」27.7%（前回より 11.5 ポイント増加）

＜女性＞

「まあ満足している」44.9%（前回より 2.8 ポイント減少）

「満足している」23.5%（前回より 2.9 ポイント増加）

【年齢別】満足度の高い項目：2 項目

＜20 歳代＞

「まあ満足している」33.3%（前回から 21.7 ポイント減少）

「どちらともいえない」25.0%（前回から 20.0 ポイント増加）

＜30 歳代＞

「まあ満足している」45.9%（前回から 7.9 ポイント増加）

「満足している」29.7%（前回から 15.7 ポイント増加）

＜40 歳代＞

「まあ満足している」53.8%（前回から 6.7 ポイント増加）

「満足している」17.3%（前回から 7.5 ポイント増加）

＜50 歳代＞

「まあ満足している」45.2%（前回から 2.7 ポイント減少）

「満足している」20.5%（前回から 6.7 ポイント増加）

「どちらともいえない」20.5%（前回から 1.8 ポイント減少）

＜60 歳以上＞

「まあ満足している」41.8%（前回から 0.9 ポイント増加）

「満足している」27.4%（前回から 3.7 ポイント増加）

【居住地別】

＜上流域＞

「まあ満足している」46.6%（前回から 5.8 ポイント増加）

「満足している」22.4%（前回から 4.0 ポイント増加）

＜中流域＞

「まあ満足している」34.8%（前回から 9.5 ポイント減少）

「満足している」28.0%（前回から 5.2 ポイント増加）

＜下流域＞

「まあ満足している」47.0%（前回から 6.7 ポイント減少）

「満足している」23.9%（前回から 7.5 ポイント増加）

＜特記事項＞

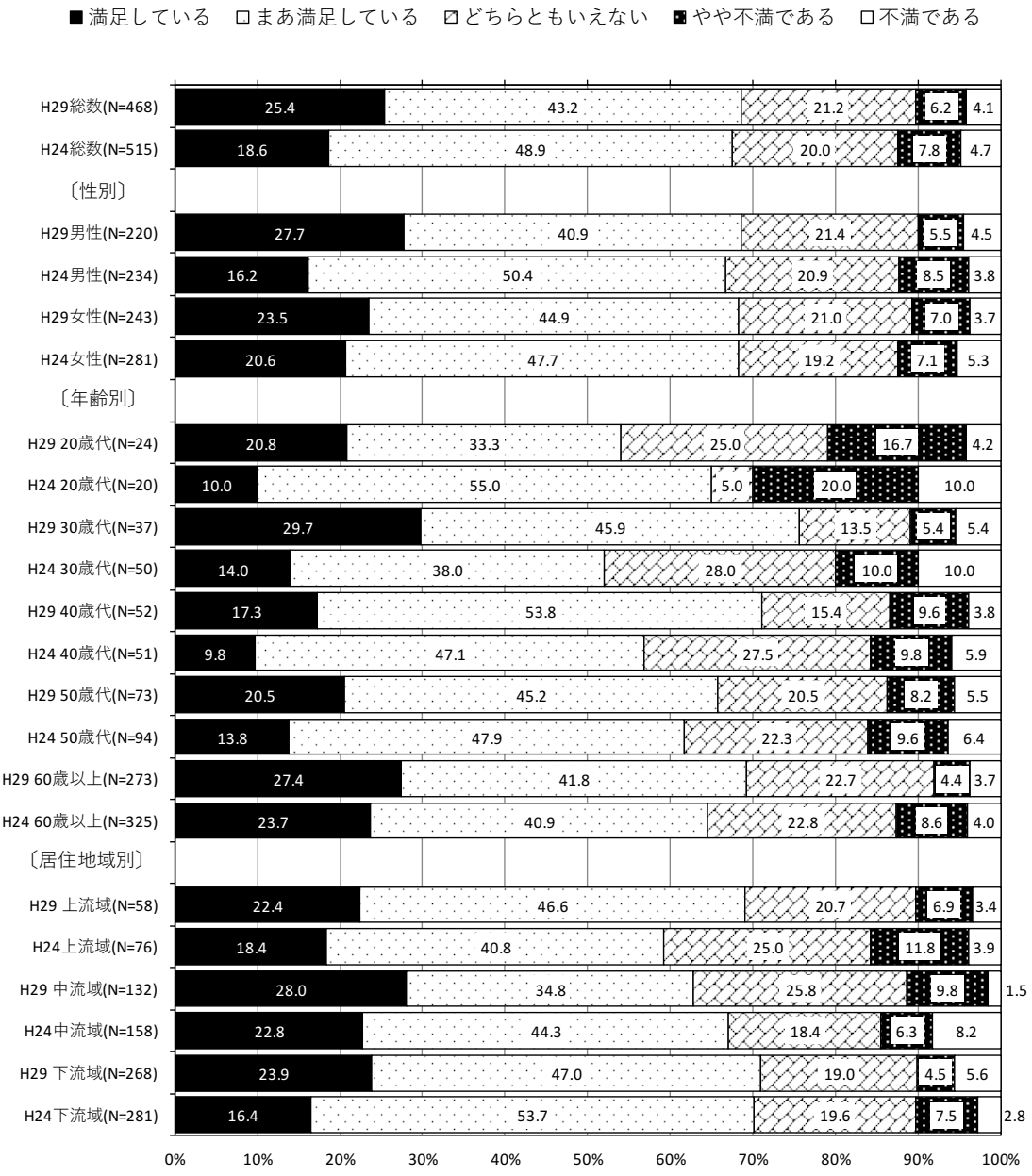
・「満足している」及び「まあ満足している」と答えた人の割合を合わせた『満足率』は 68.6%となり、前回調査からやや増加している。

・性別で見ると、男性と女性の割合に大差はない。また、「満足している」と答えた人の割合は、男女ともに前回よりも増加している。

・年齢別で見ると、20 歳代を除くすべての年代で満足率が増加しており、また「満足している」と答えた人はすべての年代で前回よりも増加している。

・居住地域別で見ると、『満足率』については中流域のみ前回より減少しているものの、「満足している」と答えた人の割合はすべての地域で増加している。

図5-2　現在の居住地域への満足度



５－３．生活の満足度

＜満足度の高い項目＞：上位３項目

「まわりに親しめる自然があること」74.3%

「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」42.9%

「適切な診察や治療が受けられること」41.0%

＜満足度の低い項目＞：下位３項目

「収入が年々確実に増えること」5.5%

「能力があって努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること」8.0%

「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」10.1%

＜特記事項＞

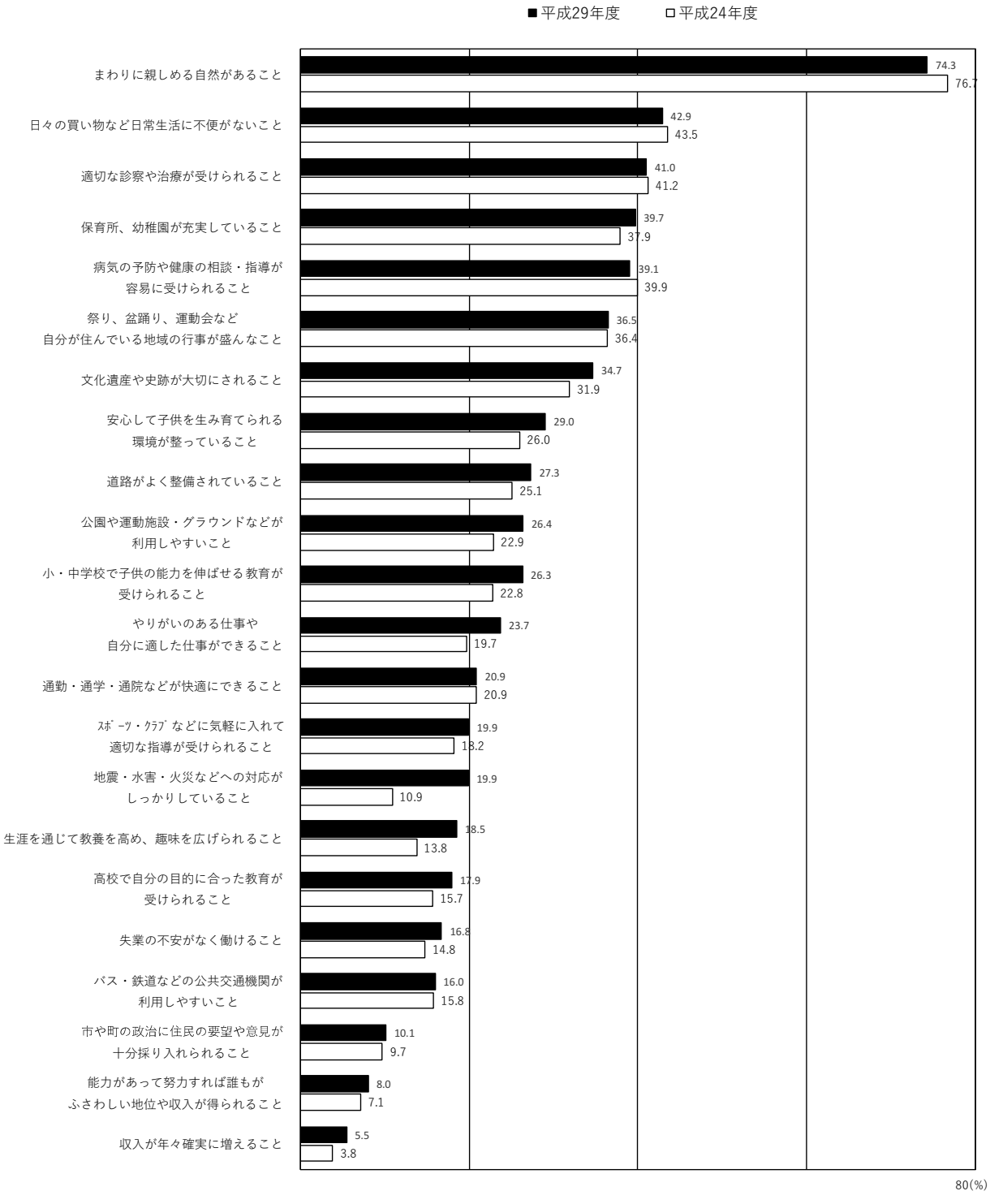
・「地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること」と答えた人の割合は前回より 9.0 ポイントと最も増加している。

・「生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること」と答えた人の割合も、前回より 4.7 ポイントとやや増加している。

・満足度の高い項目の順位は、前回から大きな変化はなかった。

・満足度の低い項目の順位にも前回から大きな変化はなく、自治体への要望や意見の反映、地位や収入等の項目については依然として不満な状況であることがうかがえた。

図5-3-1「いま住んでいる地域に対する満足度」
（「十分満たされている」＋「かなり満たされている」）



【性別】

＜男性＞

満足度の高い項目：上位３つ

「まわりに親しめる自然があること」73.9%

「適切な診察や治療が受けられること」44.6%

「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」43.8%

満足度の低い項目：下位３つ

「収入が年々確実に増えること」6.3%

「能力があって努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること」7.4%

「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」11.6%

＜女性＞

満足度の高い項目：上位３つ

「まわりに親しめる自然があること」74.4%

「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」41.7%

「適切な診察や治療が受けられること」38.5%

満足度の低い項目：下位３つ

「収入が年々確実に増えること」4.7%

「能力があって努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること」8.7%

「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」8.9%

＜特記事項＞

・全体を通して男性のほうが女性より満足度が高い項目が多い。中でも特に男女間で差が大きい項目は以下のとおり。

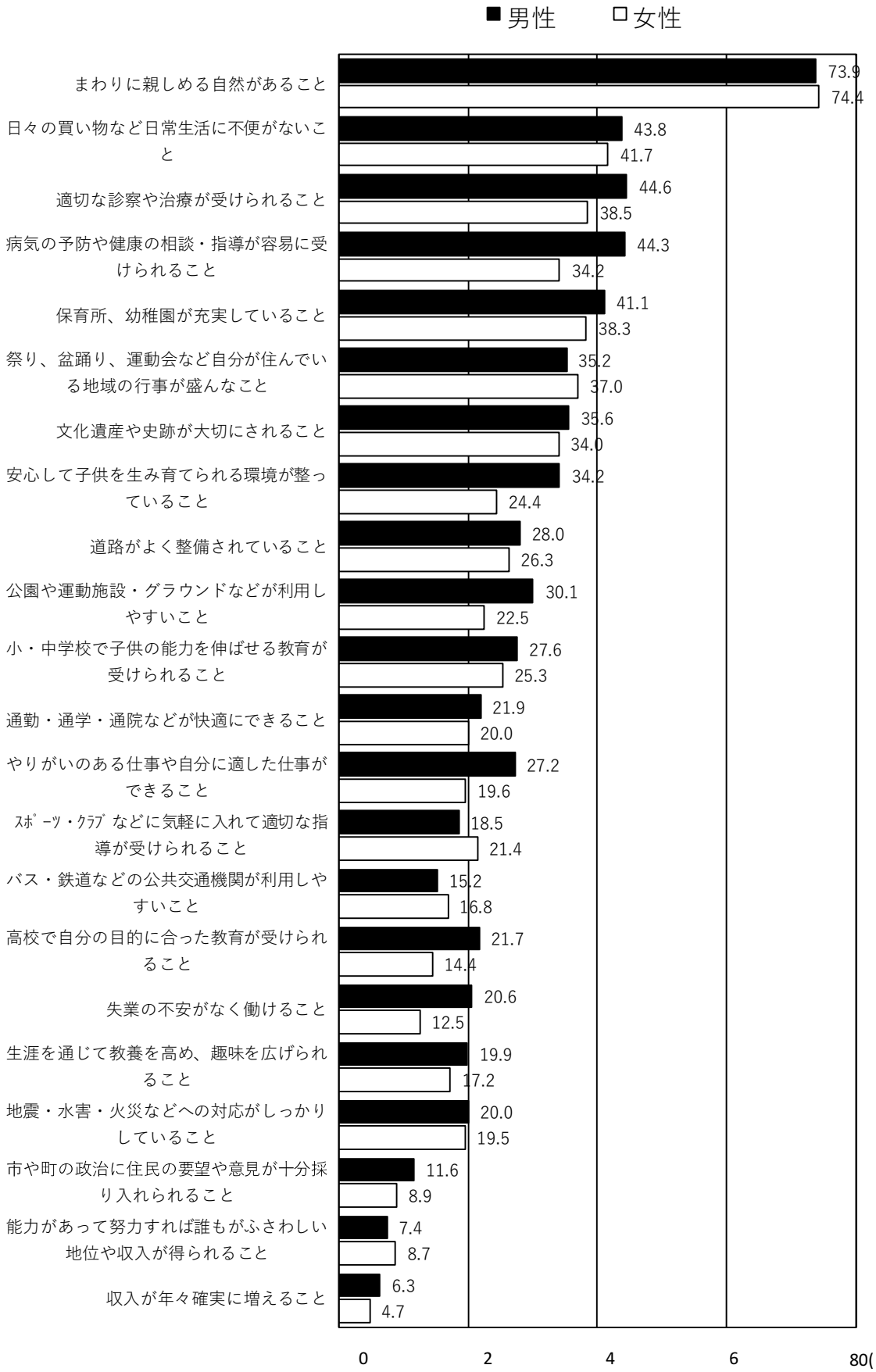
「病気の予防や健康の相談・指導が容易に受けられること」10.1 ポイント差

「公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと」7.6 ポイント差

「やりがいのある仕事や自分に適した仕事ができること」7.6 ポイント差

「失業の不安がなく働けること」8.1 ポイント差

図5-3-2　現在の居住地域への満足度（性別）



【年齢別】

◇医療や保険

＜適切な診察や治療が受けられること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「10 歳代」66.7%、「80 歳以上」65.4%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「20 歳代」17.4%、「30 歳代」30.8%

＜病気の予防や健康の相談・指導が容易に受けられること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」58.3%、「70 歳代」49.4%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「30 歳代」25.6%、「20 歳代」27.3%

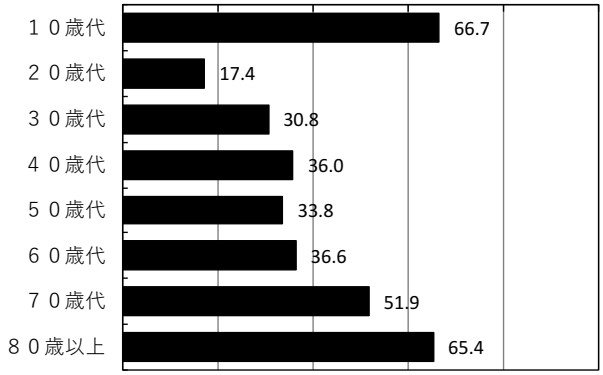
＜安心して子供を生み育てられる環境が整っていること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「10 歳代」50.0%、「80 歳以上」40.5%

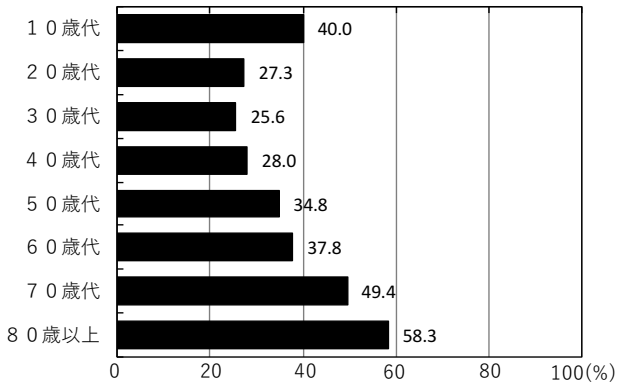
満足度の低い年代（下位２つ）：　「20 歳代」22.7%、「60 歳代」24.3%

項目ごとの満足度（個表）

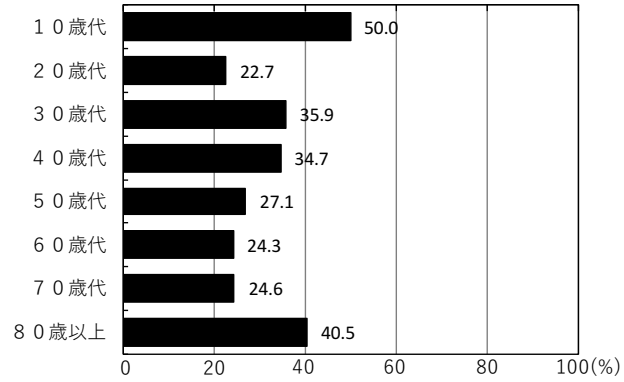
◇「適切な診療や医療が受けられること」



◇「病気の予防や健康の診断・相談が容易に受けられること」



◇「安心して子供を生み育てられる環境が整っていること」



◇教育

＜保育所、幼稚園が充実していること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」58.3%、「10 歳代」50.0%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「20 歳代」27.3%、「70 歳代」36.1%

＜小・中学校で子供の能力を伸ばせる教育が受けられること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」44.4%、「30 歳代」35.9%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「20 歳代」18.2%、「70 歳代」21.3%

＜高校で自分の目的に合った教育が受けられること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「10 歳代」50.0%、「80 歳以上」28.1%

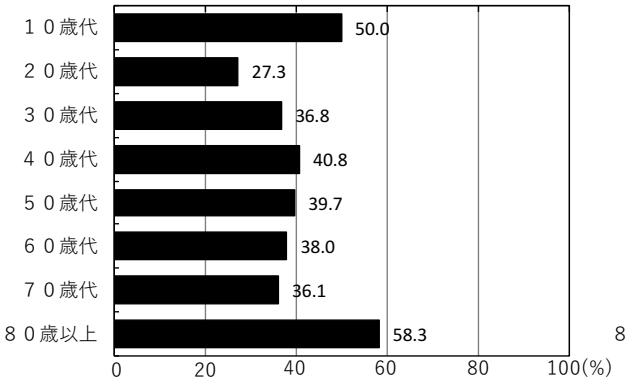
満足度の低い年代（下位２つ）：　「40 歳代」8.2%、「20 歳代」13.6%

＜生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること＞

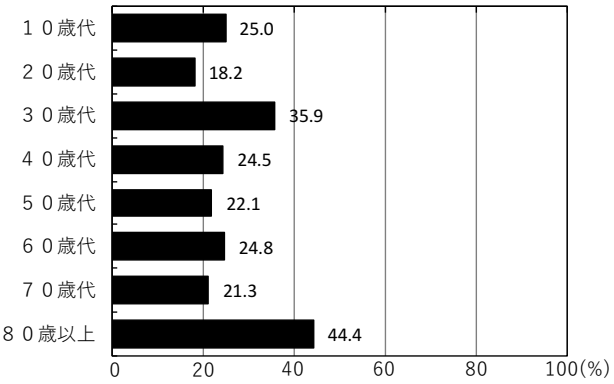
満足度の高い年代（上位２つ）：　「20 歳代」31.8%、「80 歳以上」27.0%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「50 歳代」11.8%、「40 歳代」16.3%

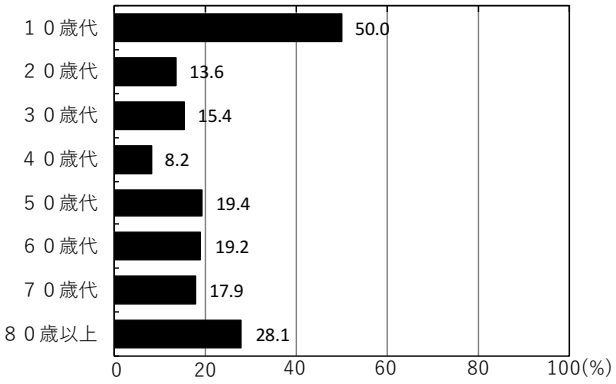
◇「保育所・幼稚園が充実していること」



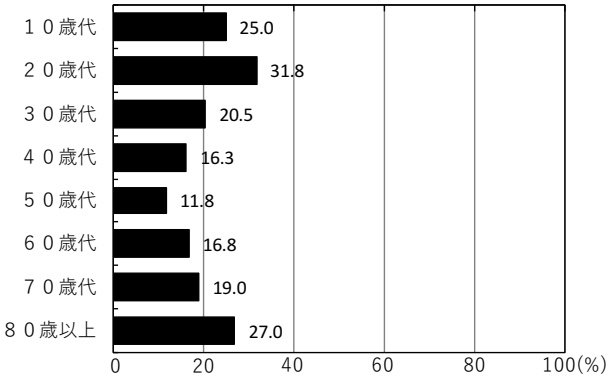
◇「小・中学校で子供の能力を伸ばせる教育が受けられること」



◇「高校で自分の目的に合った教育が受けられること」



◇「生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること」



◇休暇や余暇

＜公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「30 歳代」45.9%、「20 歳代」40.9%

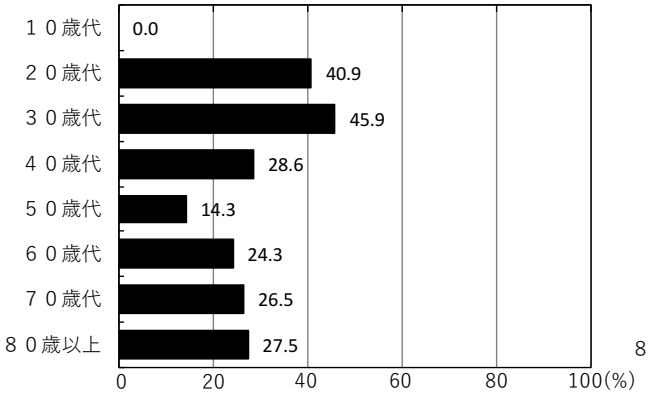
満足度の低い年代（下位２つ）：　「10 歳代」0%、「50 歳代」14.3%

＜ｽﾎﾟｰﾂ・ｸﾗﾌﾞや趣味の会に気軽に入れて適切な指導が受けられること＞

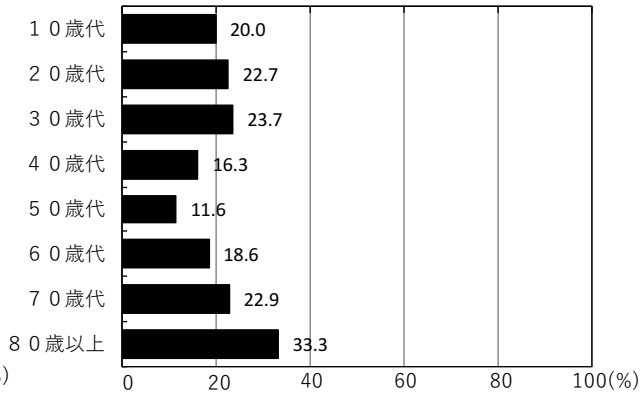
満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」33.3%、「70 歳代」22.9%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「50 歳代」11.6%、「40 歳代」16.3%

◇「公園や運動施設、グラウンドが利用しやすいこと」



◇「ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞなどに気軽に入れて適切な指導が受けられること」



◇仕事

＜やりがいのある仕事や自分に適した仕事ができること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「30 歳代」30.8%、「70 歳代」29.2%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「40 歳代」16.0%、「50 歳代」「60 歳代」21.4%

＜失業の不安がなく働けること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「30 歳代」23.1%、「20 歳代」22.7%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「10 歳代」0%、「60 歳代」14.6%

＜収入が年々確実に増えること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「20 歳代」18.2%、「30 歳代」12.8%

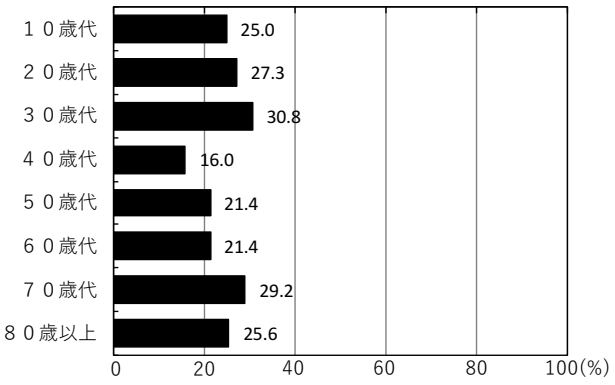
満足度の低い年代（下位２つ）：　「10 歳代」0%、「70 歳代」1.6%

＜能力があって努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること＞

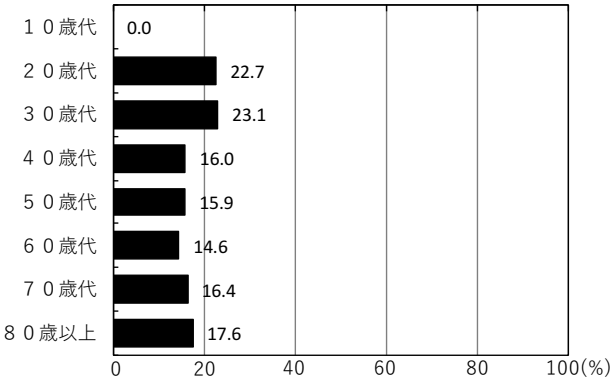
満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」14.3%、「20 歳代」13.6%

満足度の高い年代（下位２つ）：　「10 歳代」0%、「60 歳代」4.9%

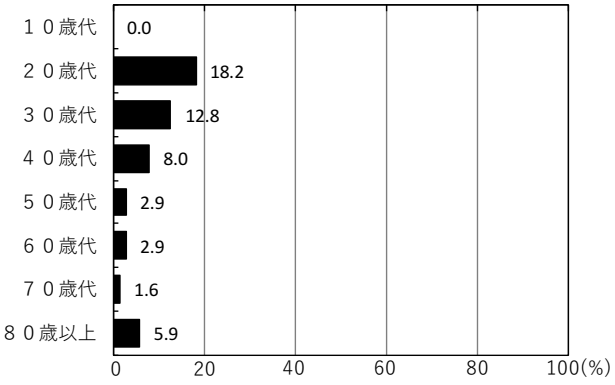
◇「やりがいのある仕事や自分に適した仕事ができること」



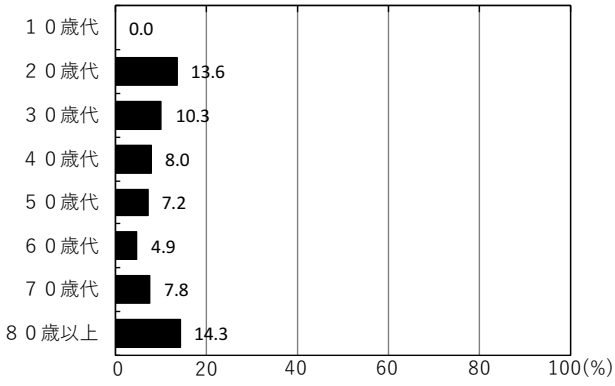
◇「失業の不安がなく働けること」



◇「収入が年々確実に増えること」



◇「能力があって努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること」



◇交通や防災

＜道路がよく整備されていること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」62.8%、「70 歳代」35.6%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「40 歳代」14.3%、「30 歳代」15.4%

＜バス・鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」41.9%、「10 歳代」40.0%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「50 歳代」4.3%、「20 歳代」4.5%

＜通勤・通学・通院などが快適にできること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」47.4%、「70 歳代」24.6%

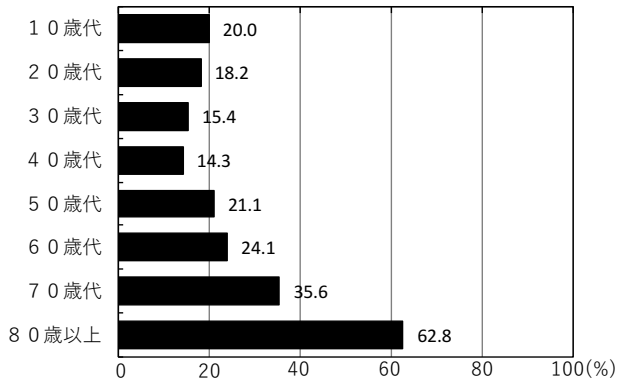
満足度の低い年代（下位２つ）：　「30 歳代」10.3%、「50 歳代」12.9%

＜地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること＞

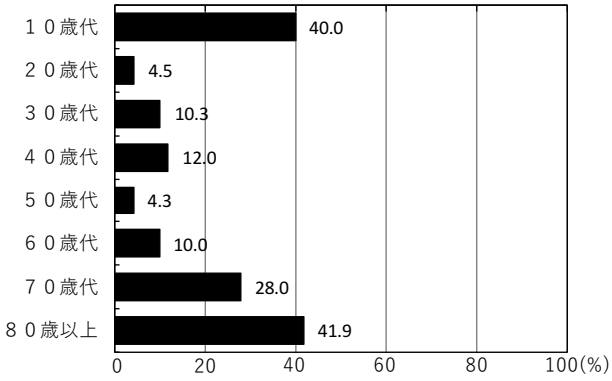
満足度の高い年代（上位２つ）：　「70 歳代」29.2%、「80 歳以上」28.3%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「40 歳代」12.0%、「60 歳代」15.7%

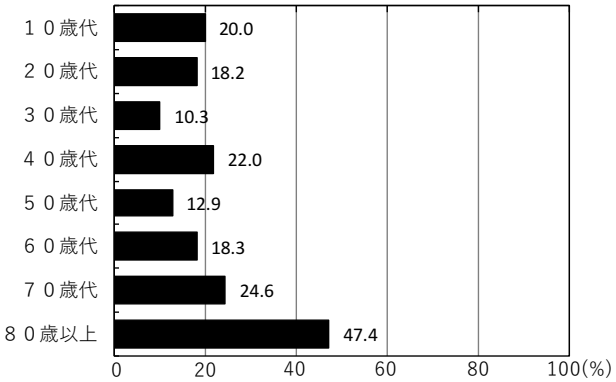
◇「道路がよく整備されていること」



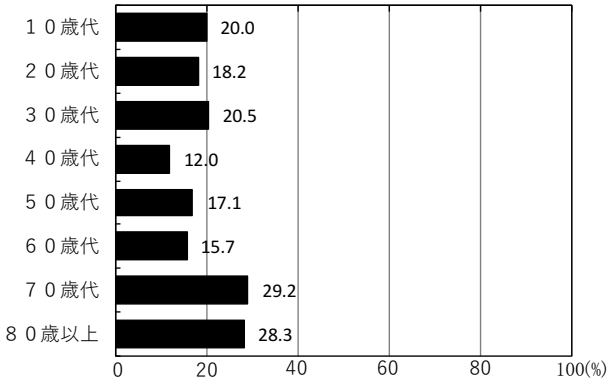
◇「バス・鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと」



◇「通勤・通学・通院などが快適にできること」



◇「地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること」



◇地域のくらし

＜文化遺産や史跡が大切にされること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」54.8%、「40 歳代」48.0%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「10 歳代」20.0%、「60 歳代」26.2%

＜日々の買い物など日常に不便がないこと＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」61.7%、「30 歳代」「70 歳代」46.2%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「20 歳代」31.8%、「40 歳代」38.0%

＜まわりに親しめる自然があること＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「10 歳代」100%、「50 歳代」87.5%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「80 歳以上」54.5%、「70 歳代」67.9%

＜祭り、盆踊り、運動会など自分が住んでいる地域の行事が盛んなこと＞

満足度の高い年代（上位２つ）：　「30 歳代」48.7%、「80 歳以上」44.4%

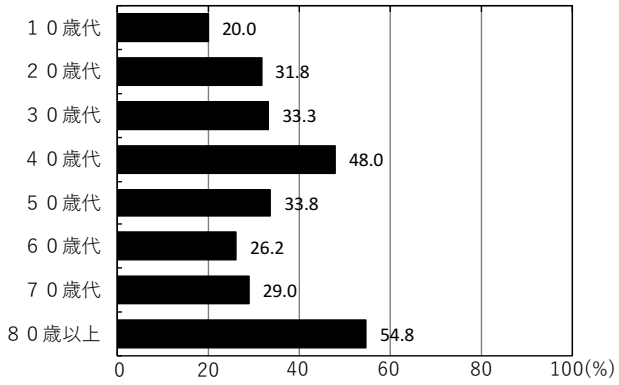
満足度の低い年代（下位２つ）：　「60 歳代」24.8%、「70 歳代」33.3%

＜市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること＞

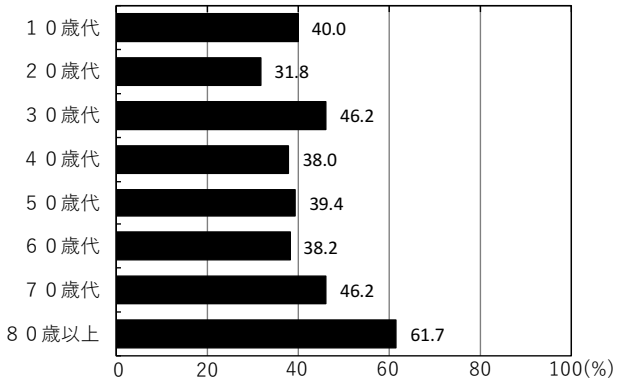
満足度の高い年代（上位２つ）：　「80 歳以上」25.0%、「20 歳代」13.6%

満足度の低い年代（下位２つ）：　「10 歳代」0%、「70 歳代」3.9%

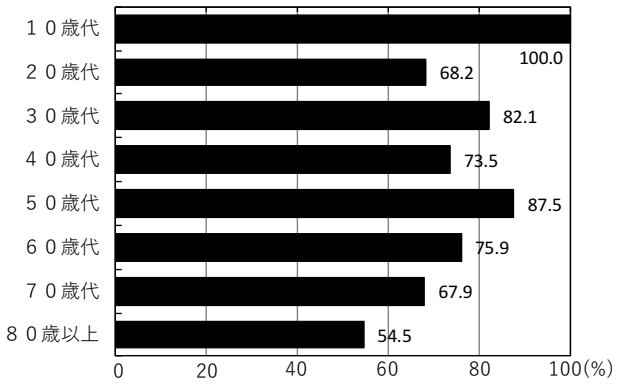
◇「文化遺産や史跡が大切にされること」



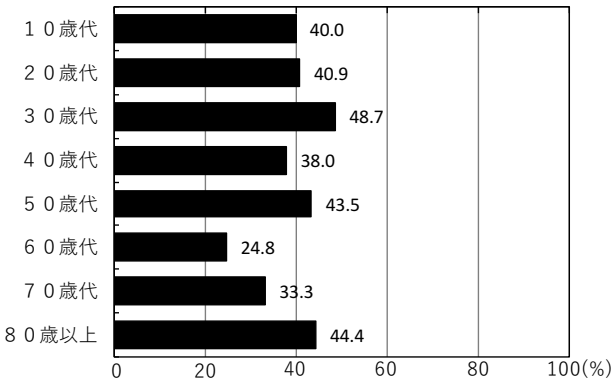
◇「日々の買い物など日乗生活に不便がないこと」



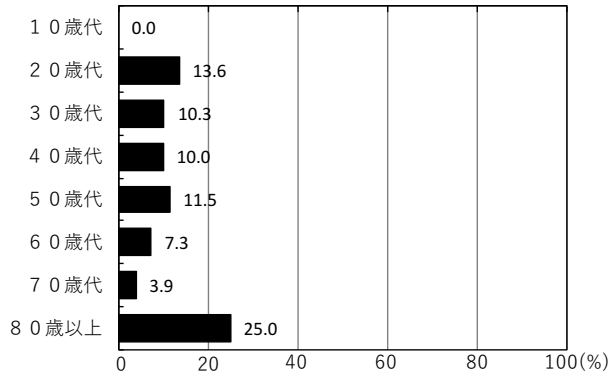
◇「まわりに親しめる自然があること」



◇「祭り、盆踊り、運動会など自分が住んでいる地域の行事が盛んなこと」



◇「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」



【居住地別】

＜上流域＞

満足度の高い項目：上位３つ

・「まわりに親しめる自然があること」75.5%

・「保育所、幼稚園が充実していること」61.0%

・「文化遺産や史跡が大切にされていること」50.0%

満足度の低い項目：下位３つ

・「収入が年々確実に増えること」7.1%

・「バス・鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと」10.6%

・「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」12.5%

＜中流域＞

満足度の高い項目：上位３つ

・「まわりに親しめる自然があること」71.9%

・「保育所、幼稚園が充実していること」39.8%

・「適切な診察や治療が受けられること」39.1%

満足度の低い項目：下位３つ

・「収入が年々確実に増えること」1.8%

・「能力があって努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること」4.5%

・「高校で自分の目的にあった教育が受けられること」9.7%

＜下流域＞

満足度の高い項目：上位３つ

・「まわりに親しめる自然があること」75.0%

・「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」46.5%

・「適切な診察や治療が受けられること」44.5%

満足度の低い項目：下位３つ

・「収入が年々確実に増えること」7.1%

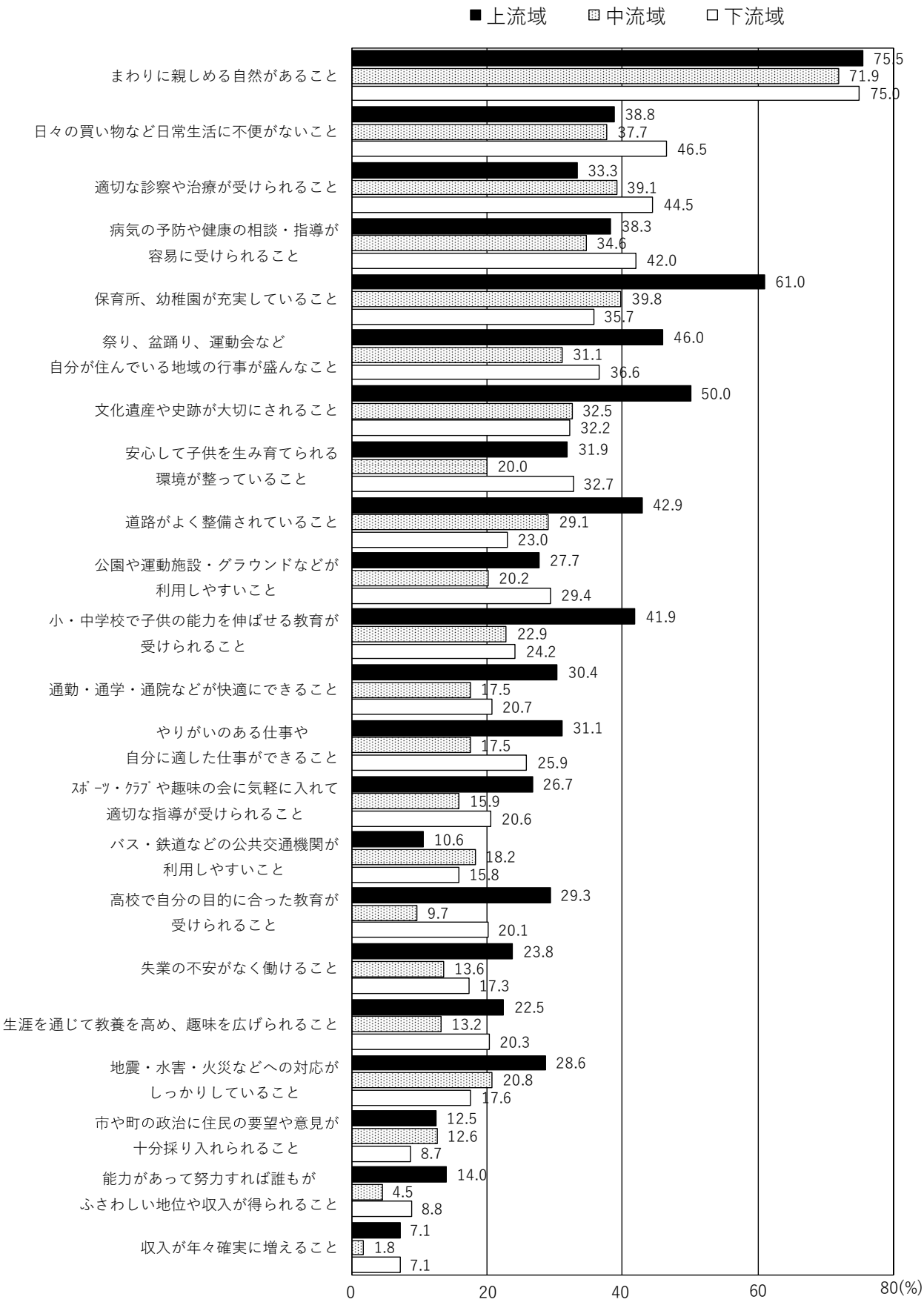
・「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」8.7%

・「バス・鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと」15.8%

＜特記事項＞

・全体をとおして上流域の満足度が高い傾向にある。特に、「保育所、幼稚園が充実していること」「文化遺産や史跡が大切にされること」「道路がよく整備されていること」「小・中学校で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられること」などの項目でその他の地域に比べ満足度が大幅に高いことがわかる。

図5-3-3　現在の居住地域への満足度（居住地域別）



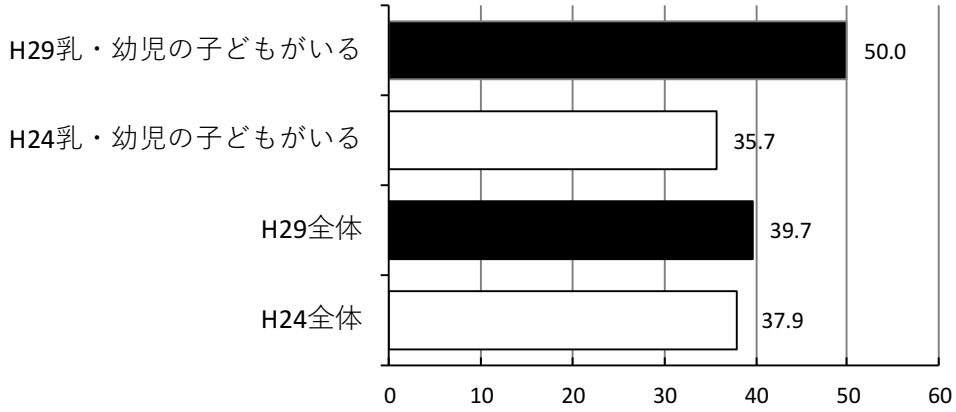
【保育・教育に関する満足率の比較】

◇＜保育所、幼稚園が充実してること＞×＜乳幼児の子どもがいる人＞の満足度

・「乳幼児の子どもがいる人」50.0%（前回から 14.3 ポイント増加）

・「全体」39.7%（前回から 1.8 ポイント増加）

図5-3-4　「保育所、幼稚園が充実していること」×「乳・幼児」の子どもがいると答えた人



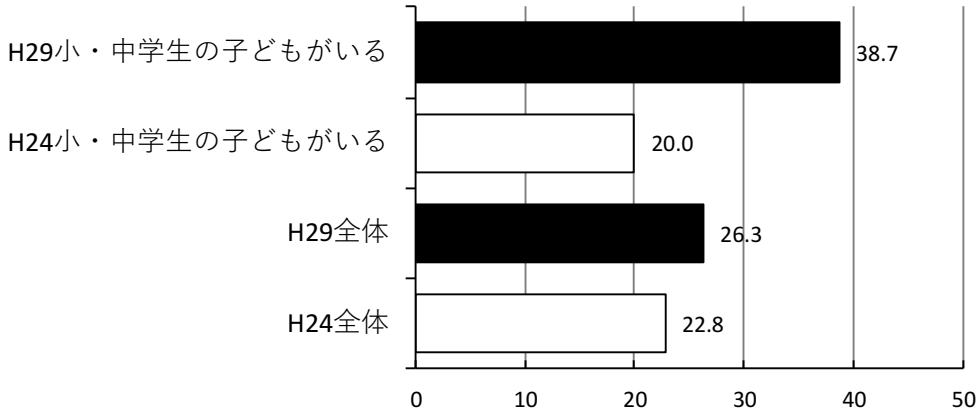
◇＜小・中学校で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられること＞×

＜小・中学生の子どもがいる人＞の満足度

・「小・中学生の子どもがいる人」38.7%（前回から 18.7 ポイント増加）

・「全体」26.3%（前回から 3.5 ポイント増加）

図5-3-5　「小・中学校で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられること」×「小・中学校」の子どもがいると答えた人



◇＜高校で自分の目的に合った教育が受けられること＞×＜高校生の子どもがいる人＞の満足度

・「高校生の子どもがいる人」75.4%（前回から 55.4 ポイント増加）

・「全体」25.3%（前回から 2.5 ポイント増加）

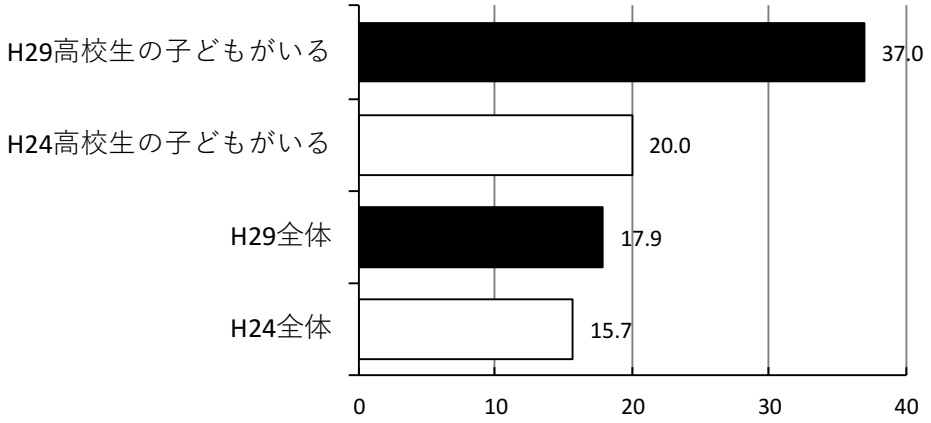



図5-3-6　「高校で自分の目的に合った教育が受けられること」×「高校生」の子どもがいると答えた人